

令和元年度実施
西条市まちづくりに関する市民アンケート
報告書（速報版）

令和元年7月19日

西条市自治政策研究所

目 次

1 本調査の概要	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の方法と実施時期.....	1
(3) 調査票の回収状況.....	1
(4) 調査票の内容.....	1
2 基本情報	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) お住まいの地区.....	3
(4) 職業.....	3
(5) 居住年数.....	4
(6) 世帯構成.....	4
(7) 勤務先（通学先）.....	5
3 現在の西条市での生活について	6
(1) あなたにとって、西条市は住みやすいまちですか.....	6
(2) あなたは、今後も西条市に住み続けたいですか.....	12
(3) あなたは西条市に愛着や誇りを感じていますか.....	18
(4) 西条市では専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていると思いますか.....	24
(5) 西条市では市民の交流は活発だと思いますか.....	30
(6) 西条市では産業や経済活動は活発だと思いますか.....	36
(7) 西条市では地域の声が行政に反映されていると思いますか.....	42
(8) 西条市では公共料金などの住民負担についてどのように感じますか.....	48
(9) 今から約20年後の2040年頃の西条市の未来をどのように感じていますか.....	54
(10) 特に不安とを感じる課題を選択してください.....	59
4 施策に対する市民の満足度・関心度	62
5 参考資料（アンケート用紙）	64

1 本調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、まちづくりの総合的な方向性を定める総合計画の後期基本計画（令和2から6年度までの5か年）を策定するにあたり、市民の皆さまのご意見を将来のまちづくりの方向性に反映させることを目的として実施しました。

(2) 調査の方法と実施時期

この調査は、令和元年5月30日現在で本市に住民登録をしている15歳以上の方から5,000人を無作為に抽出して6月上旬に調査票を郵送し、6月28日までに郵便ポストへ投函していただく方法を採用しました。また、調査票の記入は必ず本人が回答するよう注意書きを入れています。

(3) 調査票の回収状況

最終配布数は、4,977通（宛先不明23通）となりました。

そのうち、回収した調査票は1,984通となり、最終回収率は39.86%となりました。

本調査の信頼度を95%とすると383票の標本サイズが必要となりますが、本調査は十分なサンプルサイズを確保しており、より信頼性が高い結果であるということができます。

なお、本調査の母集団は西条市民ですが、性別、年齢別などの属性別にみると、本調査における回答者の構成比率と母集団の構成比率に違いが生じています。しかしながら、本調査では属性別のクロス集計などを多岐にわたって実施することとしますので、調査結果の構成比を母集団構成比に変換する「ウエイトバック集計」は採用しないこととします。

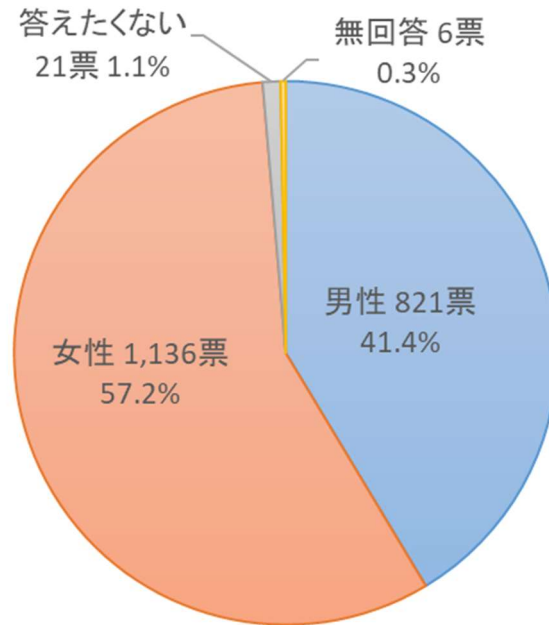
(4) 調査票の内容

送付した調査票は文末に掲載しています。

2 基本情報

(1) 性別

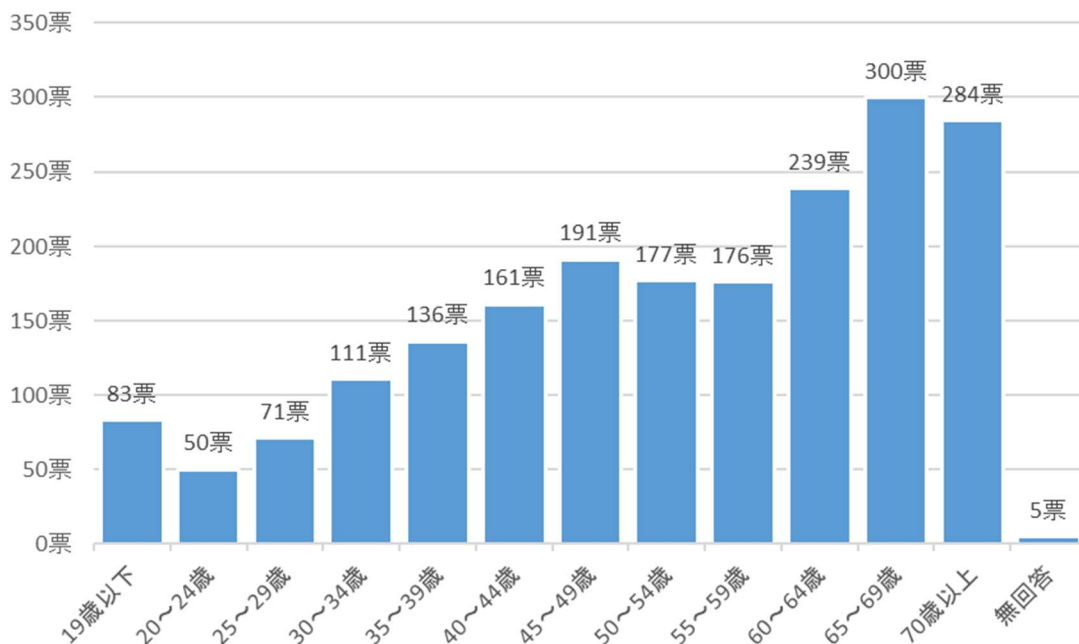
図表 1 によると、回答者のうち男性は 821 票で 41.4%、女性は 1,136 票で 57.2%、答えたくないが 21 票で 1.1%となりました。令和元年 5 月末現在における本市の人口(住民基本台帳)は、男性が 52,785 人で 48.3%、女性が 56,432 人で 51.7%であることから、回答者はやや女性が多い結果となりました。



図表 1 回答者の性別 (N = 1, 984)

(2) 年齢

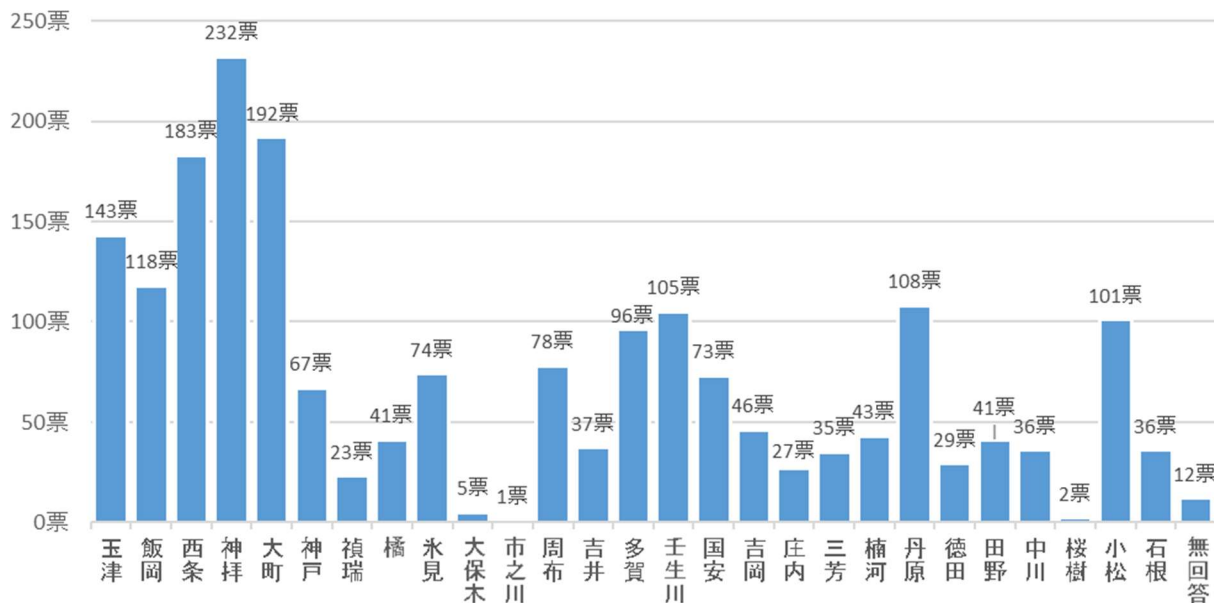
図表 2 によると、回答者は 65~69 歳が最も多く 300 票、逆に 20~24 歳が最も少なく 50 票となりました。また、年齢が高いほど回答率が高くなる結果となりました。



図表 2 回答者の年齢 (N = 1, 984)

(3) お住まいの地区

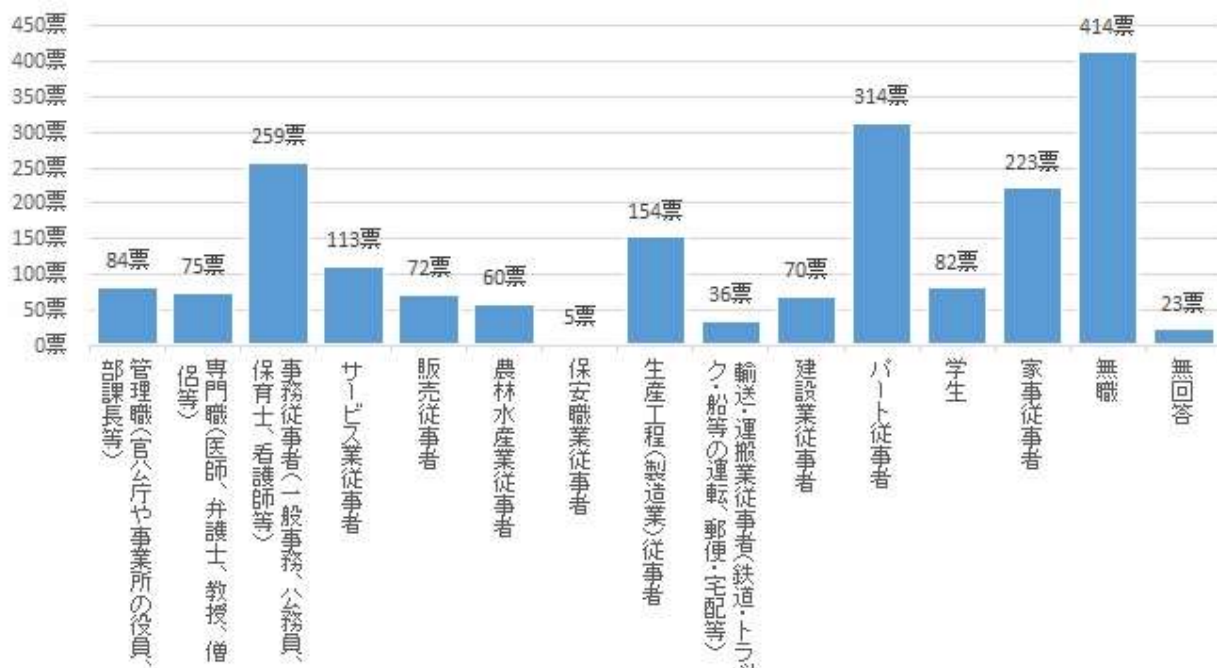
図表 3 によると、回答者は神拝が最も多く 232 票、次に大町が 192 票、西条が 183 票となりました。地区ごとに性別や年齢別の母集団構成に違いがあるためか、必ずしも人口が多い地区の回答者が多くなるという結果にはなりませんでした。



図表 3 回答者のお住まいの地区 (N = 1, 984)

(4) 職業

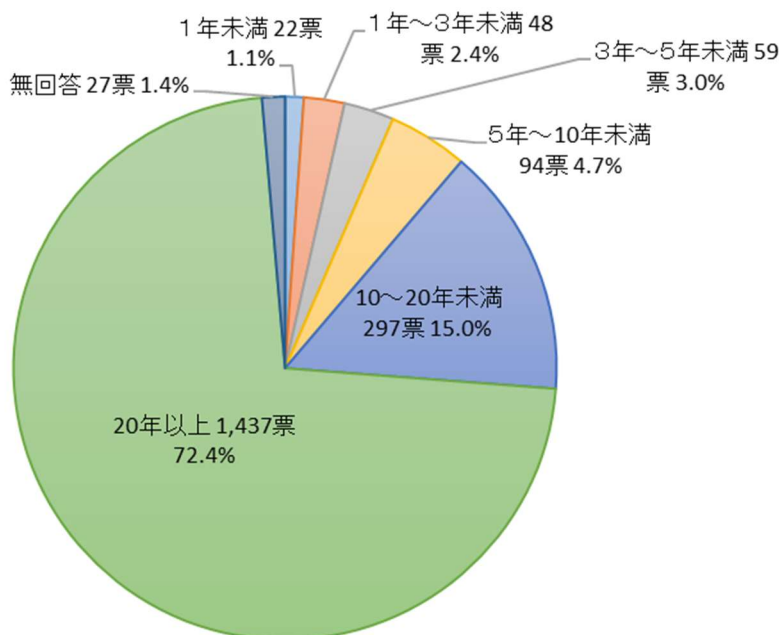
図表 4 によると、回答者は無職が最も多く 414 票、次にパート従業員が 314 票、事務従事者が 259 票となりました。相対的に仕事に就かれている方からの回答が少なくなる結果となりました。



図表 4 回答者の職業 (N = 1, 984)

(5) 居住年数

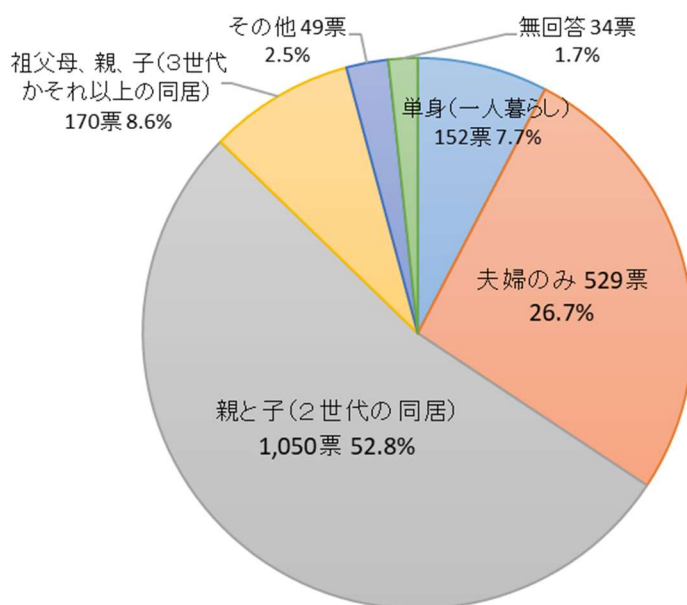
図表 5 によると、回答者は 20 年以上が最も多く 1,437 票で 72.4%、次に 10～20 年未満が 297 票で 15.0%となりました。相対的に居住年数の長い方からの回答多くなる結果となりました。



図表 5 回答者の居住年数 (N = 1, 984)

(6) 世帯構成

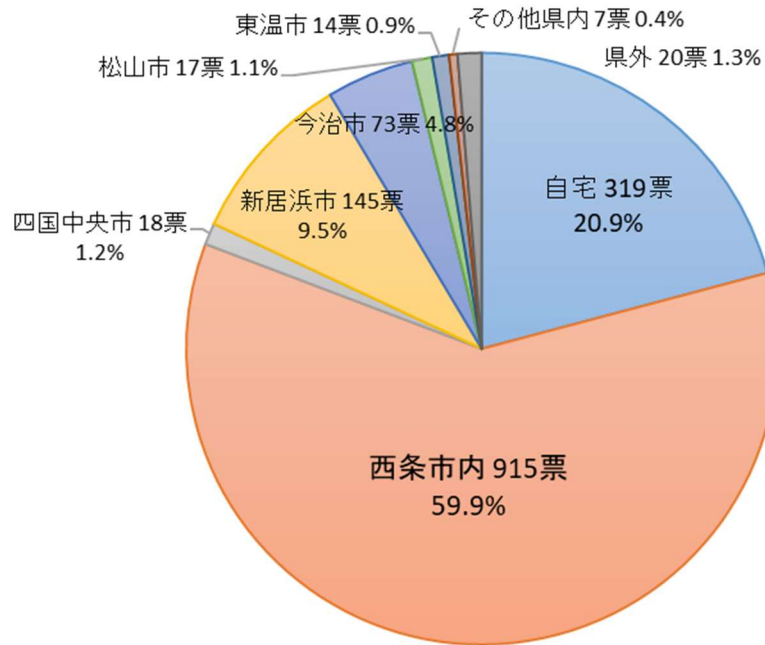
図表 6 によると、回答者は親と子 (2 世代の同居) が最も多く 1,050 票で 52.9%、次に夫婦のみが 529 票で 26.7%となりました。一方で、単身 (一人暮らし) が 152 票で 7.7%と回答者が少なくなる結果となりました。



図表 6 回答者の世帯構成 (N = 1, 984)

(7) 勤務先 (通学先)

図表7によると、回答者は西条市内が最も多く 915 票で 59.9%、次に自宅が 319 票で 20.9%となりました。西条市内で勤務 (通学) されている方からの回答が 75%を超える結果となりました。



図表7 回答者の勤務先 (通学先) (N = 1, 528)

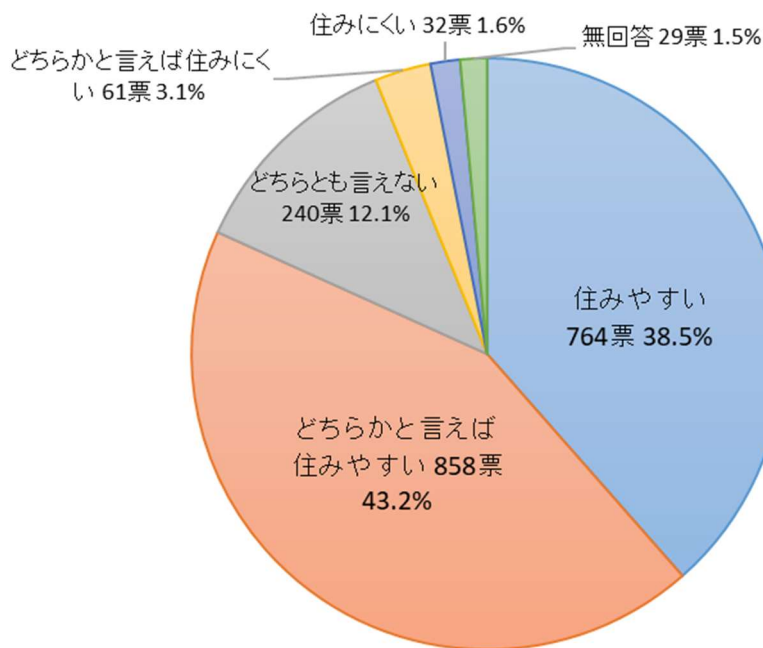
3 現在の西条市での生活について

(1) あなたにとって、西条市は住みやすいまちですか

【結果概要】

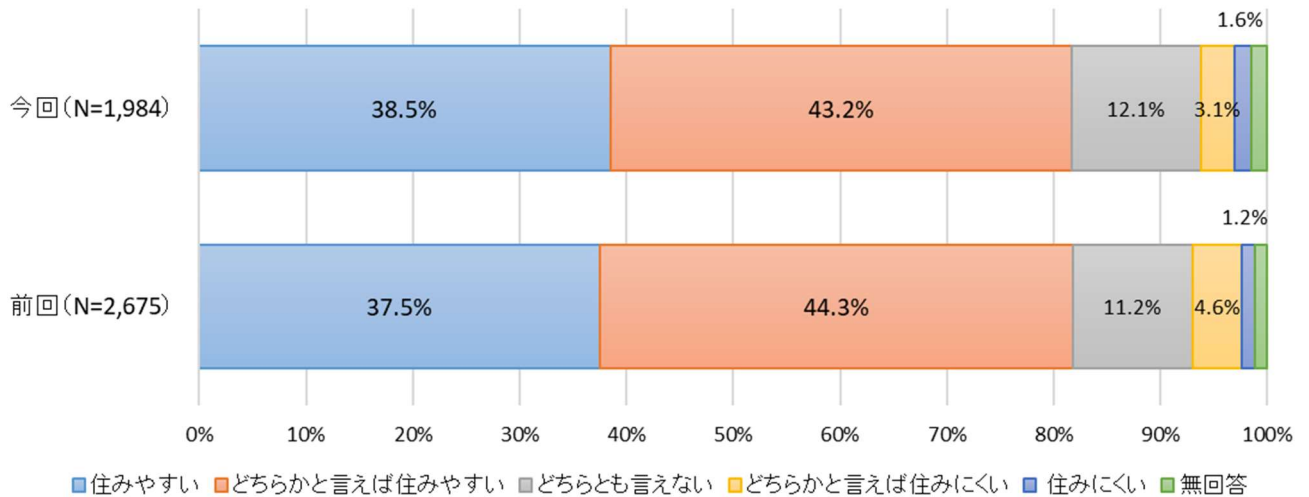
- 前回調査（平成 25 年 5～6 月）と比較し、わずかながら住みやすいと感じている市民の比率が高くなりました。（図表 9 参照）
- 性別にみると、男性と比較してわずかながら女性の住みやすいと感じている方の比率が高くなりました。（図表 10 参照）
- 年齢別にみると、全体的に住みやすいと感じている市民が多い中で、「20～24 歳」「30～34 歳」で住みにくと感じている方が多い傾向がみられました。（図表 11 参照）
- 性別かつ年齢別にみると、25～34 歳で男性と女性との間で住みやすいと感じる傾向に比較的大きな違いがみられました。（図表 12 参照）
- お住まいの地区別にみると、どちらかといえば人口の減少している地域で住みやすいと感じる方が少ない傾向がみられました。（図表 14 参照）
- 居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど住みやすいと感じる傾向がみられました。（図表 16 参照）

図表 8 によると、「住みやすい」と回答した方が 764 票で 38.5%、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方が 858 票で 43.2%となり、あわせて 81.7%が西条市を住みやすいと実感されている結果となりました。



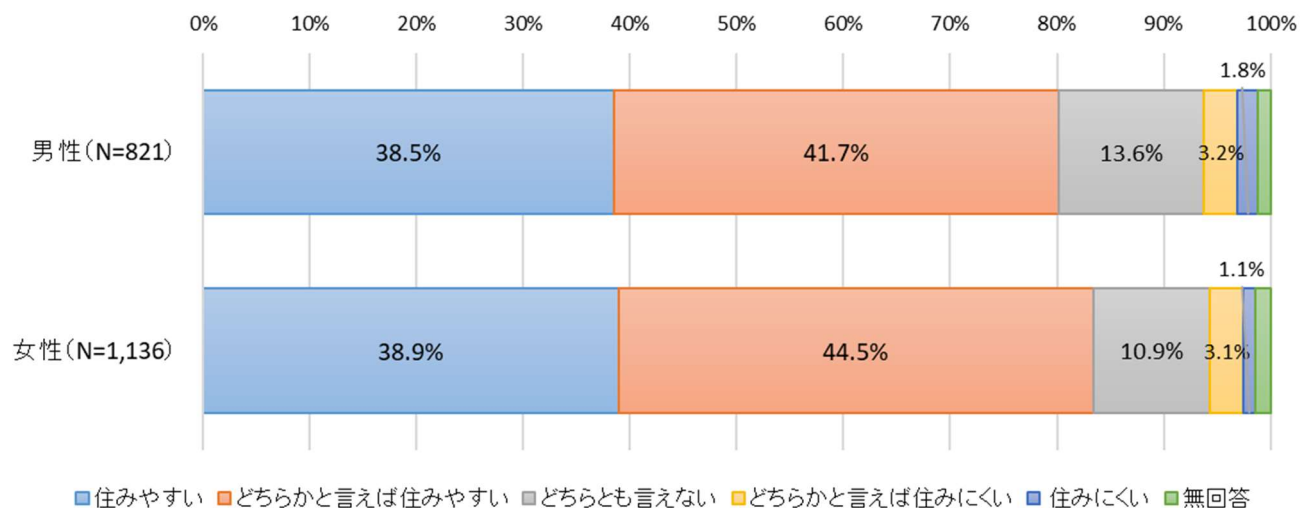
図表 8 西条市は住みやすいまちですか（単純集計）（N = 1, 984）

図表 9 によると、今回調査と前回調査（平成 25 年 5～6 月実施）を比較し、「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率はほぼ同じですが、「住みやすい」と回答した方の比率が 1%ポイント高くなりました。また、「どちらかと言えば住みにくい」「住みにくい」と回答した比率も 1.1%ポイント低下し、わずかながら住みやすいと感じている市民の比率が高くなりました。



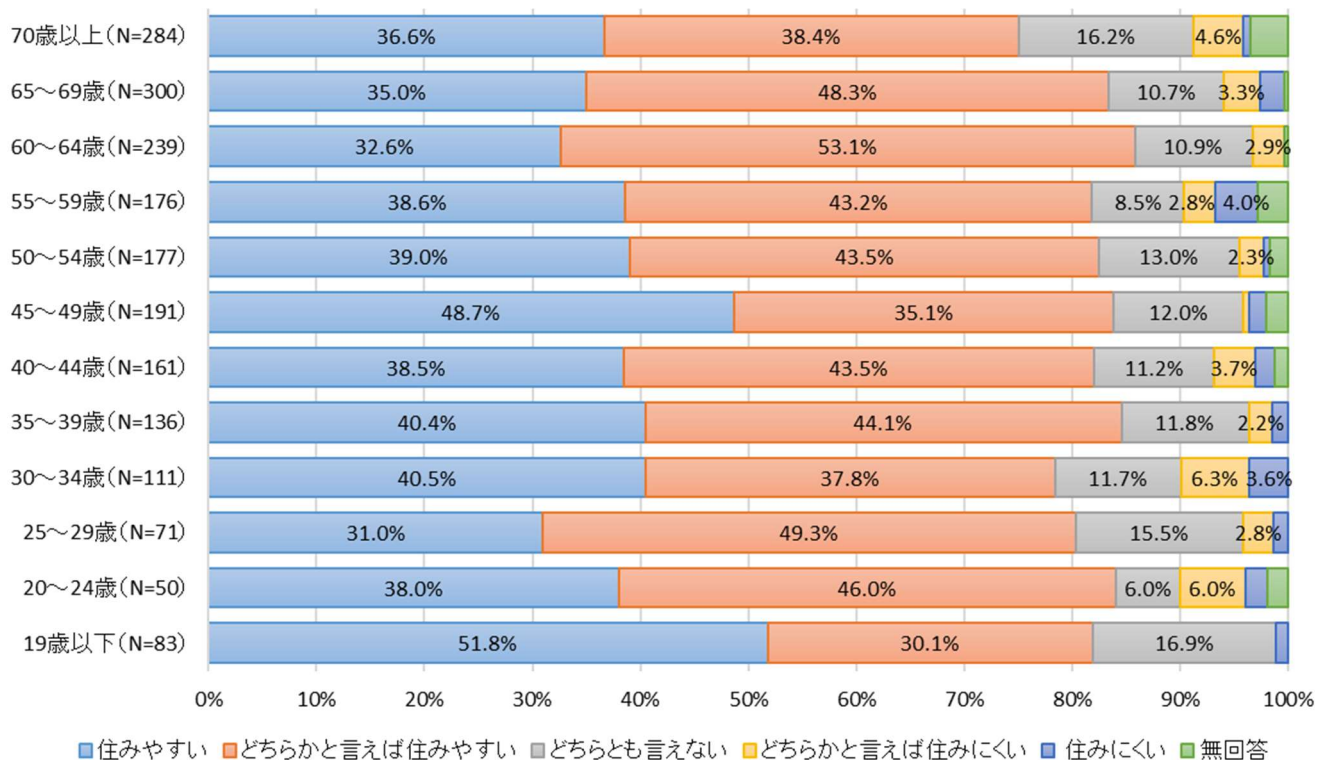
図表 9 西条市は住みやすいまちですか（今回調査と前回調査の比較）

図表 10 によると、「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率は、男性が 80.2%、女性が 83.4%となり、男女ともに住みやすいと感じている比率が 80%を超えました。また、わずかながら男性と比較して女性の比率が高くなりました。



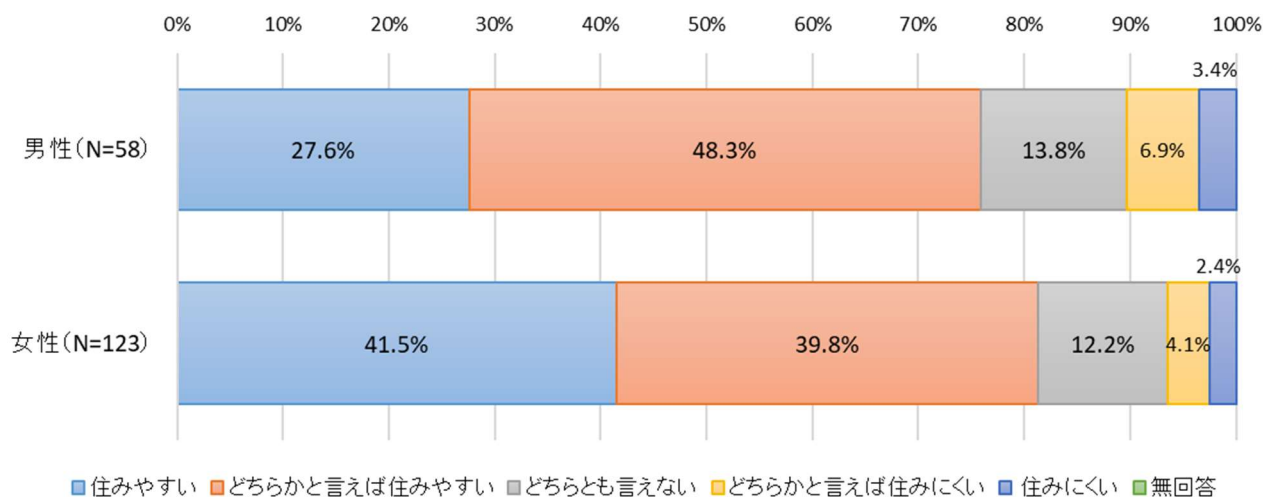
図表 10 西条市は住みやすいまちですか（性別）

図表 11 によると、全体的に「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率が高くなったものの、「30～34 歳」「70 歳以上」が 80%を下回る結果となりました。また、「どちらかと言えば住みにくい」「住みにくい」と回答した比率が最も高いのは「30～34 歳」で、続いて「20～24 歳」となりました。



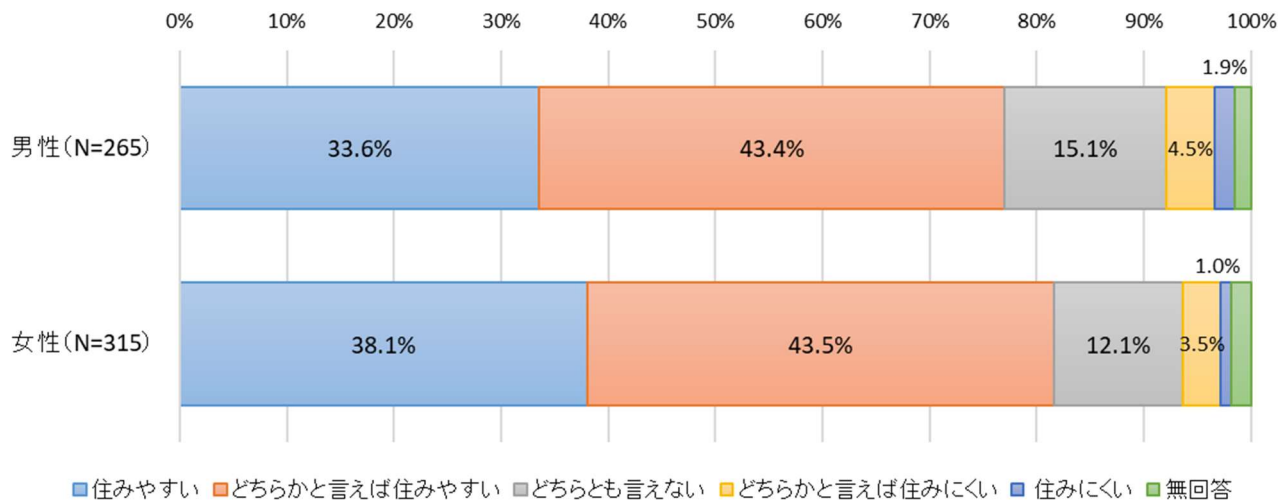
図表 1 1 西条市は住みやすいまちですか（年齢別）

図表 12 によると、25～34 歳では、男性よりも女性の「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率が高く、逆に、男性では「どちらかと言えば住みにくい」「住みにくい」と回答した比率が高くなりました。



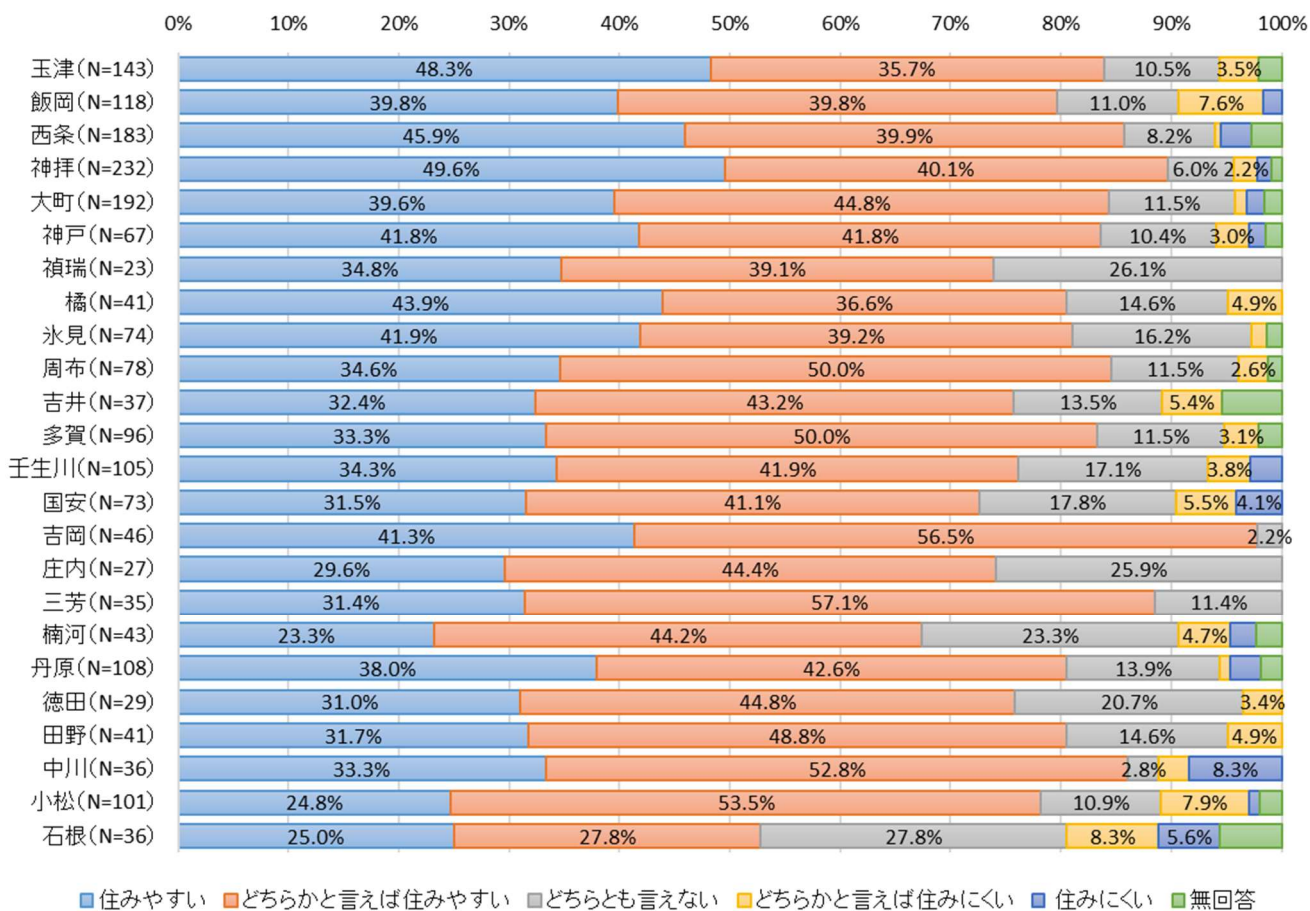
図表 1 2 西条市は住みやすいまちですか（25～34 歳・性別）

図表 13 によると、65 歳以上では、男性よりも女性の「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率がわずかに高く、逆に、男性では「どちらかと言えば住みにくい」「住みにくい」と回答した比率がわずかに高くなりました。



図表 13 西条市は住みやすいまちですか（65 歳以上・性別）

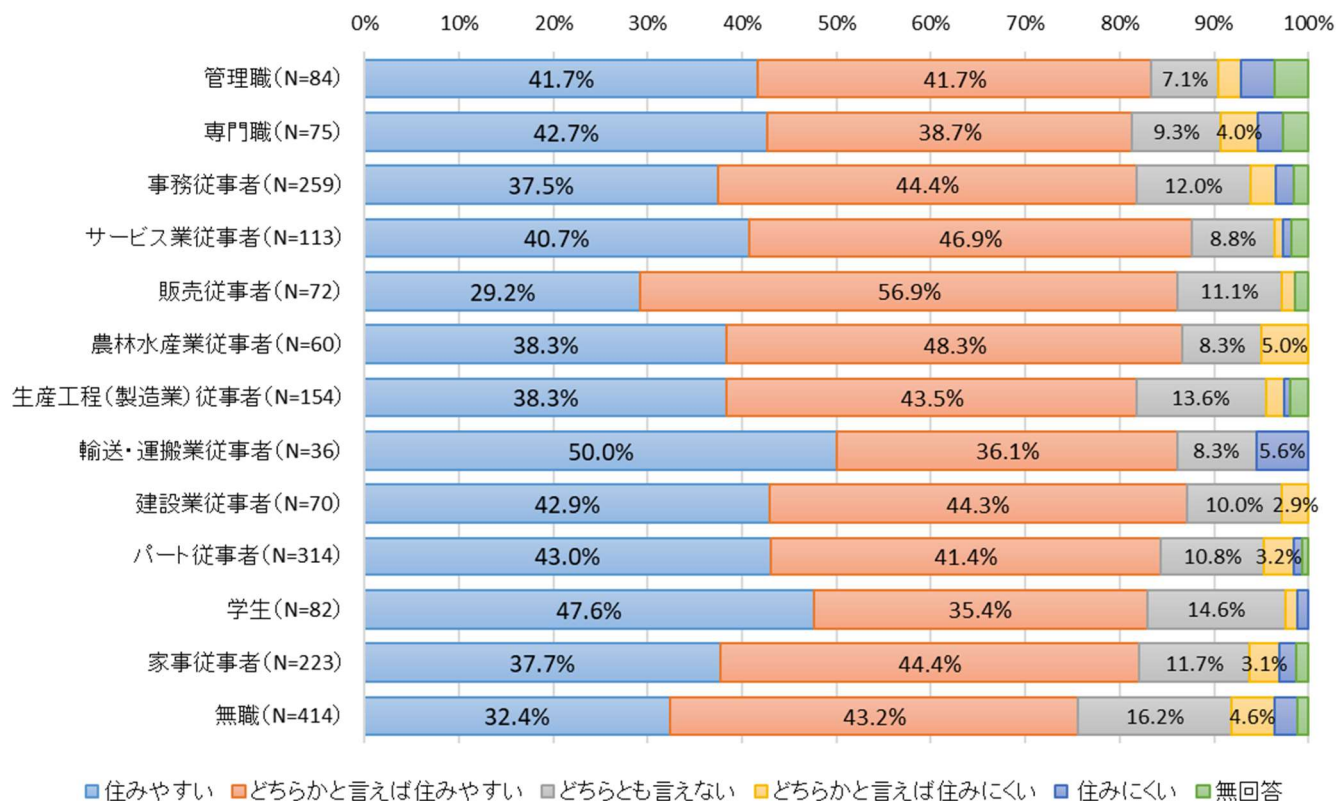
図表 14 によると、「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率が最も高いのは吉岡で 97.8%となりました。逆に、「どちらかと言えば住みにくい」「住みにくい」と回答した比率が最も高いのは石根で 13.9%となりました。



※ 回答者 20 人以上の地区を対象

図表 14 西条市は住みやすいまちですか（お住まいの地区別）

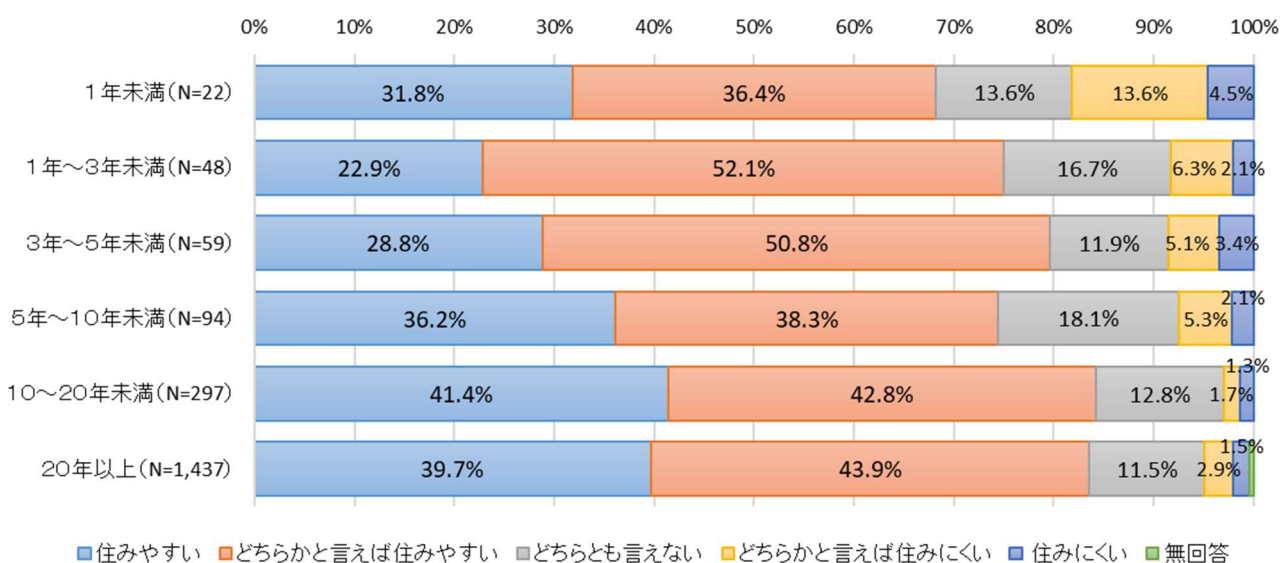
図表 15 によると、職業間で大きな差はみられませんが、「無職」の「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率が低くなりました。



※ 回答者 20 人以上の職業を対象

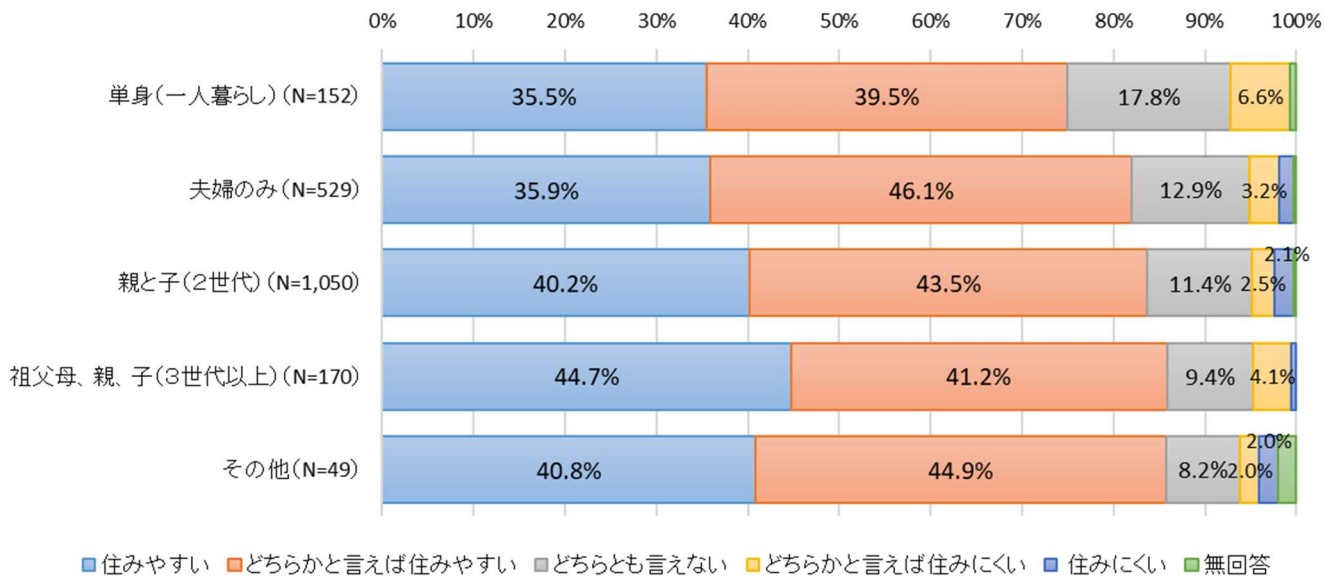
図表 15 西条市は住みやすいまちですか（職業別）

図表 16 によると、本市の居住年数が 1 年未満の方が「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率が最も低くなり、居住年数が長くなるにつれて高くなりました。



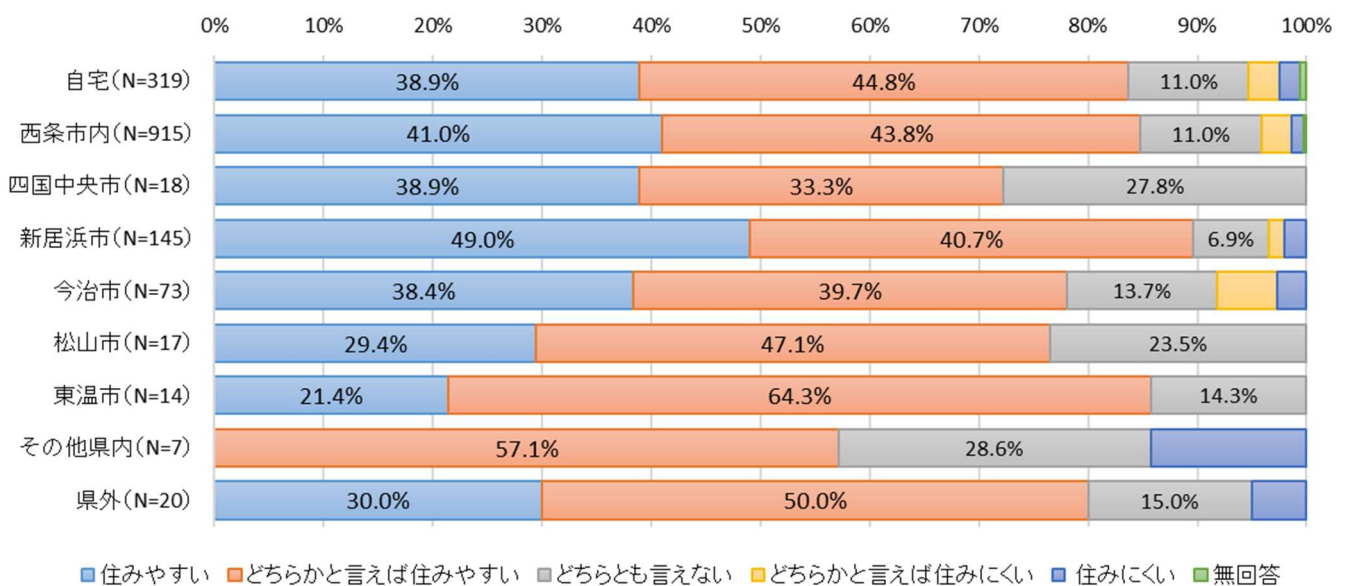
図表 16 西条市は住みやすいまちですか（居住年数別）

図表 17 によると、「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率が最も高いのは「祖父母、親、子（3世代以上）」で85.9%となりました。また、家族構成が大きいほど、わずかに「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率が高くなりました。



図表 17 西条市は住みやすいまちですか（家族構成別）

図表 18 によると、「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した比率が最も高いのは、「新居浜市」で勤務（通学）されている方という結果となりました。また、「新居浜市」と「県外」を除いて勤務先（通学先）が遠方になるほど「どちらかと言えば住みにくい」「住みにくい」と回答した比率が高くなりました。



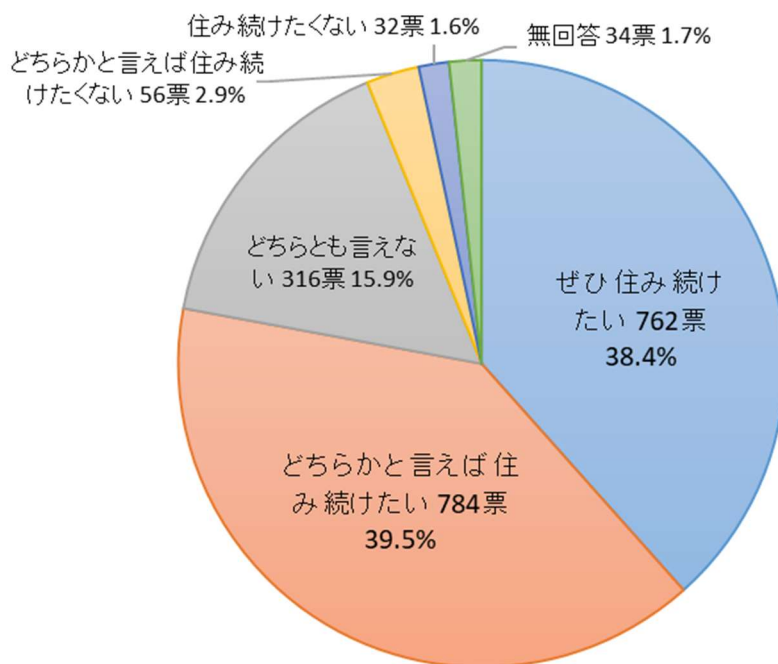
図表 18 西条市は住みやすいまちですか（勤務先・通学先別）

(2) あなたは、今後も西条市に住み続けたいですか

【結果概要】

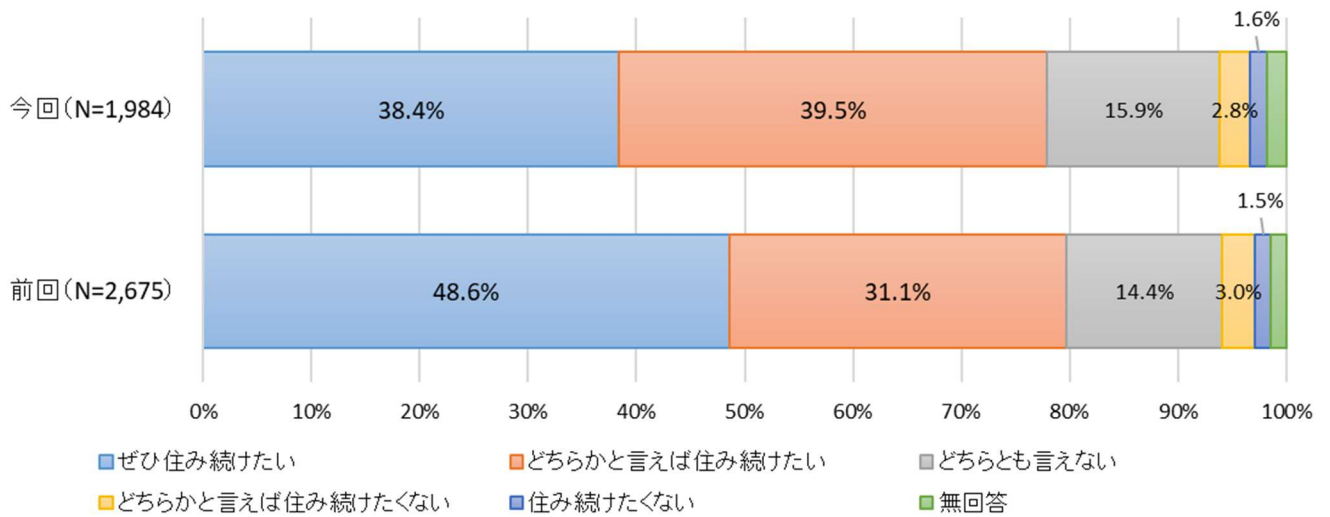
- 前回調査（平成 25 年 10 月）と比較すると、「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率はほぼ同じとなりましたが、「ぜひ住み続けたい」と回答した方の比率が 10.2%ポイント低くなりました。（図表 20 参照）
- 性別にみると、わずかながら女性と比較して男性の住み続けたいと感じる傾向が強くなりました。（図表 21 参照）
- 年齢別にみると、34 歳以下の年齢では、若いほど住み続けたいと感じていない傾向がみられました。特に、「19 歳以下」では低い傾向がみられました。（図表 22 参照）
- お住まいの地区別にみると、地域によって住み続けたいと感じる傾向に違いがありました。（図表 24 参照）
- 「学生」の住み続けようと感じる比率が突出して低い結果となりました。（図表 25 参照）
- 転入してから一定期間を経過すると住み続けたいと感じる傾向が弱くなり、3 年目以降は居住年数が長くなるほど住み続けたいと感じる傾向が強い結果となりました。（図表 26 参照）
- 家族構成が大きくなるほど住み続けたいと感じる傾向が強くなりました。（図表 27 参照）

図表 19 によると、「ぜひ住み続けたい」と回答した方が 762 票で 38.4%、「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した方が 784 票で 39.5%となり、あわせて 77.9%が西条市に住み続けようと感じられている結果となりました。



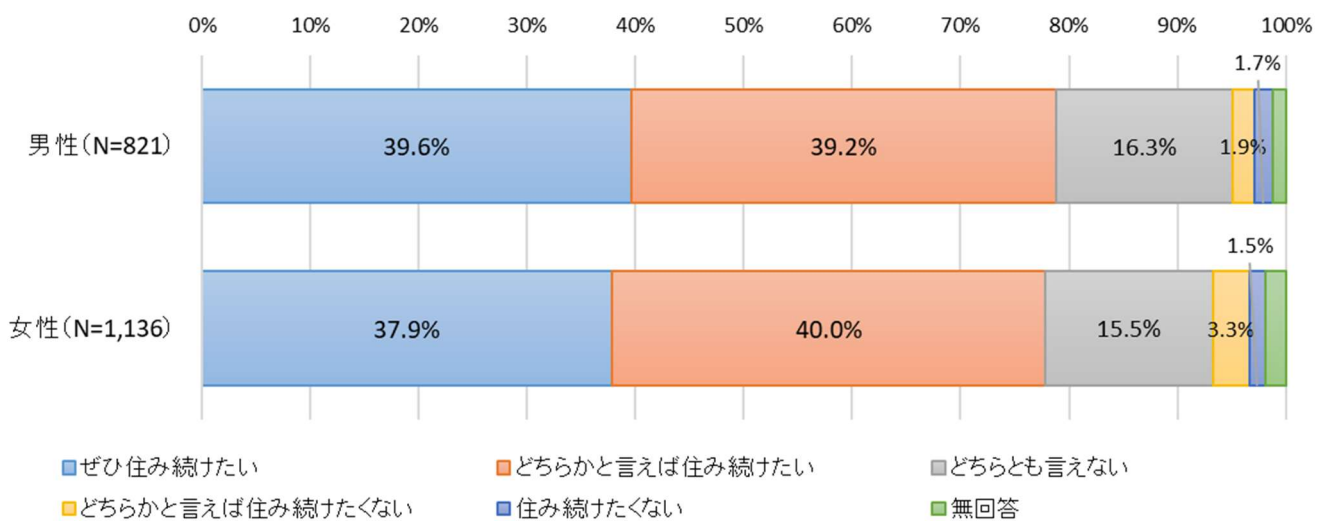
図表 19 西条市に住み続けたいですか（単純集計）（N = 1, 984）

図表 20 によると、今回調査と前回調査（平成 25 年 5～6 月実施）を比較し、「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率はほぼ同じですが、「ぜひ住み続けたい」と回答した方の比率が 10.2%ポイント低くなりました。



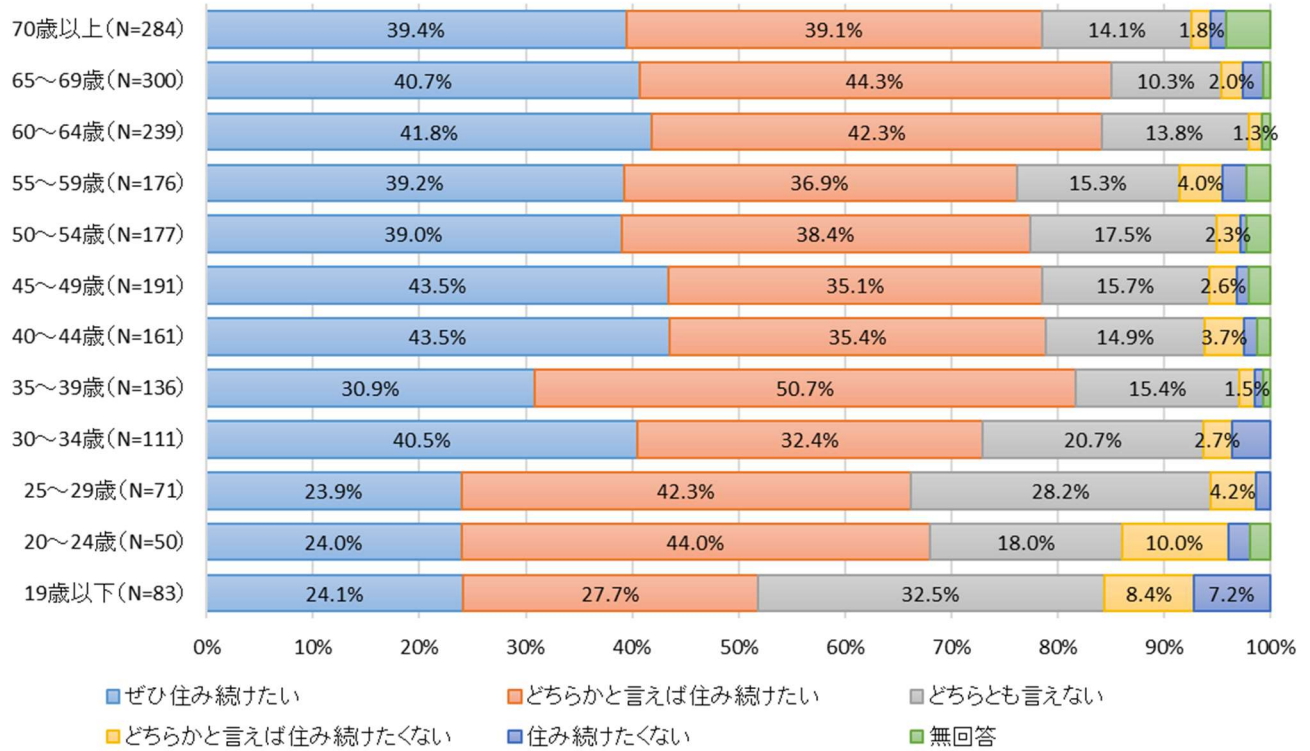
図表 20 西条市に住み続けたいですか（今回調査と前回調査の比較）

図表 21 によると、「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率は、男性が 78.8%、女性が 77.9%となり、男女ともに住み続けたいと感じている比率が同程度となりました。また、わずかながら女性と比較して男性の「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答する比率が高くなりました。



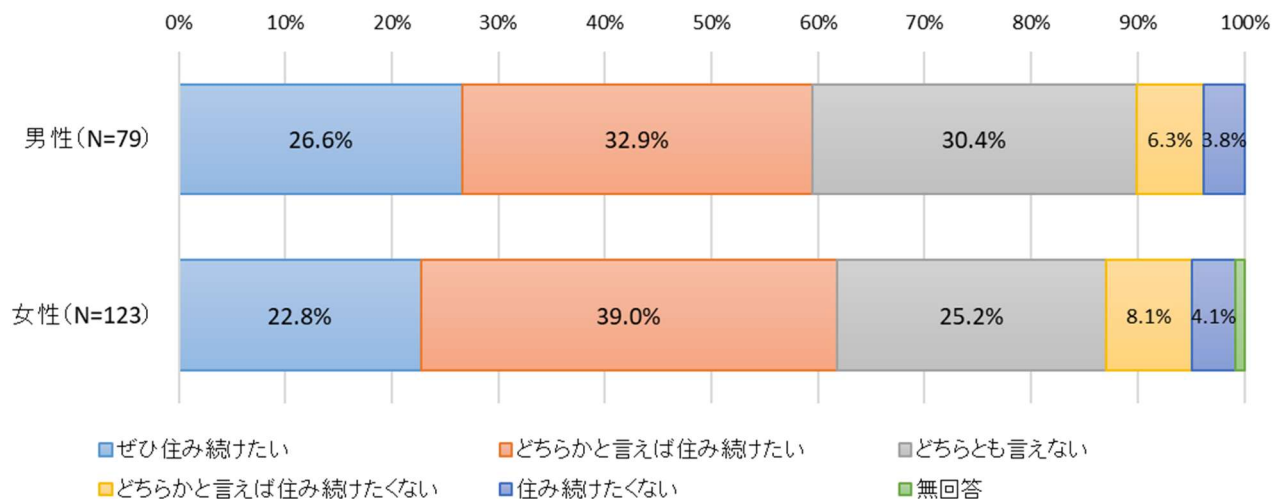
図表 21 西条市に住み続けたいですか（性別）

図表 22 によると、35 歳以上で「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率が高くなったものの、34 歳以下の年齢では若くなるほど「どちらかと言えば住み続けたくない」「住み続けたくない」が低くなりました。特に、「19 歳以下」では「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率が約 50%程度となりました。



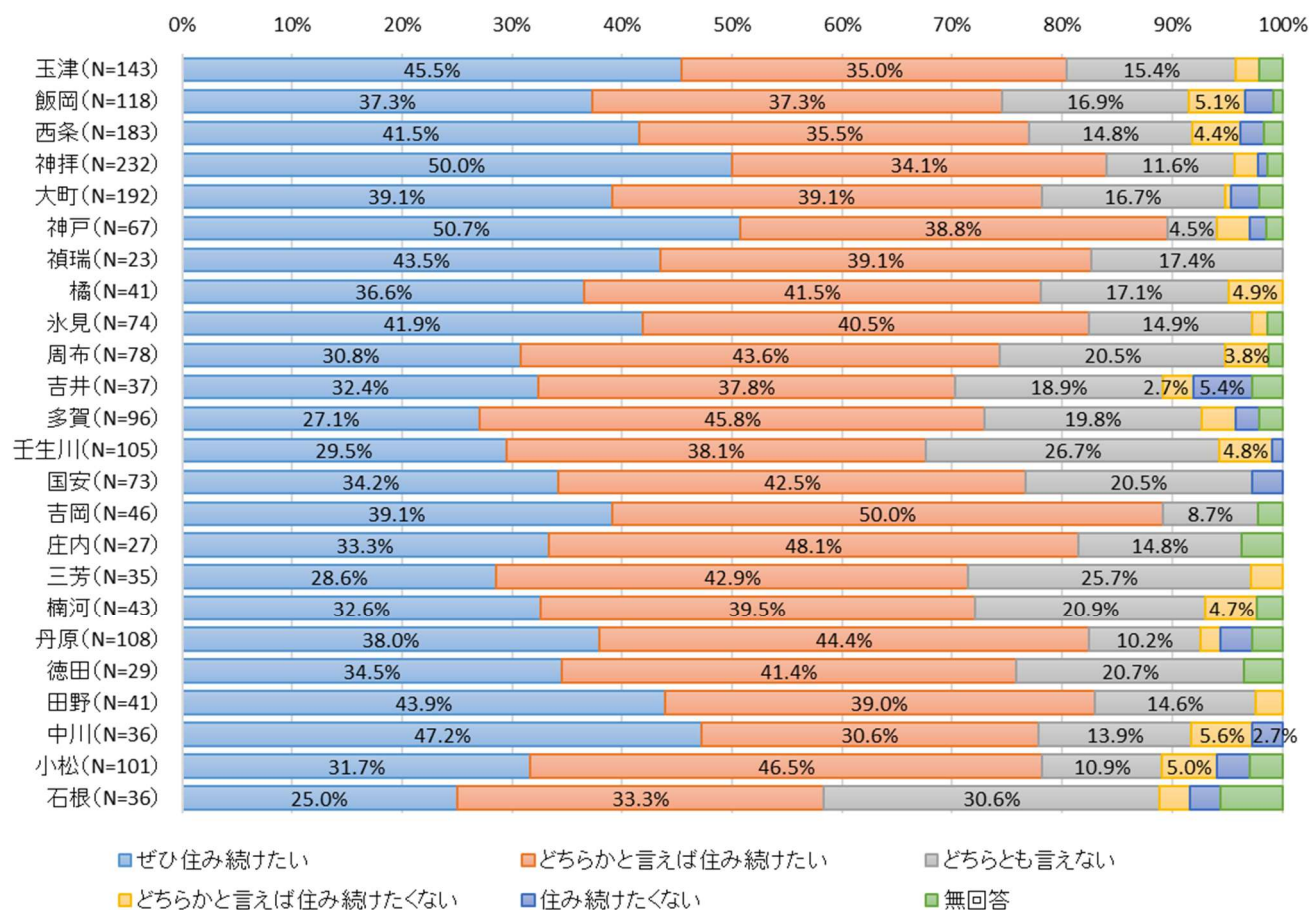
図表 2 2 西条市に住み続けたいですか（年齢別）

図表 23 によると、29 歳以下では、男性よりも女性の「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率が高い一方で、女性の「どちらかと言えば住み続けたくない」「住み続けたくない」と回答した比率が高くなる両極端な結果となりました。



図表 2 3 西条市に住み続けたいですか（29 歳以下・性別）

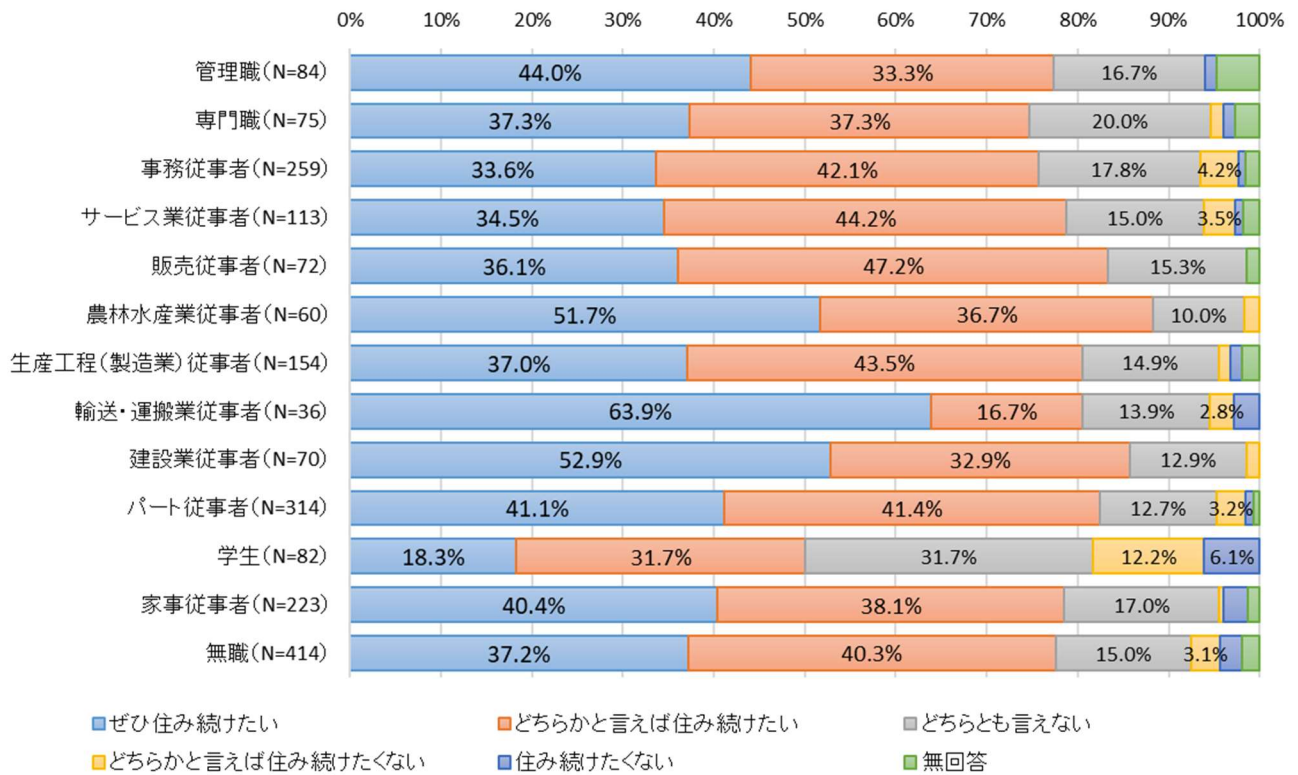
図表 24 によると、「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率が最も高いのは神戸で 89.5%となり、続いて吉岡で 89.1%となりました。逆に、「どちらかと言えば住み続けたくない」「住み続けたくない」と回答した比率が最も高いのは中川で 8.3%となりました。



※ 回答者 20 人以上の地区を対象

図表 2 4 西条市に住み続けたいですか（お住まいの地区別）

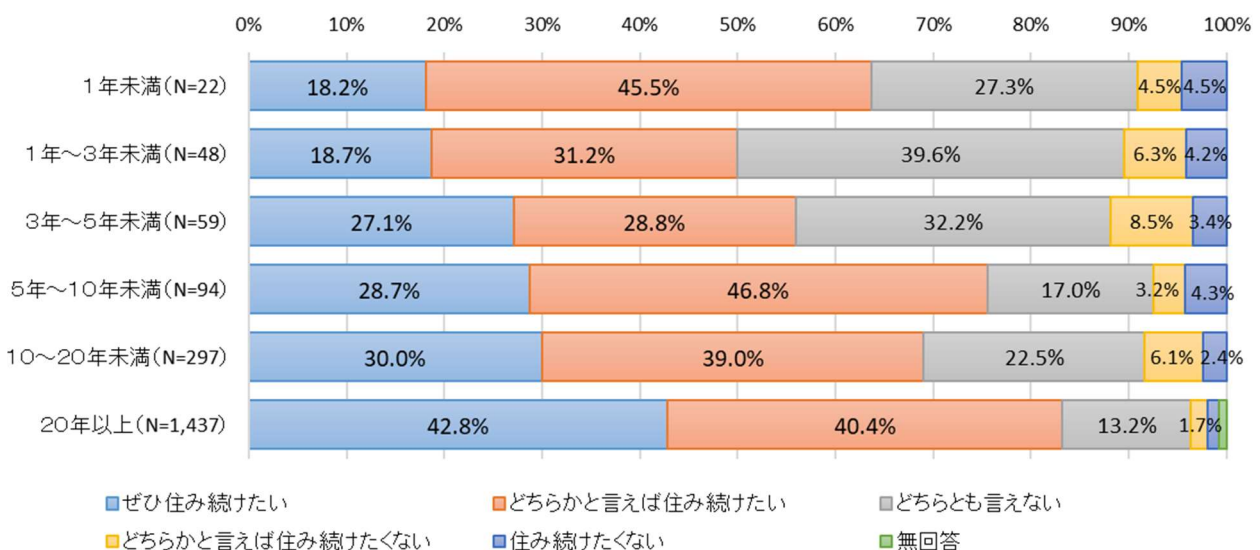
図表 25 によると、前述した住みやすさと異なり、職業間で大きな差が生じています。「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率が最も高いのは農林水産業従事者で 88.4%となり、続いて建設業従事者で 85.8%となりました。逆に、学生は「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率が 50%と際立って低く、「どちらかと言えば住み続けたくない」「住み続けたくない」という比率も 18.3%と高くなりました。



※ 回答者 20 人以上の職業を対象

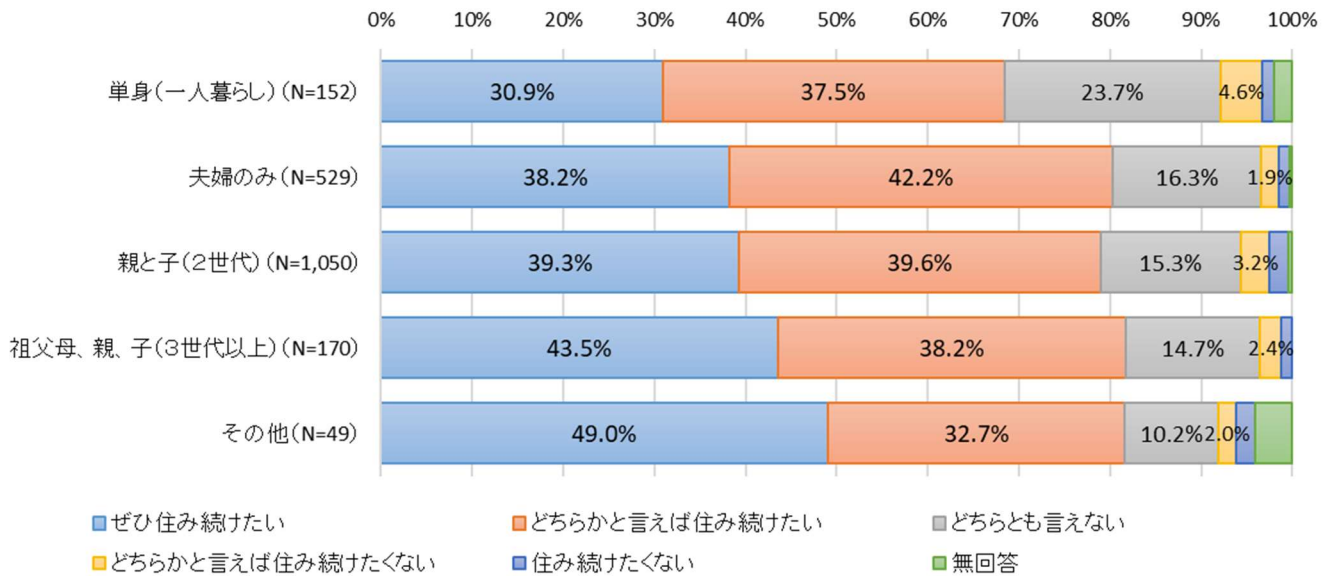
図表 2 5 西条市に住み続けたいですか（職業別）

図表 26 によると、「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率が最も高かったのは「20年以上」居住されている方で 83.2%となり、続いて「5～10年未満」居住されている方で 75.5%となりました。また、「どちらかと言えば住み続けたくない」「住み続けたくない」と回答した比率が最も高かったのは「3年～5年未満」居住されている方で 11.9%となりました。転入してから一定期間を経て住み続けようとする意欲が低下し、その後居住年数が長くなると高くなる傾向がみられます。



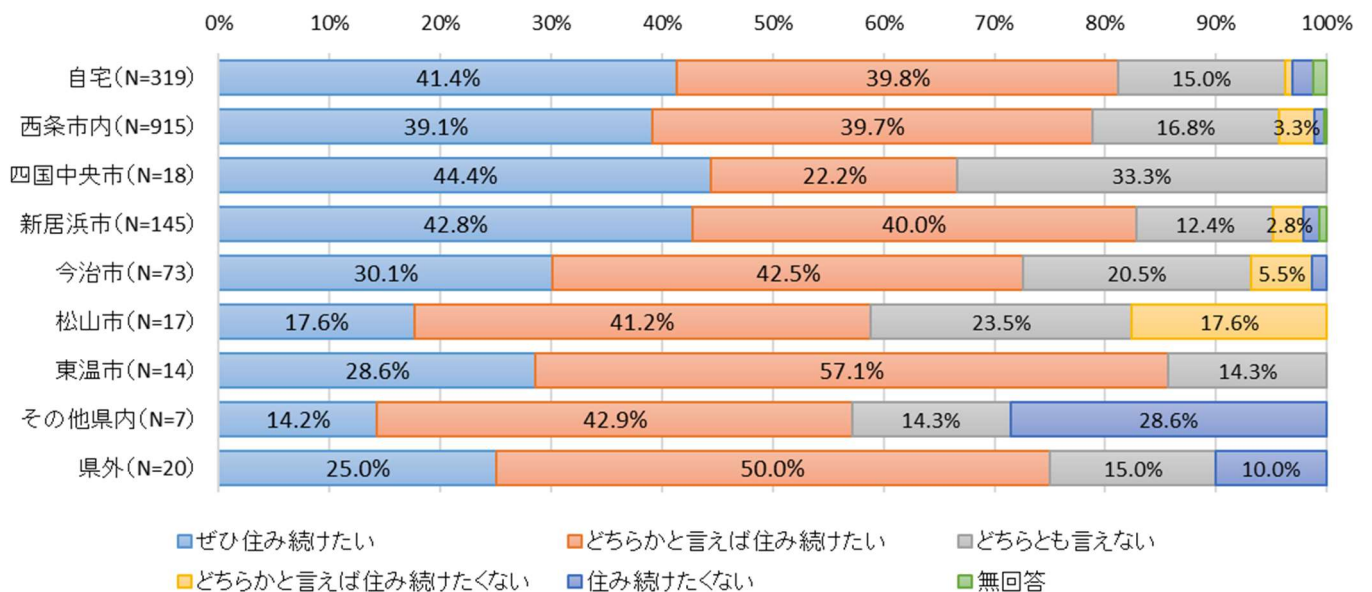
図表 2 6 西条市に住み続けたいですか（居住年数別）

図表 27 によると、前述した住みやすさと比較し、家族構成が大きいほど、「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率が高くなる傾向が見られました。



図表 27 西条市に住み続けたいですか (家族構成別)

図表 28 によると、「ぜひ住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した比率が最も高いのは、「東温市」で勤務(通学)されている方で 85.7%、続いて「新居浜市」で 82.8%という結果となりました。また、勤務先(通学先)が遠方になるほど「どちらかと言えば住み続けたくない」「住み続けたくない」と回答した比率が高くなる傾向もみられます。



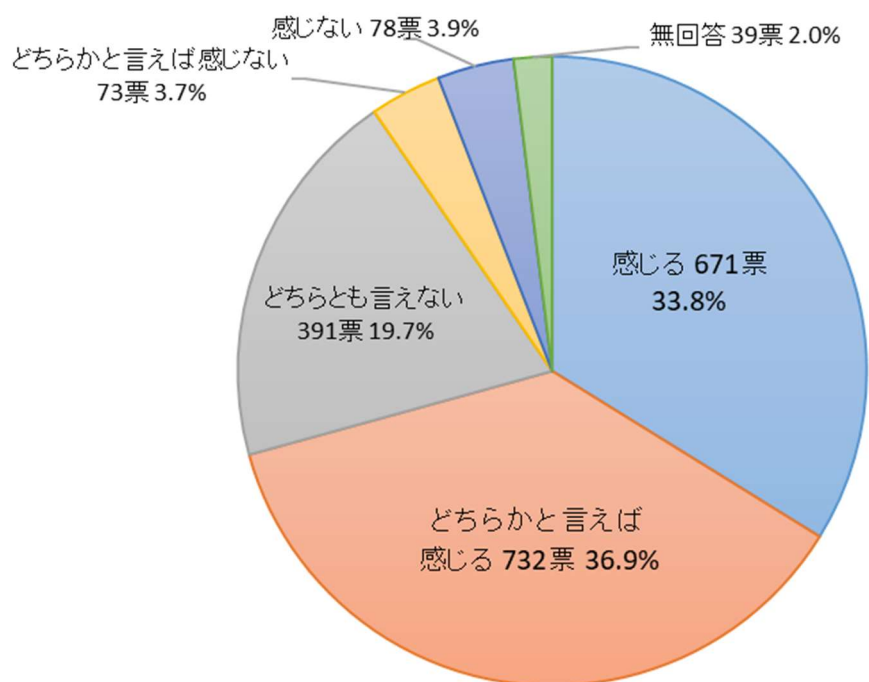
図表 28 西条市に住み続けたいですか (勤務先・通学先別)

(3) あなたは西条市に愛着や誇りを感じていますか

【結果概要】

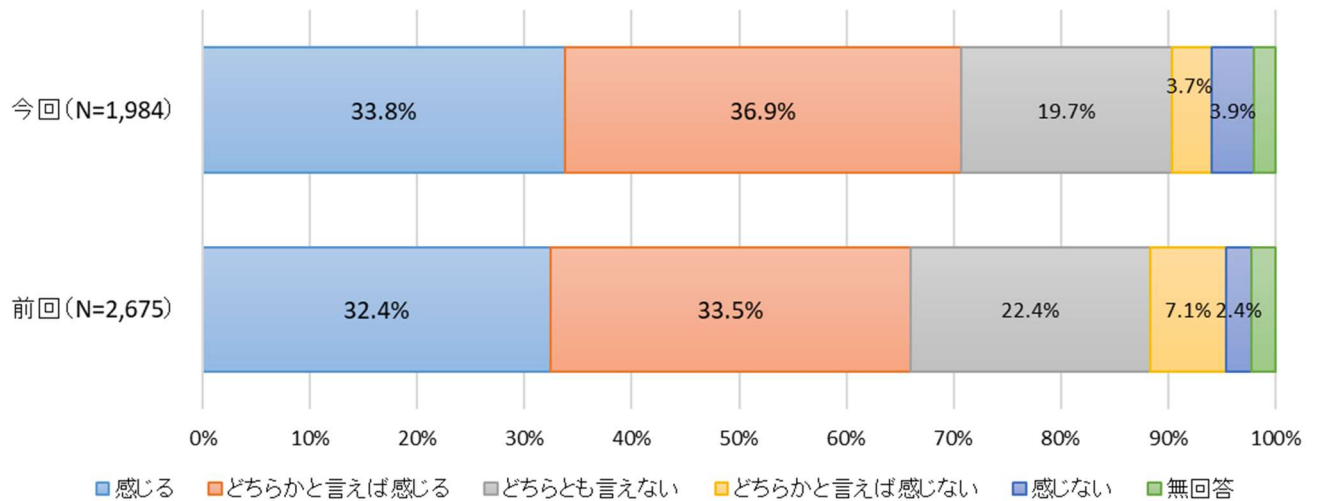
- 前回調査（平成 25 年 10 月）と比較すると、「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率が 4.8%ポイント高くなり、「どちらかといえば感じない」「感じない」と回答した比率も 1.9%ポイント低くなる良好な結果となりました。（図表 30 参照）
- 性別にみると、男性と比較して女性の愛着や誇りを感じている比率がわずかながら高くなりました。（図表 31 参照）
- 年齢別にみると、若い年齢では愛着や誇りを感じている比率が低くなり、特に「20～24 歳」が最も低くなりました。（図表 32 参照）
- 性別かつ年齢別にみると、20～34 歳では男性の愛着や誇りを感じている比率が低くなりました。60 歳以上でも同様の傾向がみられますが、20～34 歳と比較して男性と女性との違いは小さい結果となりました。（図表 33, 34 参照）
- お住まいの地区別にみると、全市的に愛着や誇りを感じている比率にバラツキがみられました。（図表 35 参照）
- 居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど愛着や誇りを感じる比率が高くなる傾向がみられました。（図表 37 参照）

図表 29 によると、「感じる」と回答した方が 671 票で 33.8%、「どちらかと言えば感じる」と回答した方が 732 票で 36.9%となり、あわせて 70.7%が西条市に愛着や誇りを感じている結果となりました。



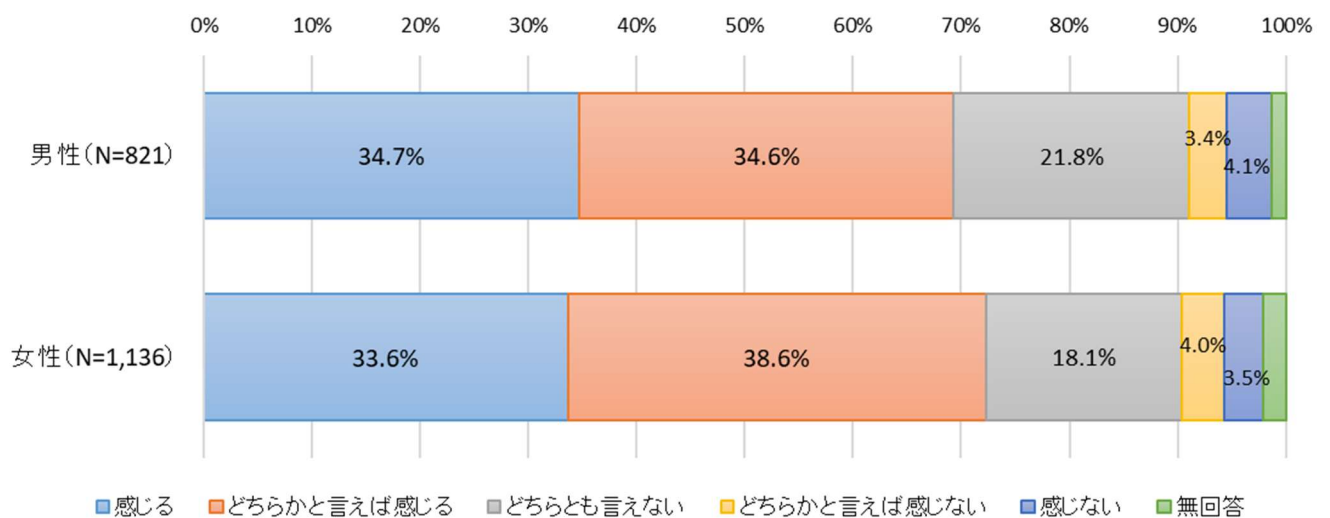
図表 29 西条市に愛着や誇りを感じていますか（単純集計）（N = 1, 984）

図表 30 によると、今回調査と前回調査（平成 25 年 5～6 月実施）を比較し、「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率は 70.7%となり、前回調査を 4.8%ポイント上回りました。また、「どちらかといえば感じない」「感じない」と回答した比率も 7.6%となり、前回調査を 1.9%ポイント下回りました。



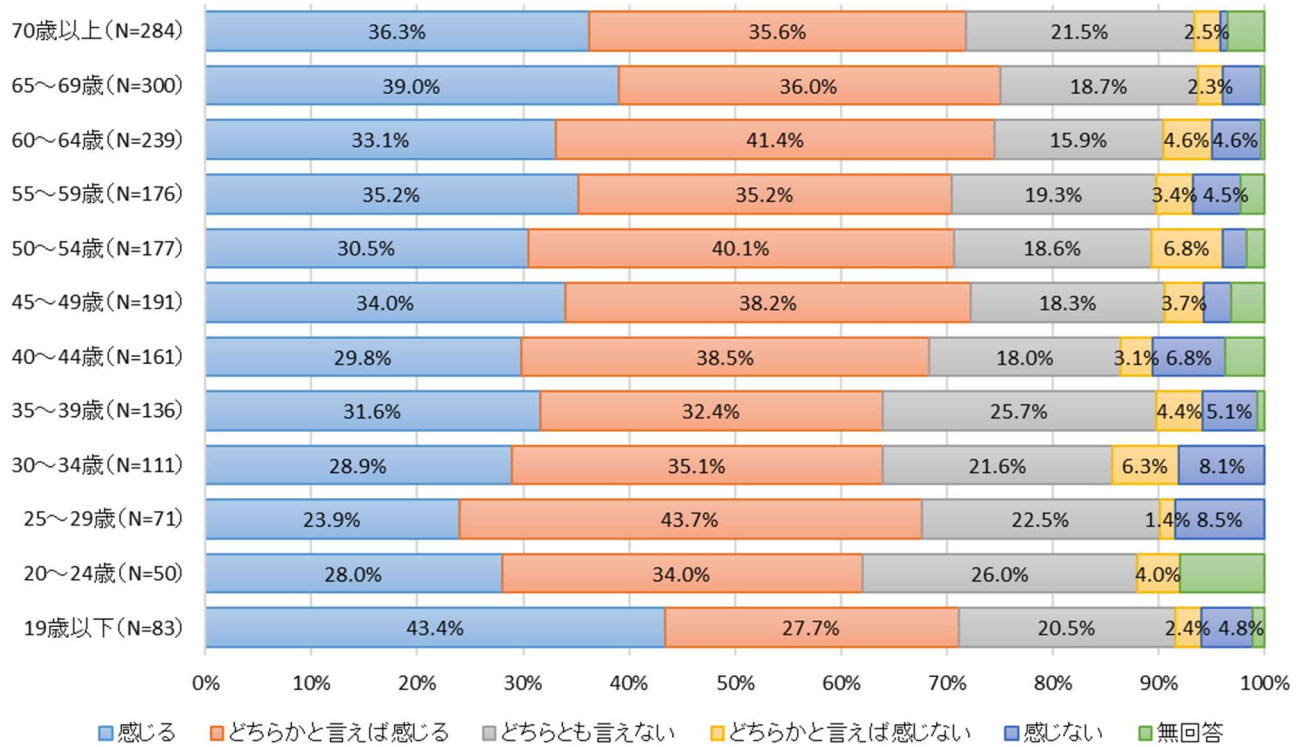
図表 30 西条市に愛着や誇りを感じていますか（今回調査と前回調査の比較）

図表 31 によると、「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率は、男性が 69.3%、女性が 72.2%となり、男女ともに愛着や誇りを感じている比率が 70%前後となりました。また、わずかながら男性と比較して女性の比率が高くなりました。



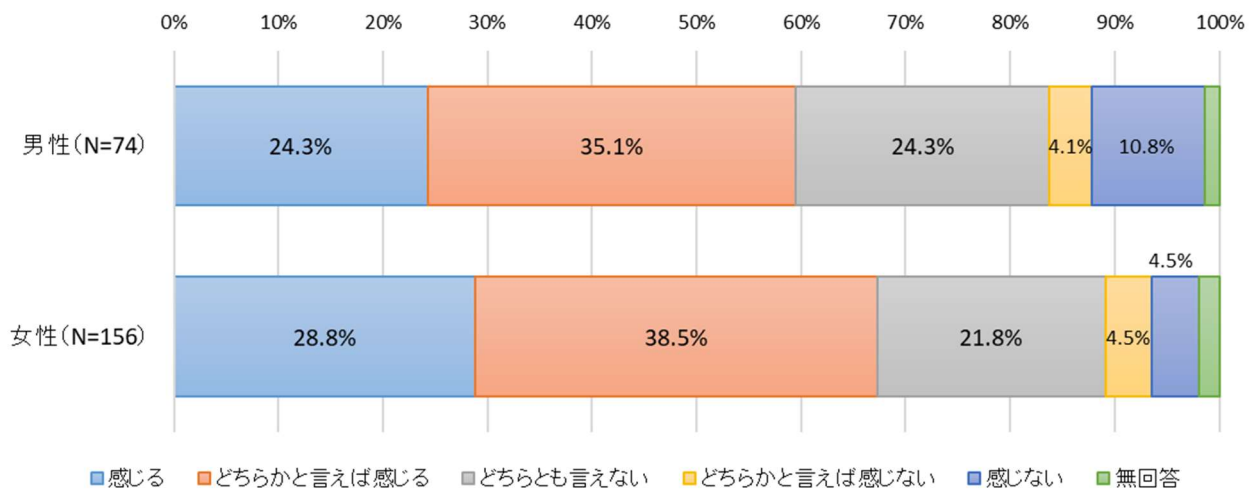
図表 31 西条市に愛着や誇りを感じていますか（性別）

図表 32 によると、20～44 歳の年齢において、総じて「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率が 70%を割り込む結果となりました。また、「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率が最も高いのは「65～69 歳」の 75.0%で、逆に最も低いのは「20～24 歳」の 62.0%となりました。



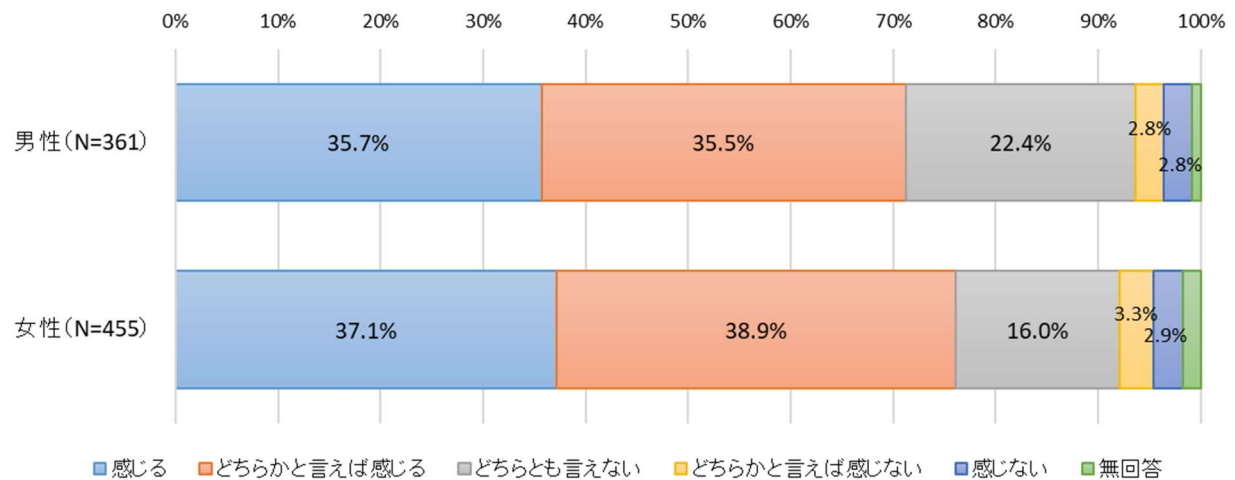
図表 3 2 西条市に愛着や誇りを感じていますか（年齢別）

図表 33 によると、20～34 歳では、男性よりも女性の「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率が高く、逆に、男性では「感じない」と回答した比率が 5%以上高くなりました。



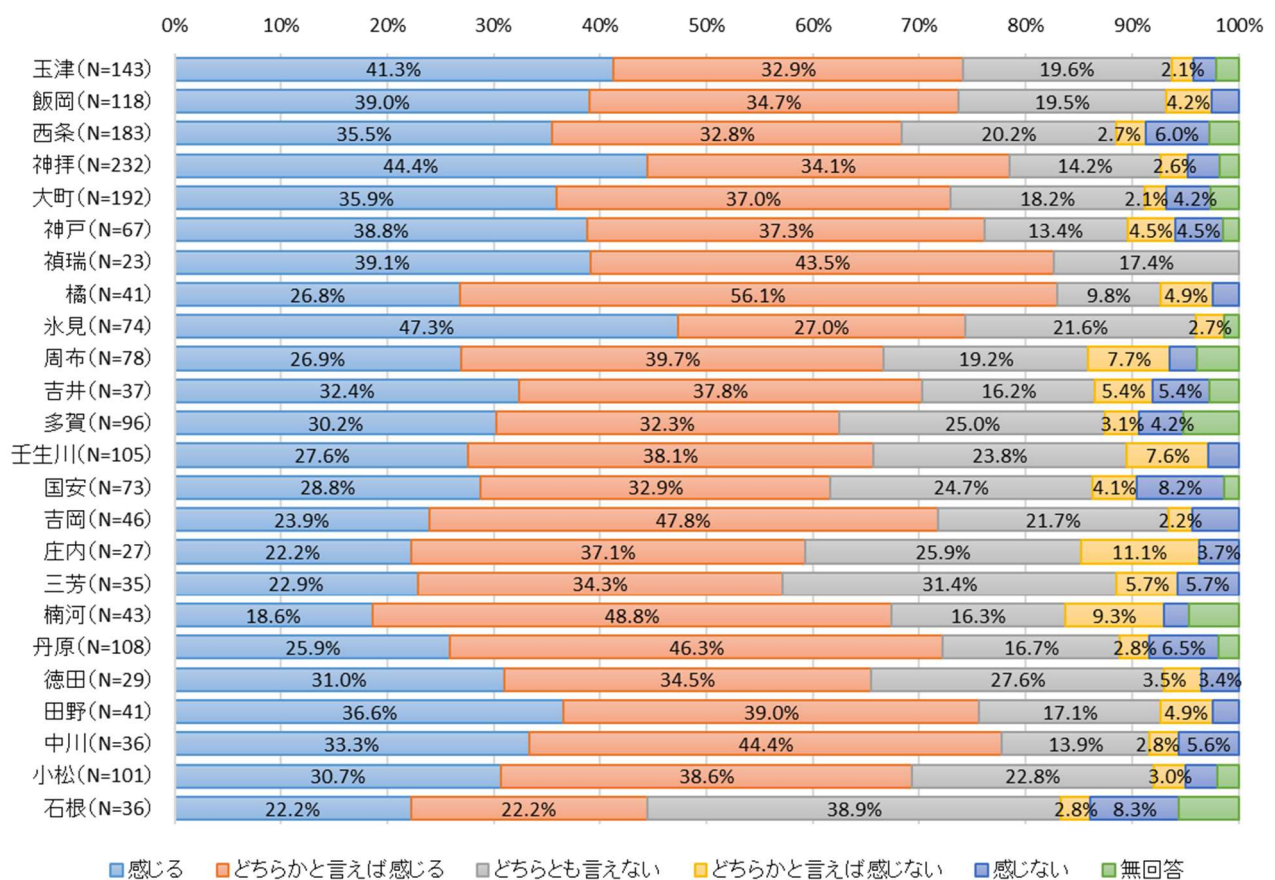
図表 3 3 西条市に愛着や誇りを感じていますか（20～34 歳・性別）

図表 34 によると、60 歳以上では、男性よりも女性の「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率がわずかに高くなりましたが、20～34 歳と比較し、男性と女性との違いは決して大きくない結果となりました。



図表 34 西条市に愛着や誇りを感じていますか（60 歳以上・性別）

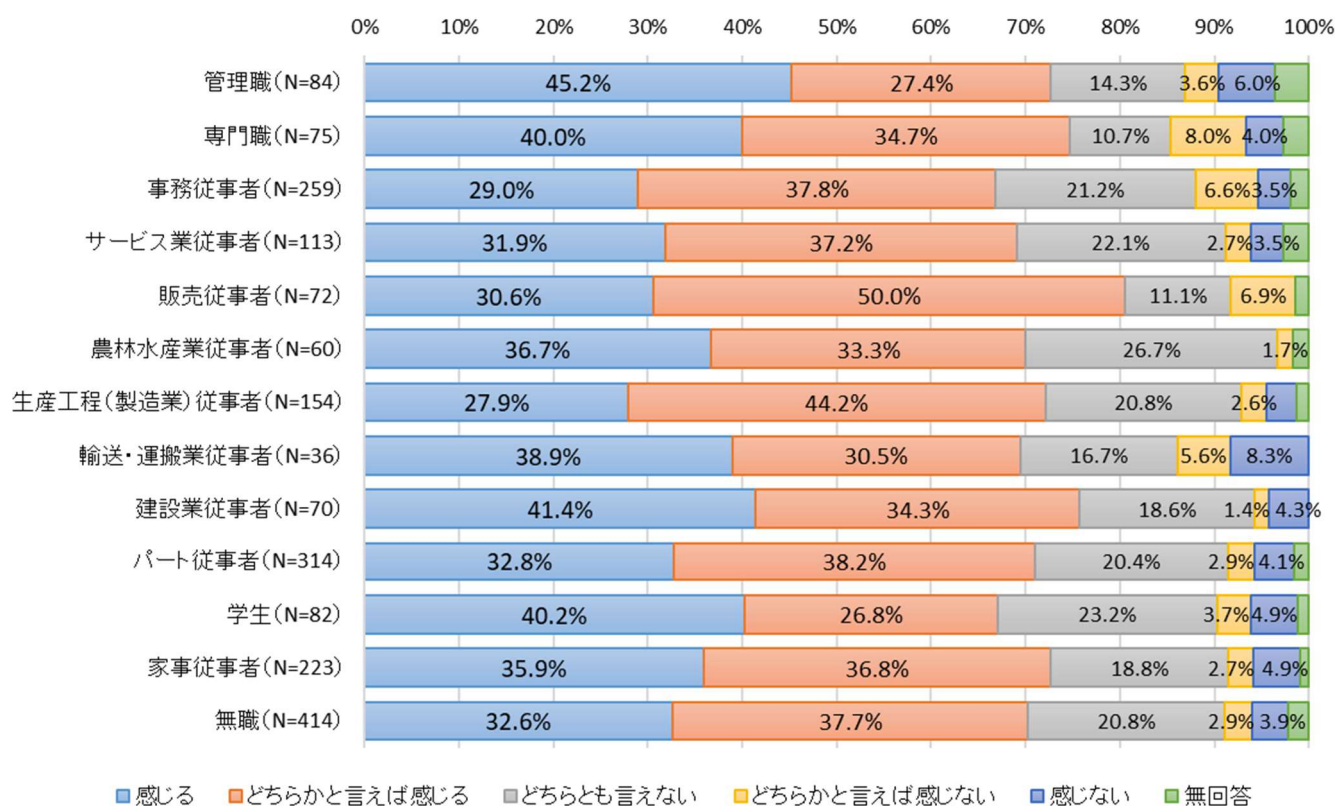
図表 35 によると、「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率が最も高いのは橘で 82.9% となりました。逆に、「どちらかと言えば感じない」「感じない」と回答した比率が最も高いのは庄内で 14.8% となりました。



※ 回答者 20 人以上の地区を対象

図表 35 西条市に愛着や誇りを感じていますか（お住まいの地区別）

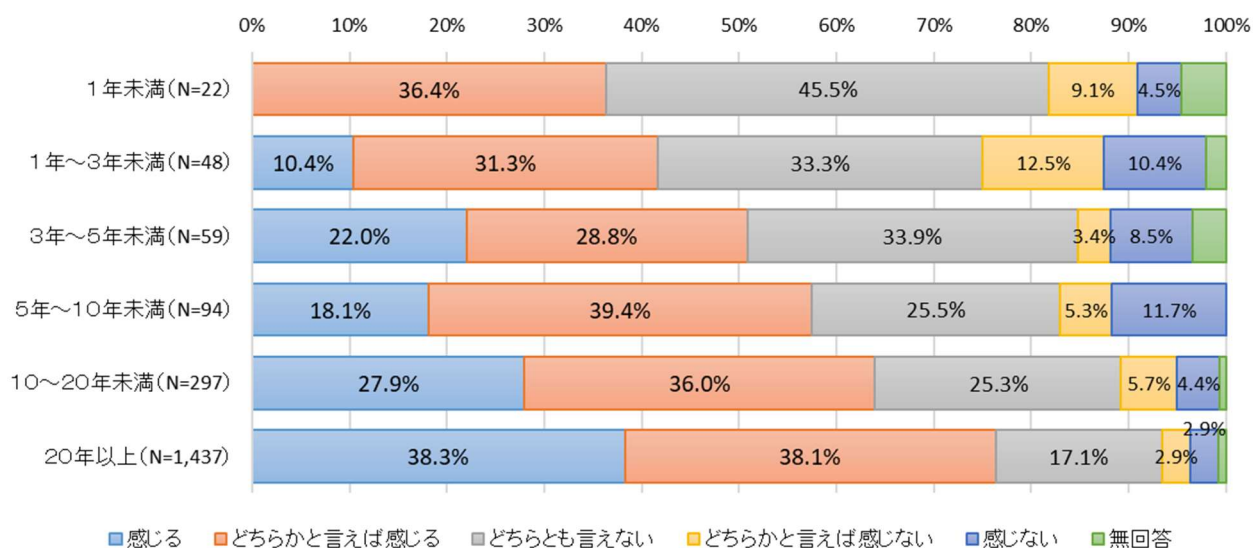
図表 36 によると、職業間で大きな差はみられませんが、「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率が最も高いのは「販売従事者」の 80.6%で、逆に最も低いのは「事務従事者」の 66.8%、続いて「学生」の 67.0%となりました。



※ 回答者 20 人以上の職業を対象

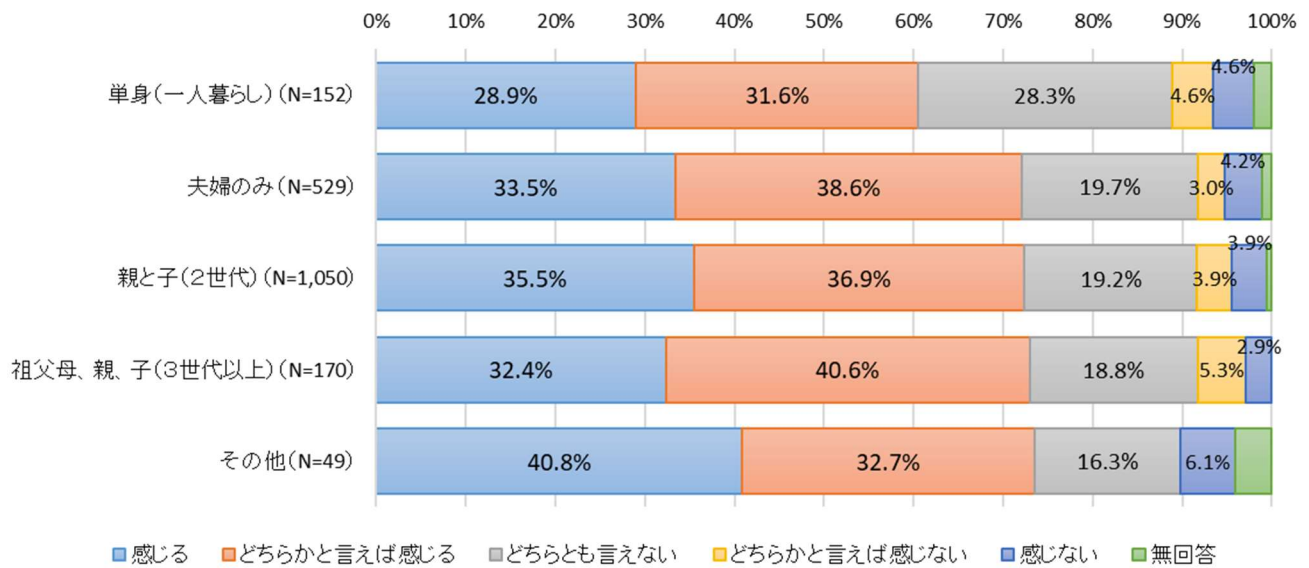
図表 36 西条市に愛着や誇りを感じていますか（職業別）

図表 37 によると、本市の居住年数が 1 年未満の「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率が最も低くなり、居住年数が長くなるにつれて高くなる傾向が見られました。



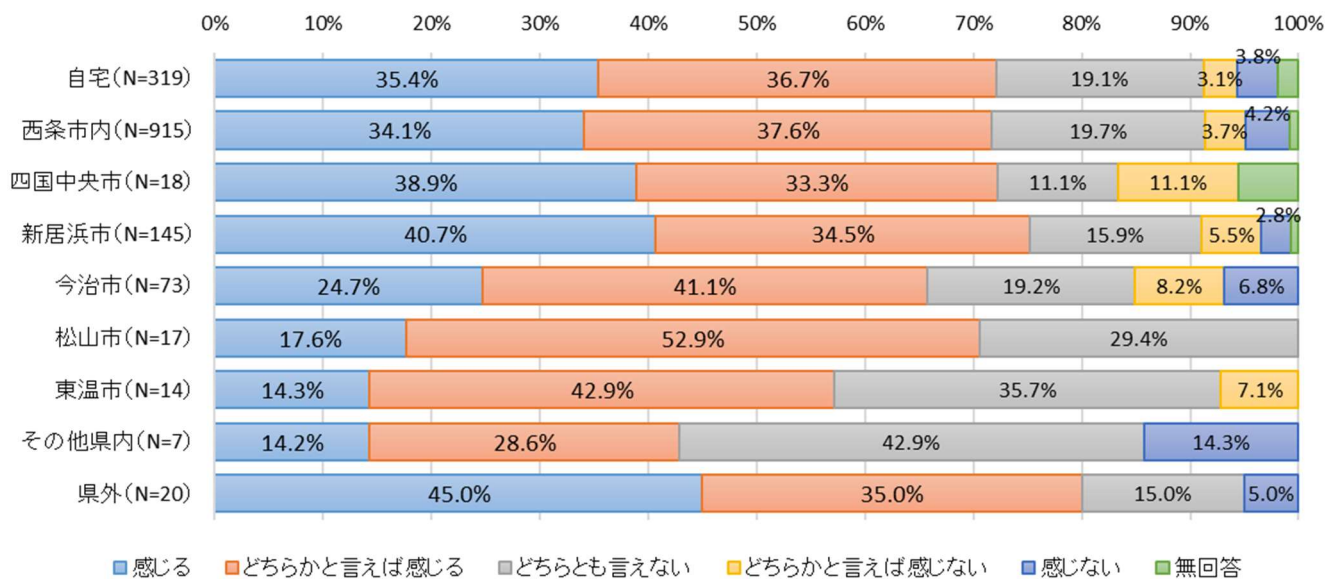
図表 37 西条市に愛着や誇りを感じていますか（居住年数別）

図表 38 によると、「単身（一人暮らし）」の「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率が最も低くなりましたが、その他は家族構成によって大きな違いはみられませんでした。



図表 38 西条市に愛着や誇りを感じていますか（家族構成別）

図表 39 によると、「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した比率は「東温市」「その他県内」を除いて大きな違いはみられませんが、「感じる」と回答した比率だけでみると、「県外」を除いて「新居浜市」「四国中央市」「自宅」で勤務（通学）されている方が高くなりました。



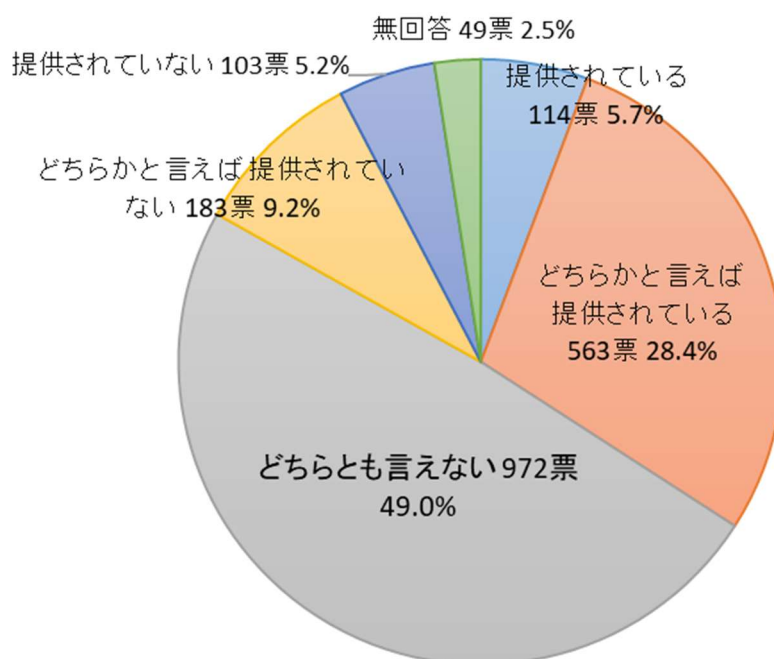
図表 39 西条市に愛着や誇りを感じていますか（勤務先・通学先別）

(4) 西条市では専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていると思いますか

【結果概要】

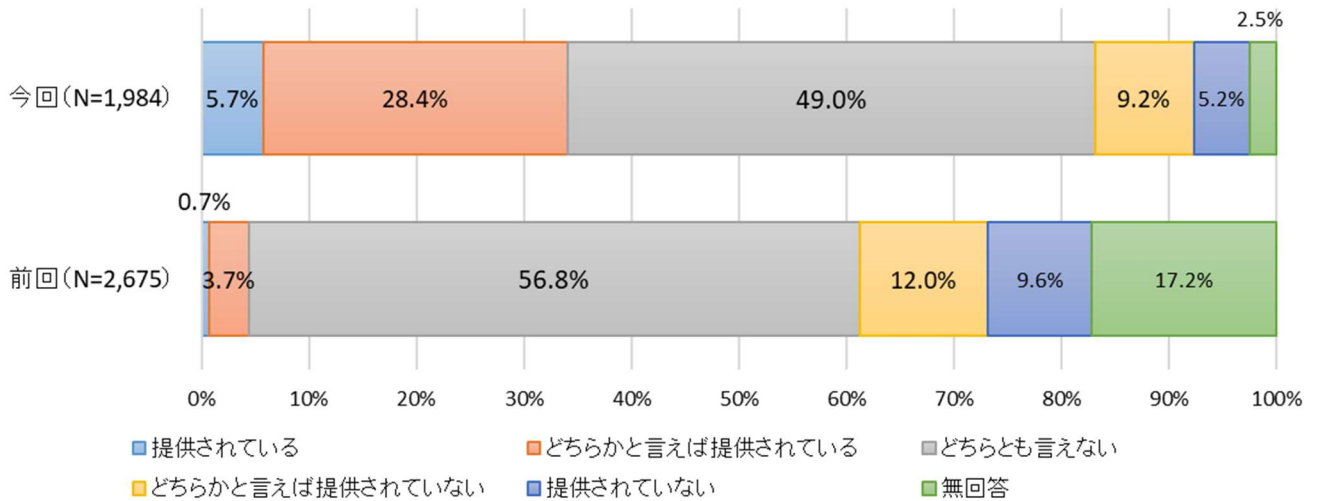
- 前回調査と比較して「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が高くなりました。新市発足後の住民サービスは安定化しつつあると判断することができます。(図表 41 参照)
- 性別にみると、男性と比較して女性の専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていると感じている比率が高くなりました。(図表 42 参照)
- 年齢別にみると、年齢が若いほど専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていないと感じる比率が高くなりました。(図表 43 参照)
- 性別かつ年齢別にみると、特に 20～34 歳の男性の専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていないと感じている比率が高くなりました。(図表 44 参照)
- 職業別にみると、業種によって専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていると感じている比率に違いがあります。(図表 47 参照)
- 居住年数が長くなるにつれて、専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていると感じ比率が高くなる傾向が見られる一方で、3 年目以降から提供されていないと感じる比率も高くなりました。(図表 48 参照)

図表 40 によると、「提供されている」と回答した方が 114 票で 5.7%、「どちらかと言えば提供されている」と回答した方が 563 票で 28.4%となり、あわせて 34.1%が西条市では専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていると実感している結果となりました。



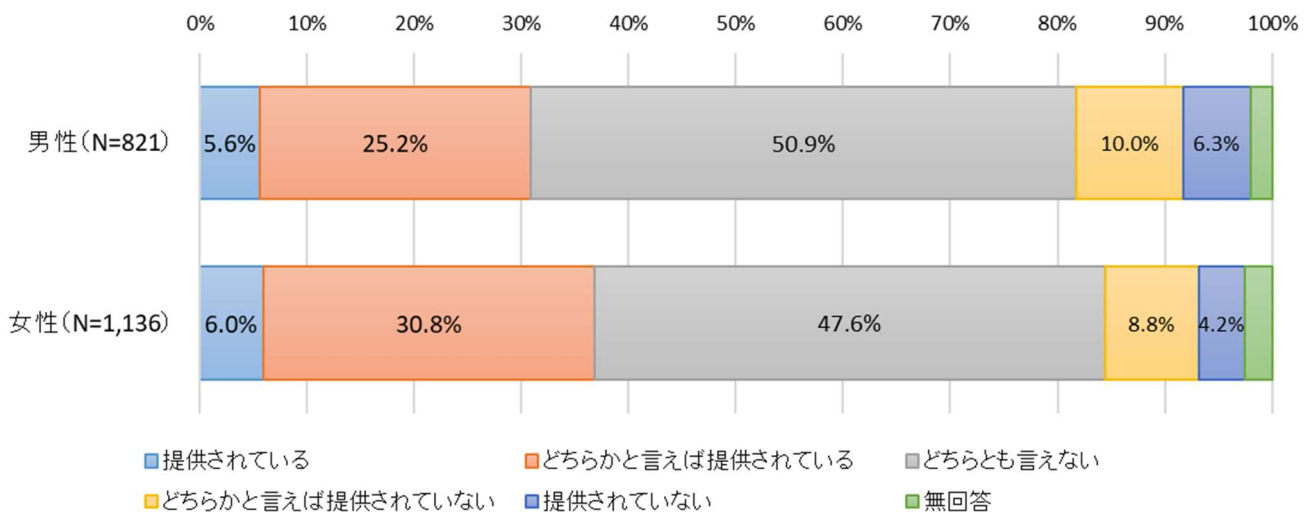
図表 40 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか (単純集計) (N = 1, 984)

前回調査（平成 25 年 10 月）と設問方法が異なるため単純に比較することは難しいが、図表 41 によると、今回調査では「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が高くなりました。新市発足後の住民サービスは安定化しつつあると判断できます。



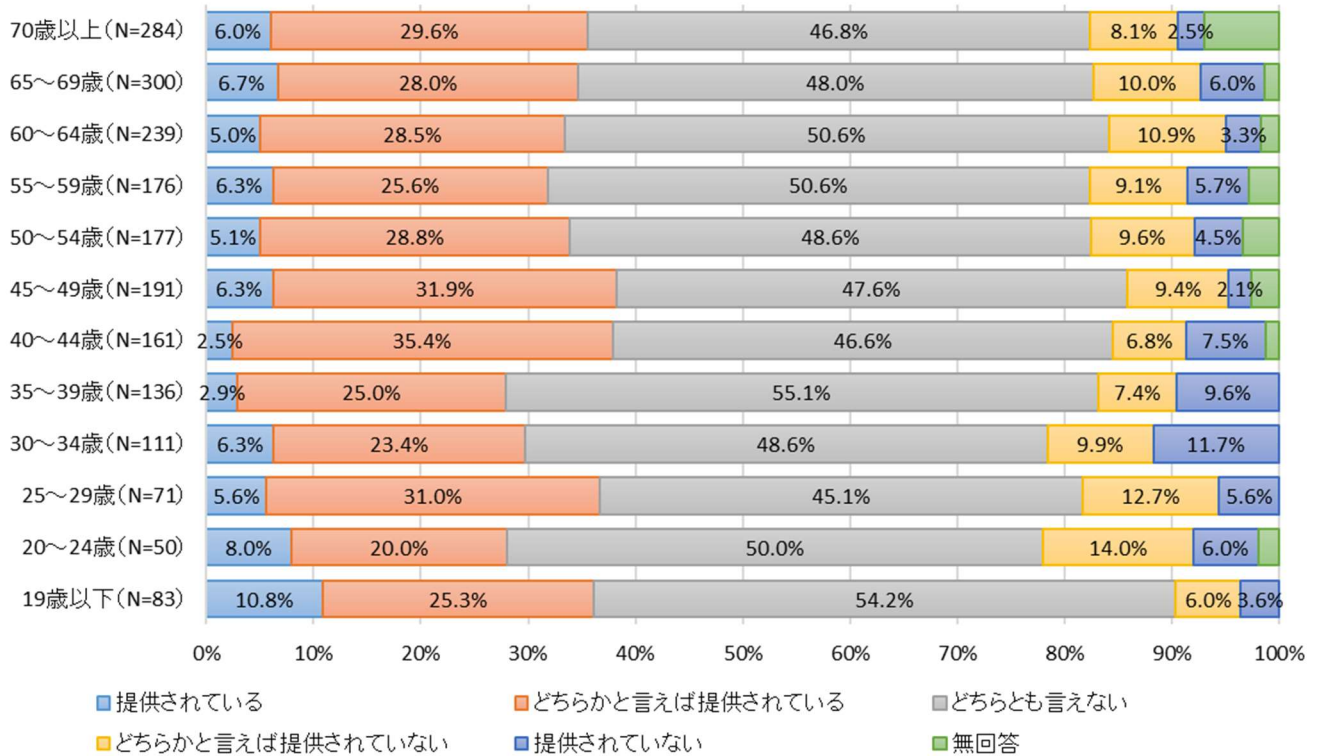
図表 4 1 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか（今回調査と前回調査の比較）

図表 42 によると、「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率は、男性が 30.8%、女性が 36.8%となり、男性と比較して女性の比率が高くなりました。



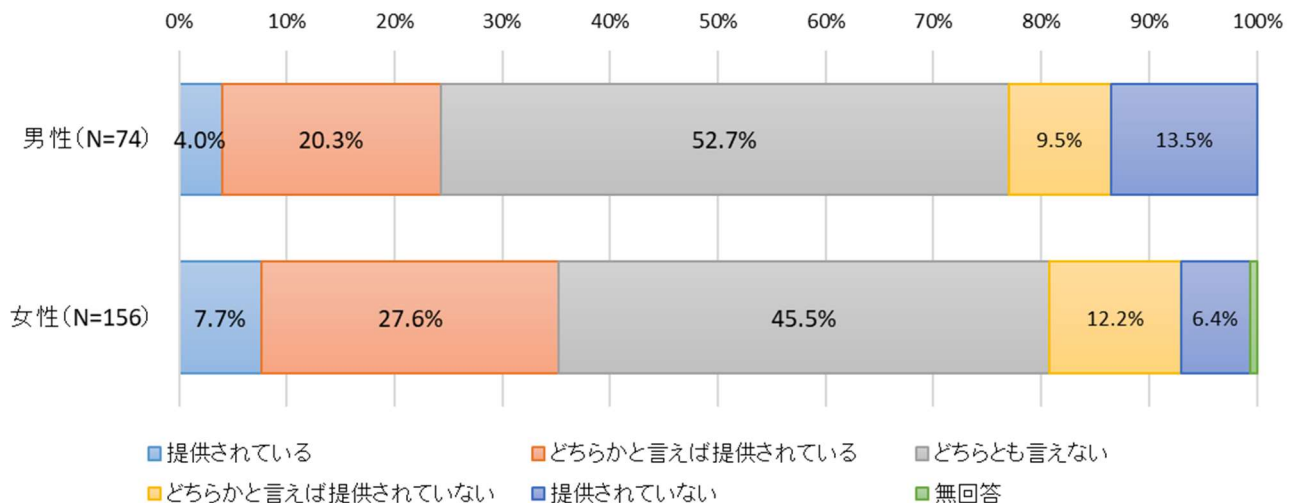
図表 4 2 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか（性別）

図表 43 によると、「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率に大きな違いは無いものの、相対的に年齢が若いほど「どちらかと言えば提供されていない」「提供されていない」と回答した比率が高くなりました。



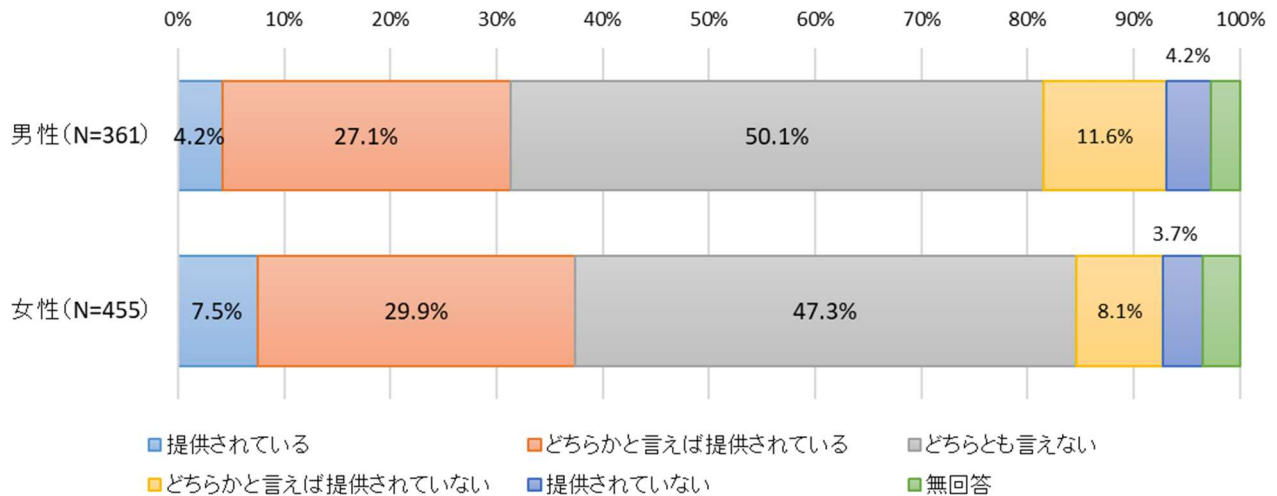
図表 4 3 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか (年齢別)

図表 44 によると、20～34 歳では、男性よりも女性の「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が高く、逆に、男性では「どちらかと言えば提供されていない」「提供されていない」と回答した比率が高くなりました。



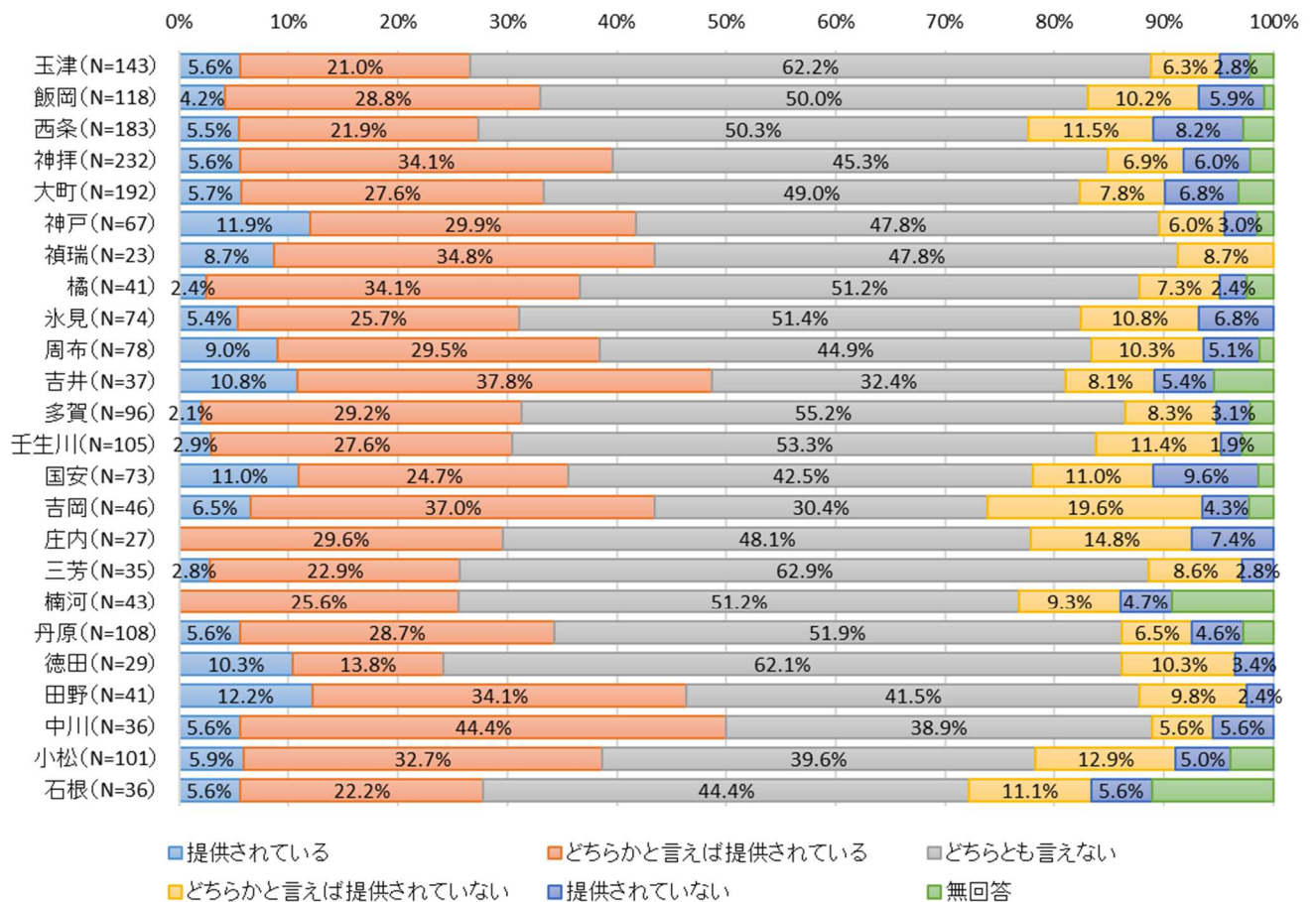
図表 4 4 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか (20～34歳・性別)

図表 45 によると、60 歳以上では、男性よりも女性の「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が高くなりましたが、20～34 歳と比較し、男性と女性との違いは決して大きくない結果となりました。



図表 4 5 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか（60 歳以上・性別）

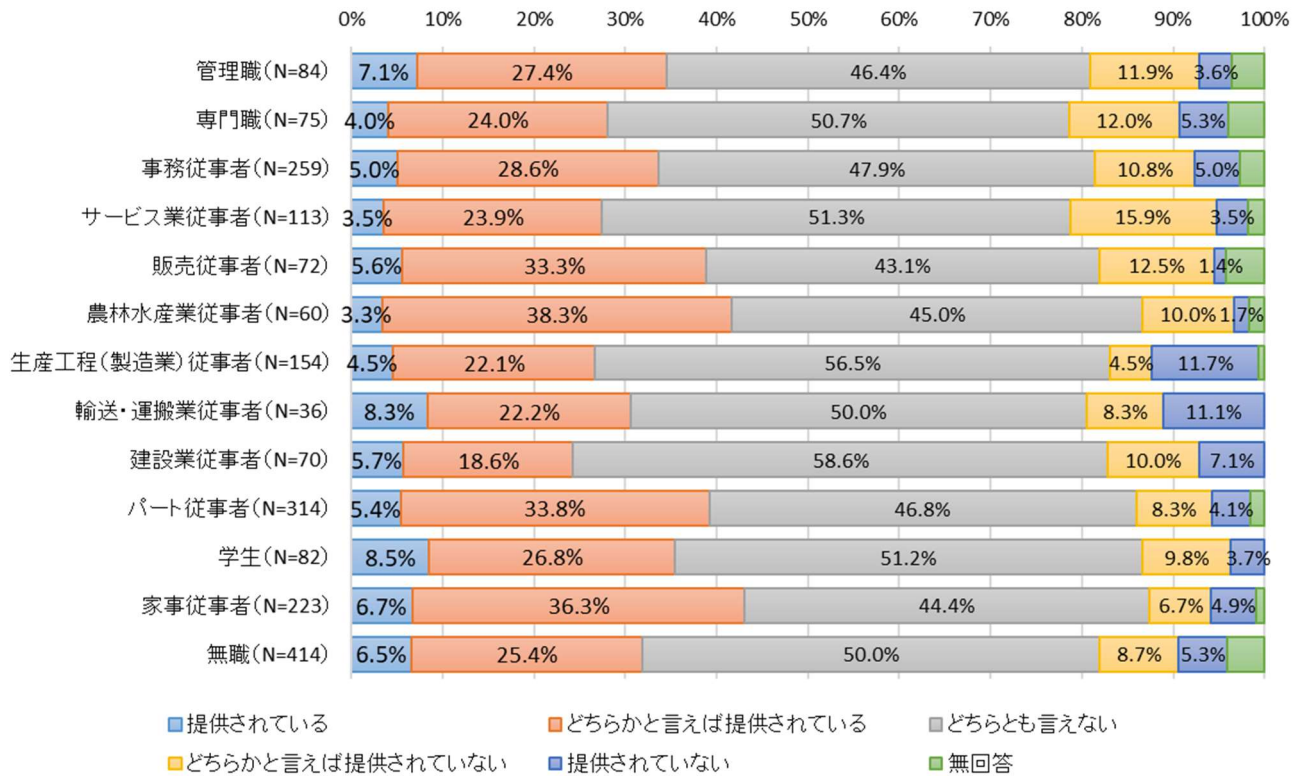
図表 46 によると、「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が最も高いのは中川で 50.0%となりました。逆に、「どちらかと言えば提供されていない」「提供されていない」と回答した比率が最も高いのは吉岡で 23.9%となりました。



※ 回答者 20 人以上の地区を対象

図表 4 6 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか（お住まいの地区別）

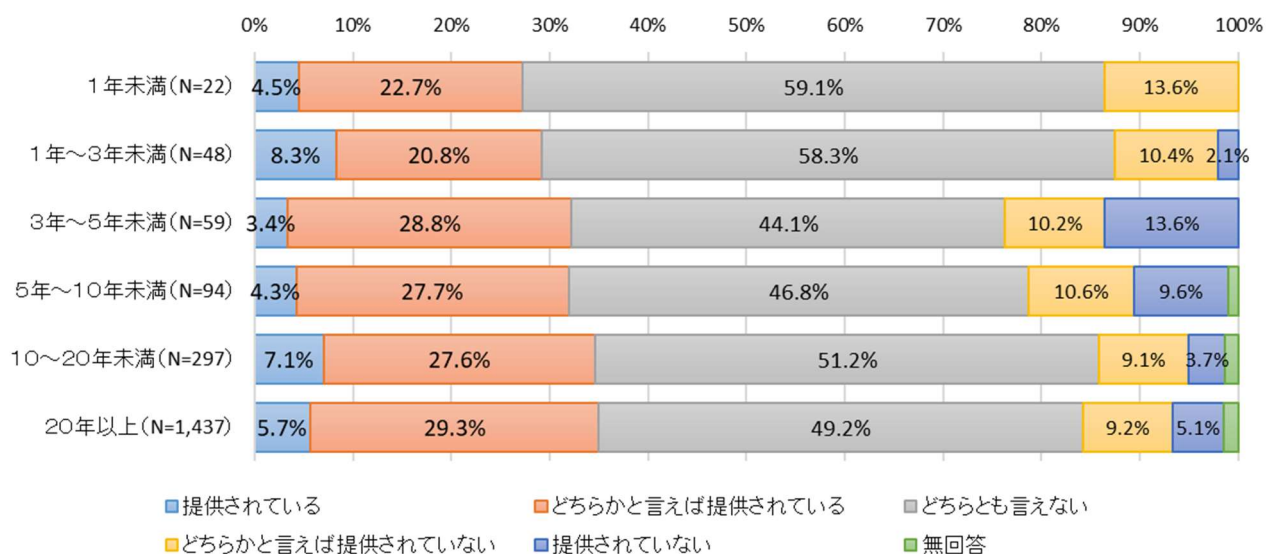
図表 47 によると「家事従事者」「農林水産業従事者」の「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が高くなりました。逆に、「サービス業従事者」「輸送・運搬業従事者」の「どちらかと言えば提供されていない」「提供されていない」と回答した比率が高くなりました。



※ 回答者 20 人以上の職業を対象

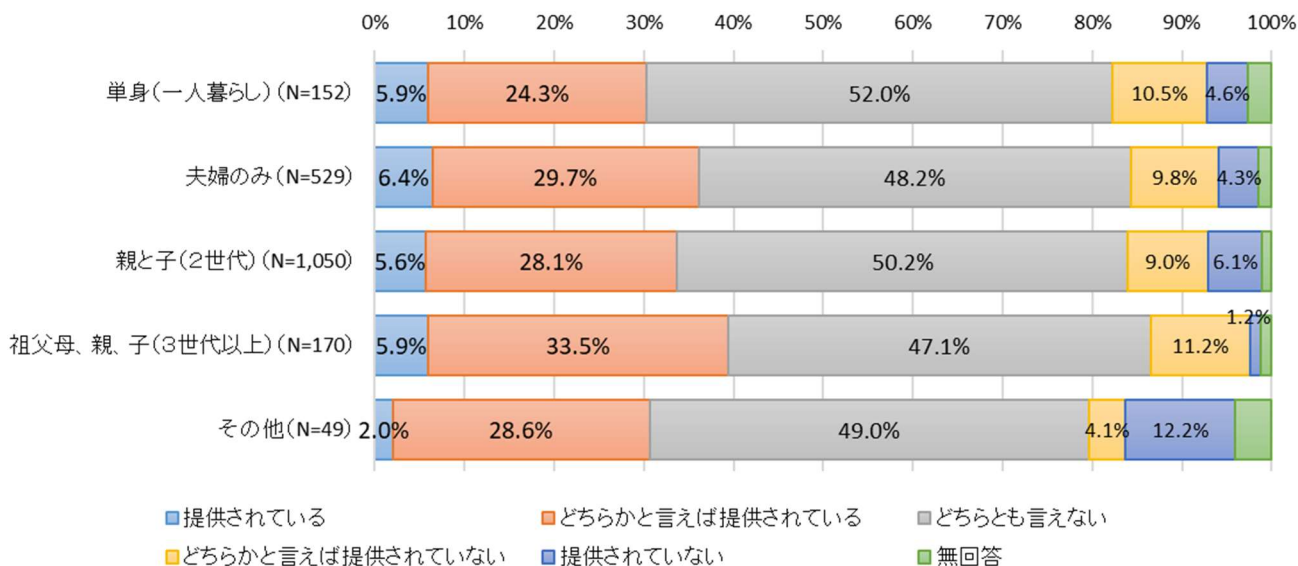
図表 4 7 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか（職業別）

図表 48 によると、居住年数が長くなるにつれて「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が高くなる傾向が見られました。また、「3～5 年未満」の「どちらかと言えば提供されていない」「提供されていない」と回答した比率が最も高くなりました。



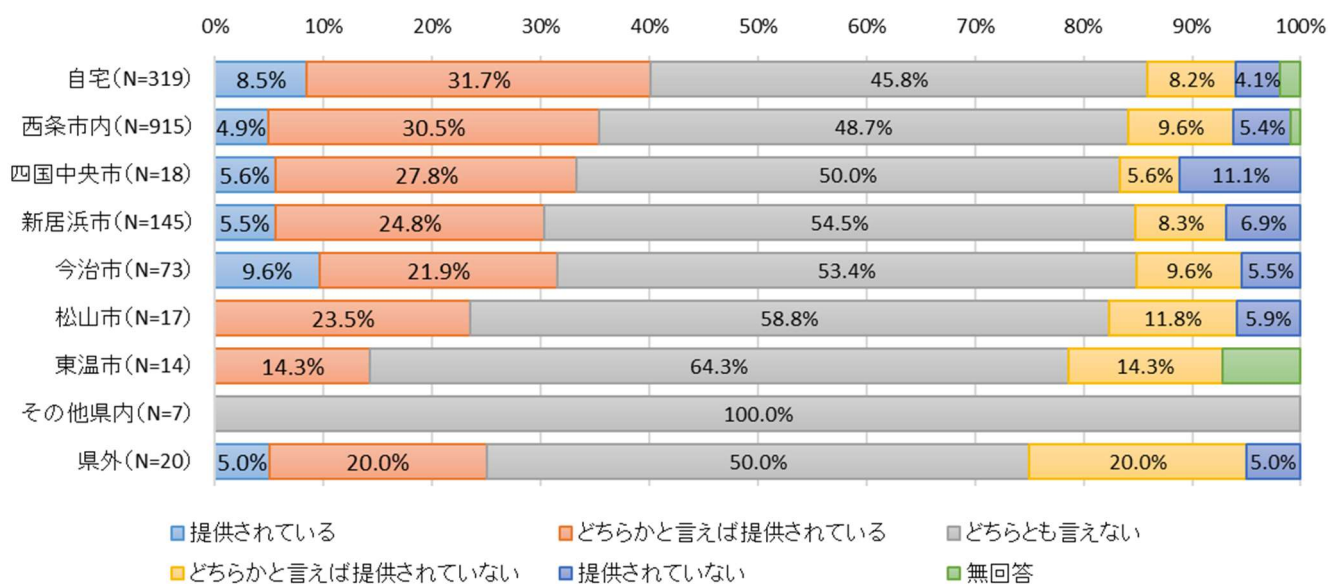
図表 4 8 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか（居住年数別）

図表 49 によると、「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が最も高いのは「祖父母、親、子（3世代以上）」で39.4%となりました。また、「どちらかと言えば提供されていない」「提供されていない」と回答した比率が最も低いのも「祖父母、親、子（3世代以上）」で12.4%となりました。



図表 4 9 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか（家族構成別）

図表 50 によると、「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が最も高いのは、「自宅」で勤務している方という結果となりました。また、通勤先（通学先）が遠方になるほど「どちらかと言えば提供されていない」「提供されていない」と回答した比率が高くなりました。



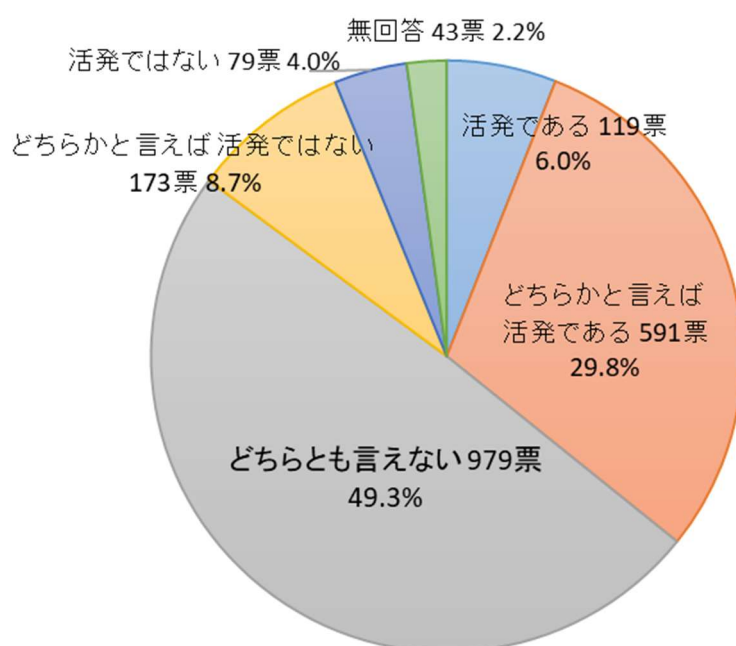
図表 5 0 専門的できめ細やかな住民サービスが提供されているか（勤務先・通学先別）

(5) 西条市では市民の交流は活発だと思いますか

【結果概要】

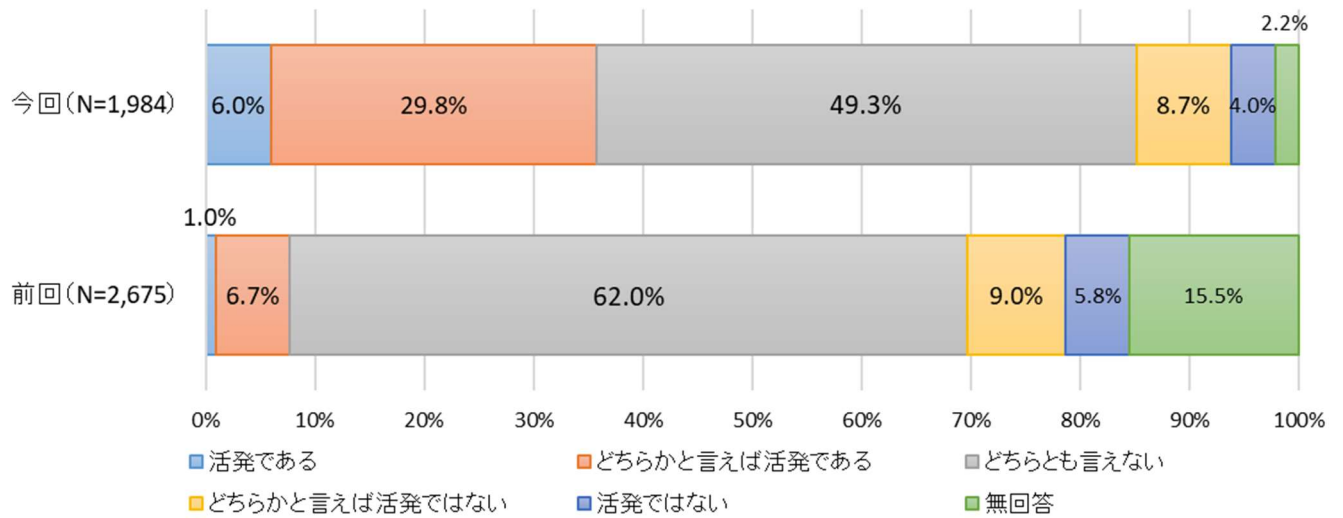
- 前回調査と比較して「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。新市発足後の市民交流は積極的に行われるようになってきていると判断することができます。(図表 52 参照)
- 性別にみると、男性と比較して女性「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。(図表 53 参照)
- 年齢別にみると、年齢が若くなるほど「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。
- しかしながら、「25～34 歳」については「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が低く、特に、男性と比較して女性の比率が低くなりました。(図表 54, 55 参照)
- 職業別にみると、「学生」「サービス業従事者」が「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高い一方で、「管理職」「農林水産業従事者」の「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が高くなりました。(図表 58 参照)
- 居住年数が 5～20 年未満で「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなる傾向がみられました。(図表 59 参照)
- 家族構成が大きいほど「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなる傾向がみられる一方で、「夫婦のみ」で「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が高くなりました。(図表 60)

図表 51 によると、「活発である」と回答した方が 119 票で 6.0%、「どちらかと言えば活発である」と回答した方が 591 票で 29.8%となり、あわせて 35.8%が西条市では市民の交流が活発だと実感している結果となりました。



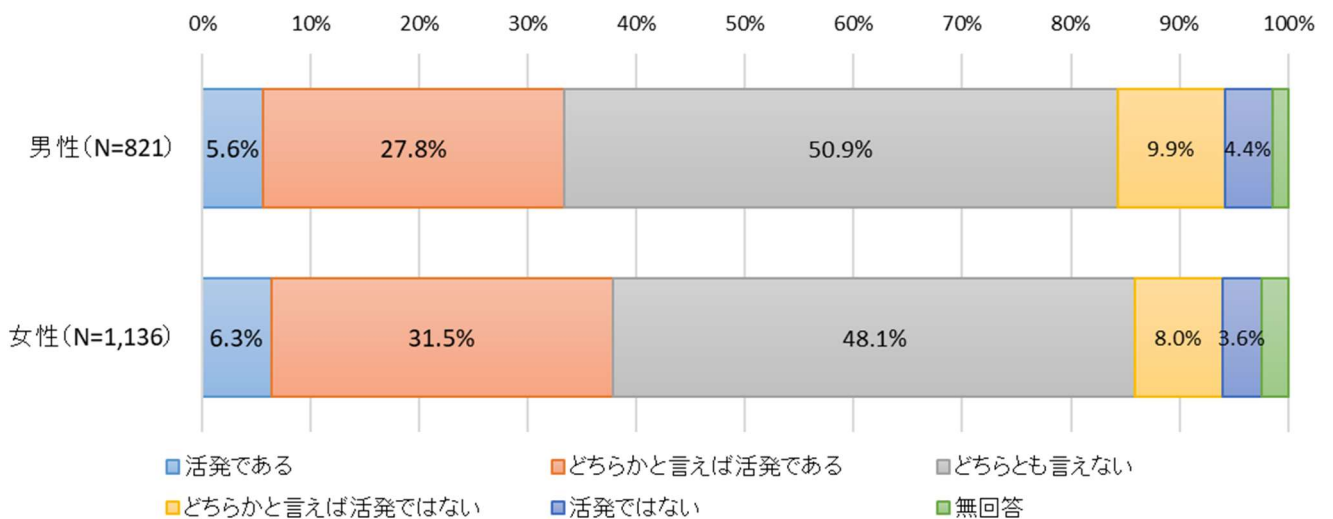
図表 51 市民の交流は活発か (単純集計) (N = 1, 984)

前回調査（平成 25 年 10 月）と設問方法が異なるため単純に比較することは難しいが、図表 52 によると、今回調査では「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。新市発足後の市民交流は積極的に行われるようになってきていると判断できます。



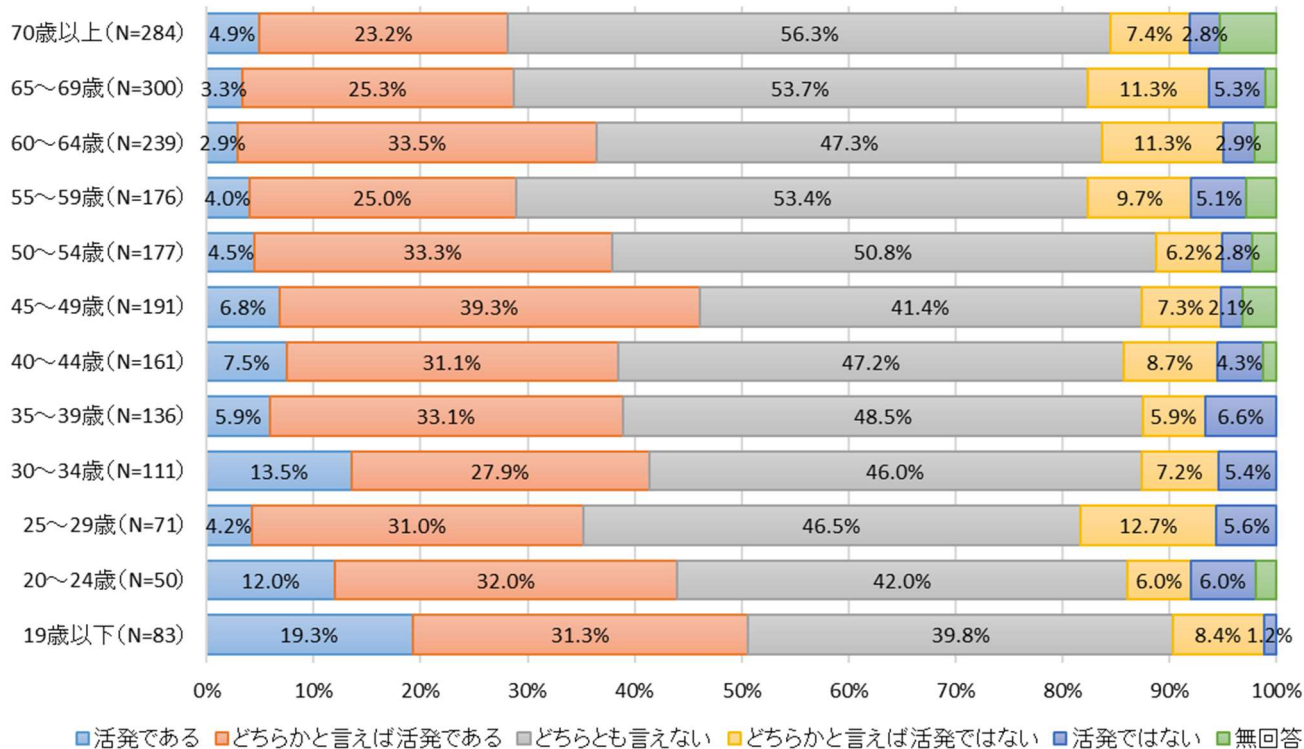
図表 5 2 市民の交流は活発か（今回調査と前回調査の比較）

図表 53 によると、「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率は、男性が 33.4%、女性が 37.8%となり、男性と比較して女性の比率が高くなりました。



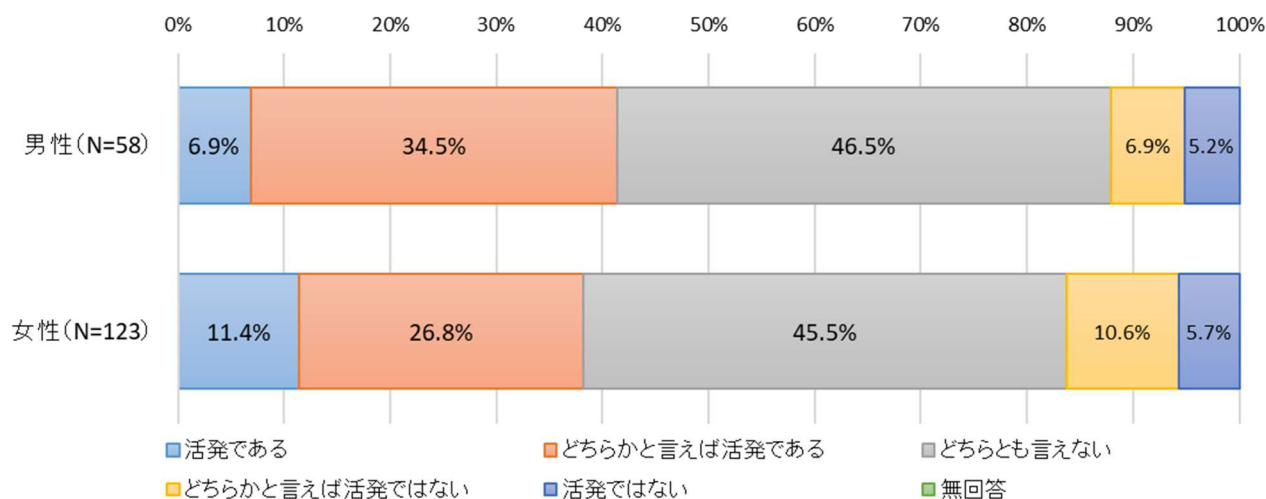
図表 5 3 市民の交流は活発か（性別）

図表 54 によると、「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率は、年齢が若いほど高くなりました。一方で、「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が最も高いのは「25～29 歳」の 18.3%となり、若い年齢の中でも「25～29 歳」の結果が悪くなる傾向がみられました。



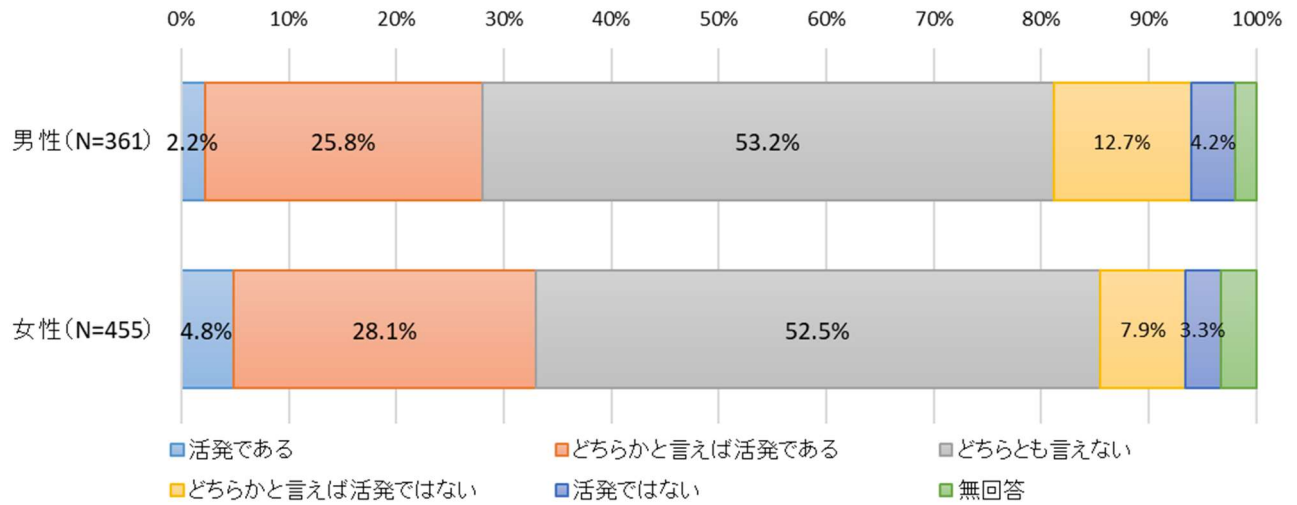
図表 5 4 市民の交流は活発か（年齢別）

図表 55 によると、25～34 歳では、女性よりも男性の「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高く、逆に、女性では「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が高くなりました。



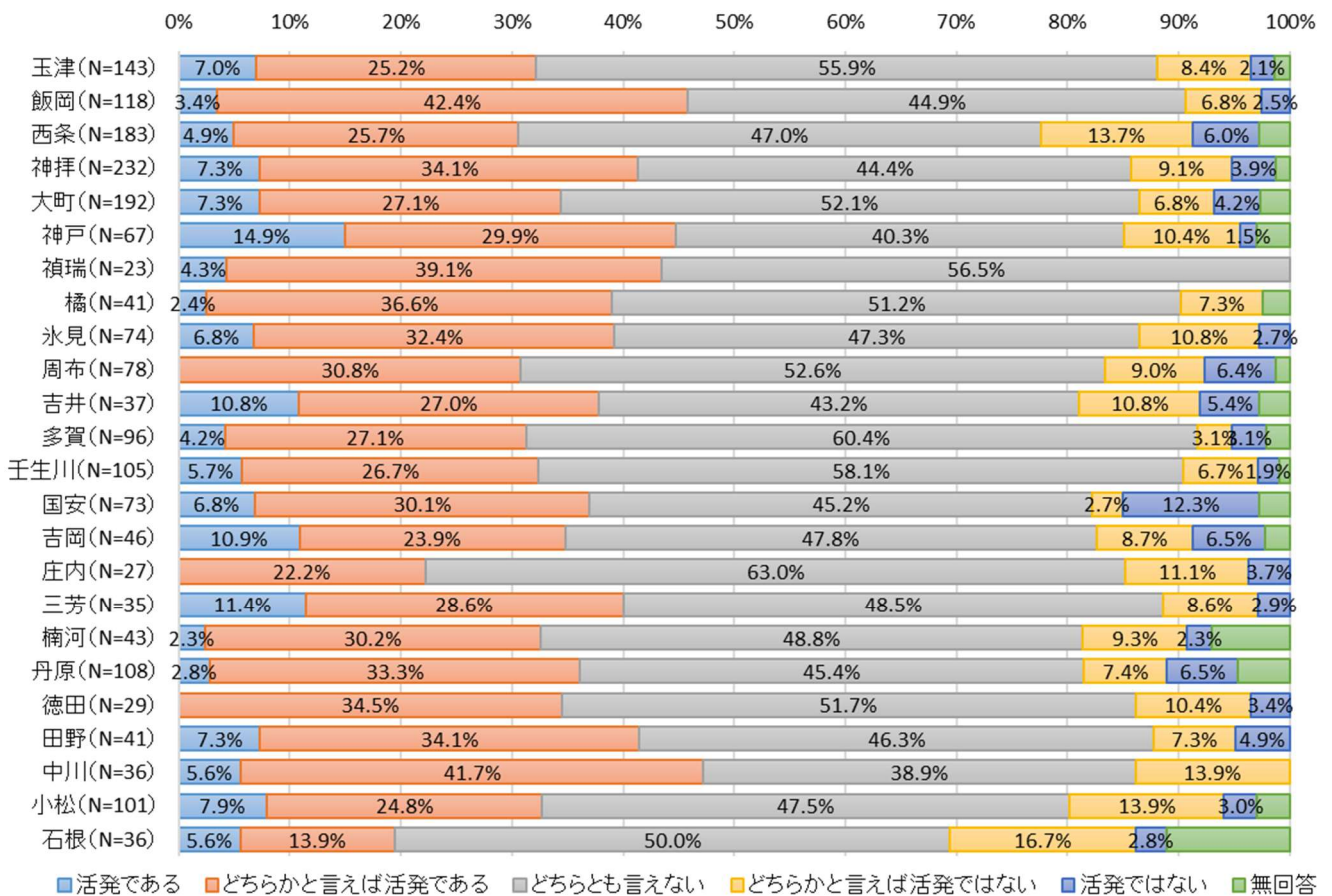
図表 5 5 市民の交流は活発か（25～34 歳・性別）

図表 56 によると、60 歳以上では、図表 55 とは逆に、男性よりも女性の「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高く、男性では「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が高くなりました。



図表 56 市民の交流は活発か（60 歳以上・性別）

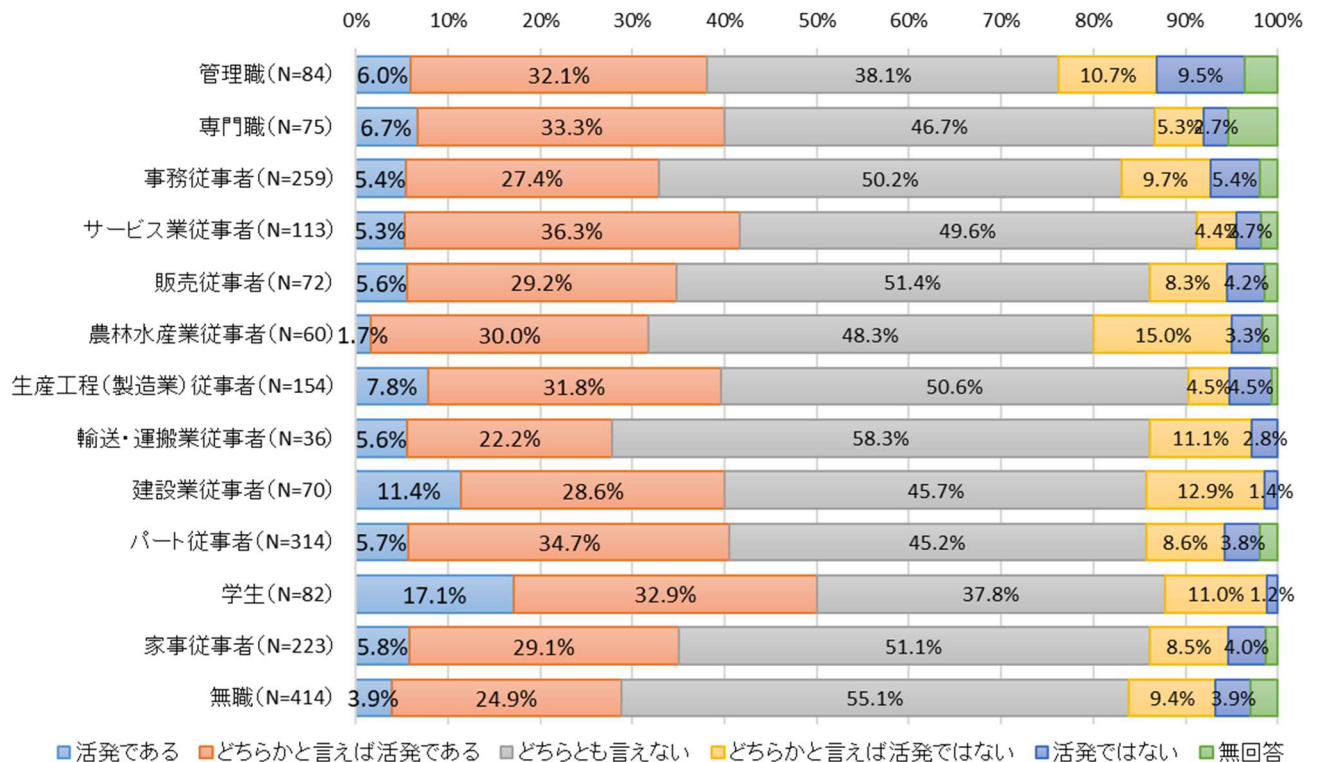
図表 57 によると、「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が最も高いのは「中川」で 47.3% となりました。逆に、「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が最も高いのは「西条」で 19.7% となりました。



※ 回答者 20 人以上の地区を対象

図表 57 市民の交流は活発か（お住まいの地区別）

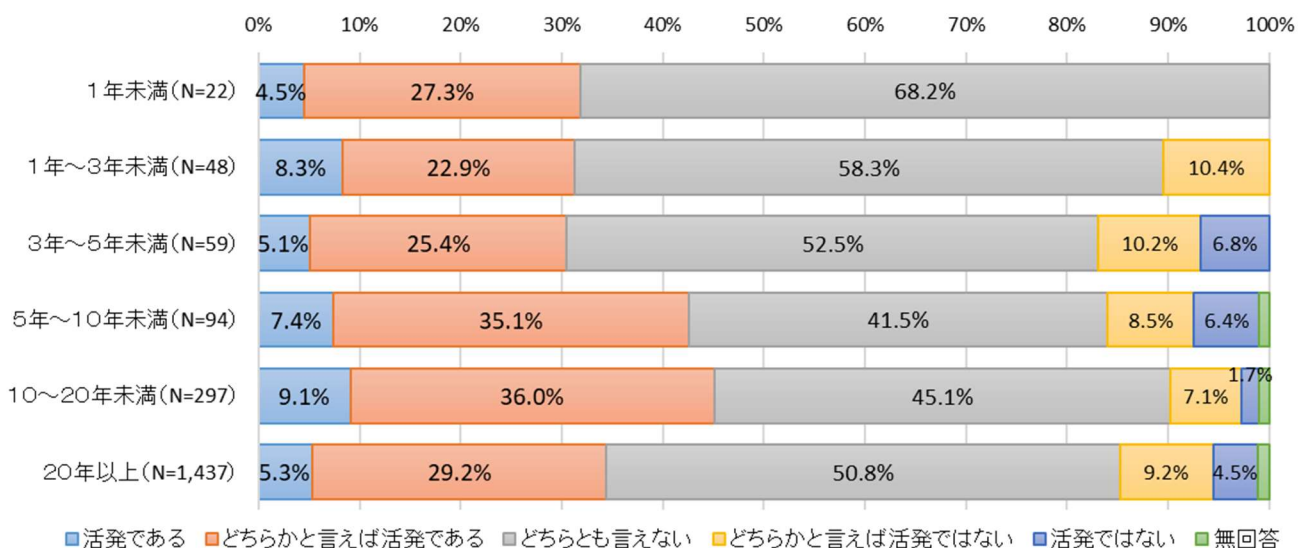
図表 58 によると「学生」「サービス業従事者」の「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。逆に、「管理職」「農林水産業従事者」の「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率高くなりました。



※ 回答者 20 人以上の職業を対象

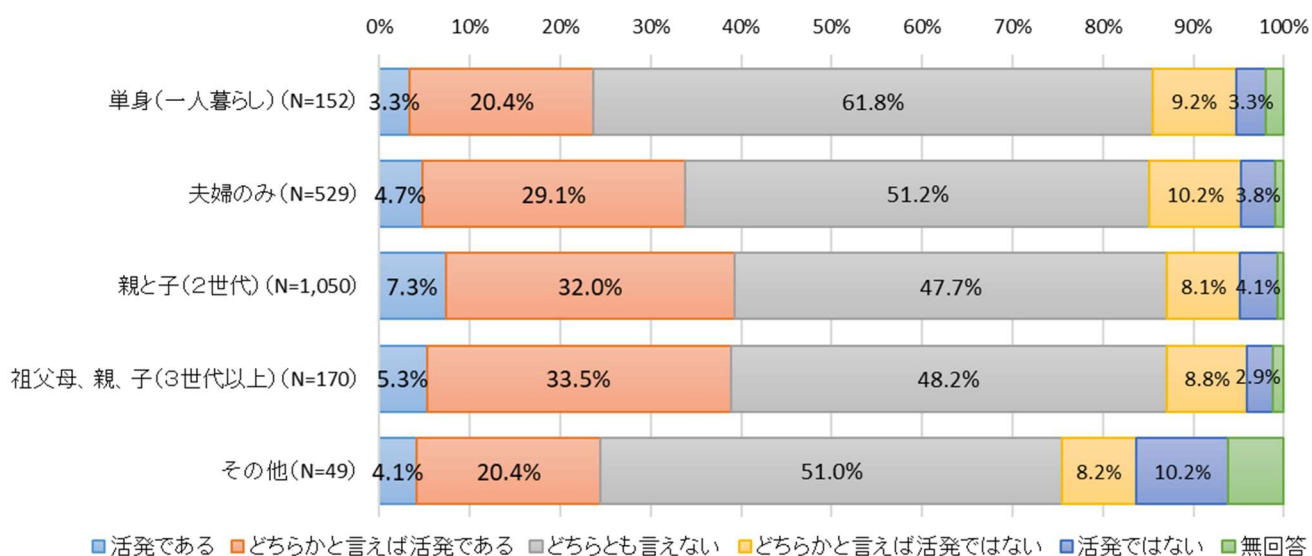
図表 58 市民の交流は活発か（職業別）

図表 59 によると、居住年数が 5～20 年未満の間で「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなる傾向が見られました。あわせて、「3～5 年未満」の「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が最も高くなる傾向となりました。



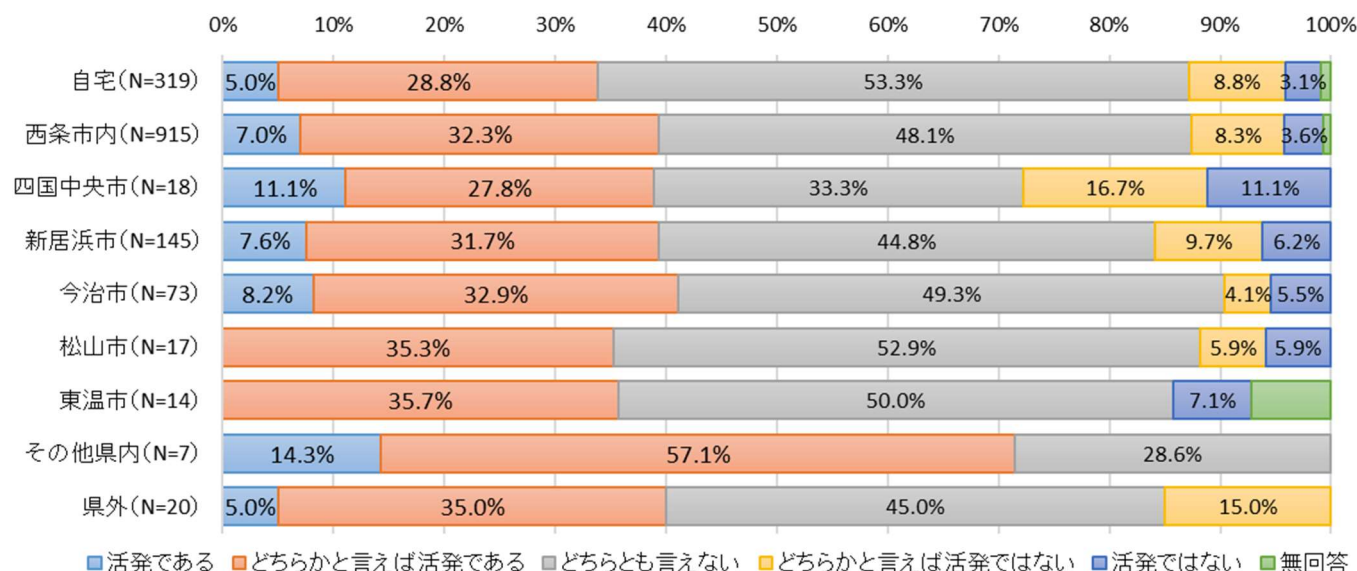
図表 59 市民の交流は活発か（居住年数別）

図表 60 によると、家族構成が大きくなるほど「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。一方で、「その他」を除くと「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が最も低いのは「夫婦のみ」で 14.0%となりました。



図表 60 市民の交流は活発か（家族構成別）

図表 61 によると、「その他県内」を除いて概ね同様の結果となりました。一方で、「四国中央市」については、「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が最も高くなりました。



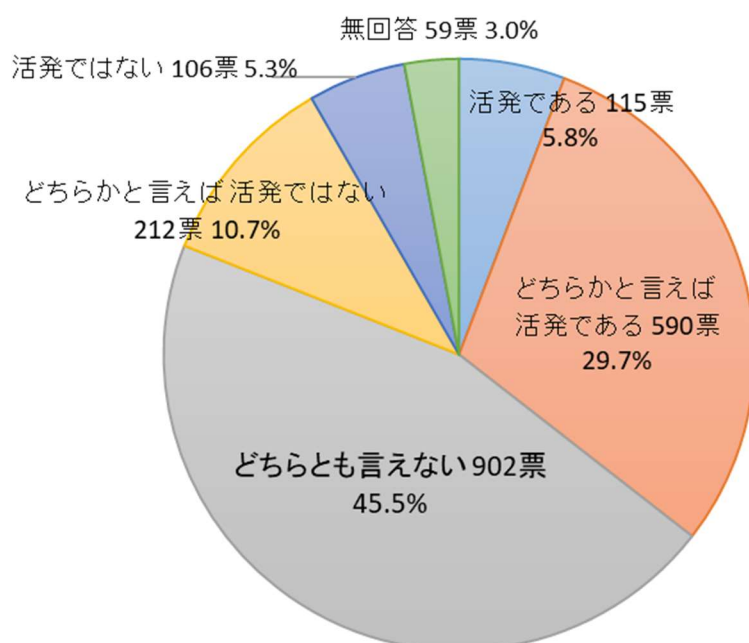
図表 61 市民の交流は活発か（勤務先・通学先別）

(6) 西条市では産業や経済活動は活発だと思いますか

【結果概要】

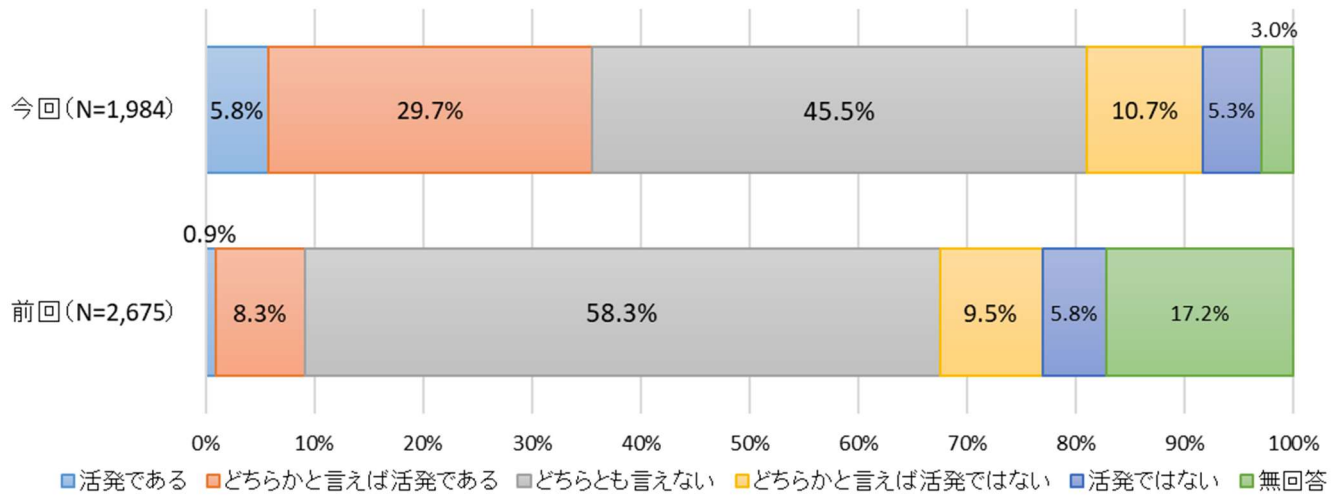
- 前回調査と比較して「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。新市発足後の経済活動は安定化していると判断することができます。(図表 63 参照)
- 性別にみると、女性と比較して男性の経済活動が活発であると感じている比率が高くなりました。(図表 64 参照)
- 年齢別にみると、相対的に年齢が若いほど経済活動が活発であると感じている比率が高くなる一方で、20～29歳で経済活動が活発ではないと感じている比率が高くなりました。(図表 65 参照)
- 20～29歳では、男性において経済活動が活発であると感じている方と、経済活動が活発でないと感じている方に分かれる両極端な結果となりました。(図表 66 参照)
- お住まいの地区別にみると、地域によって経済活動に関する受け止め方が異なる結果となりました。(図表 67 参照)
- 職業別にみると、「学生」において経済活動が活発であると感じている方と、経済活動が活発でないと感じている方に分かれる両極端な結果となりました。(図表 68 参照)

図表 62 によると、「活発である」と回答した方が 115 票で 5.8%、「どちらかと言えば活発である」と回答した方が 590 票で 29.7%となり、あわせて 35.5%が西条市では産業や経済活動が活発だと実感している結果となりました。



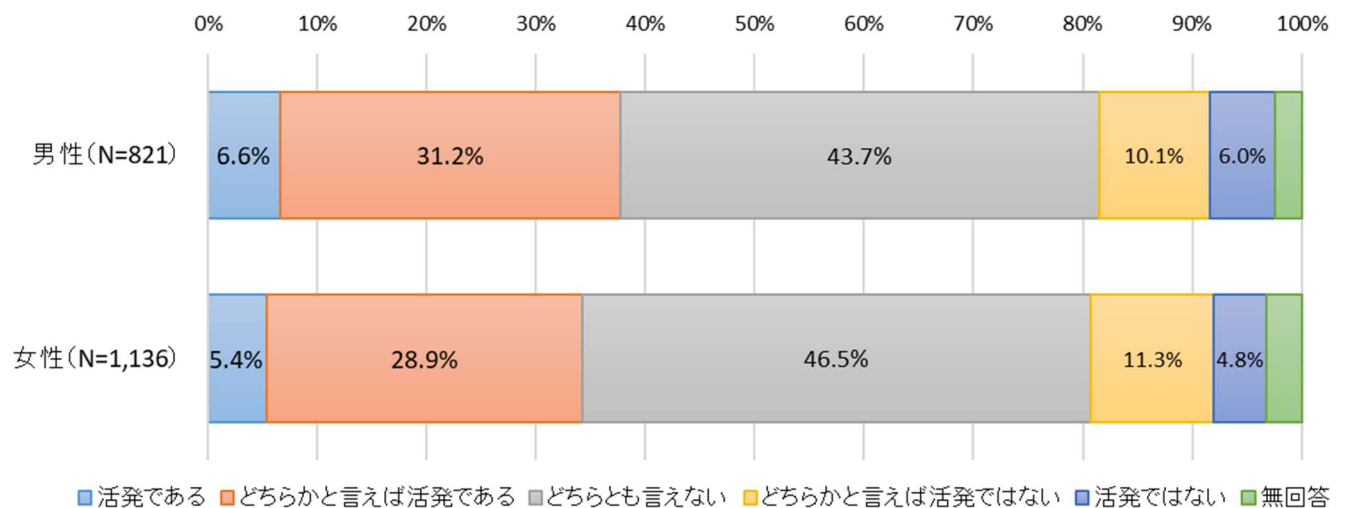
図表 6 2 産業や経済活動は活発か (単純集計) (N = 1, 9 8 4)

前回調査（平成 25 年 10 月）と設問方法が異なるため単純に比較することは難しいが、図表 63 によると、今回調査では「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。新市発足後の経済活動は安定化していると判断できます。



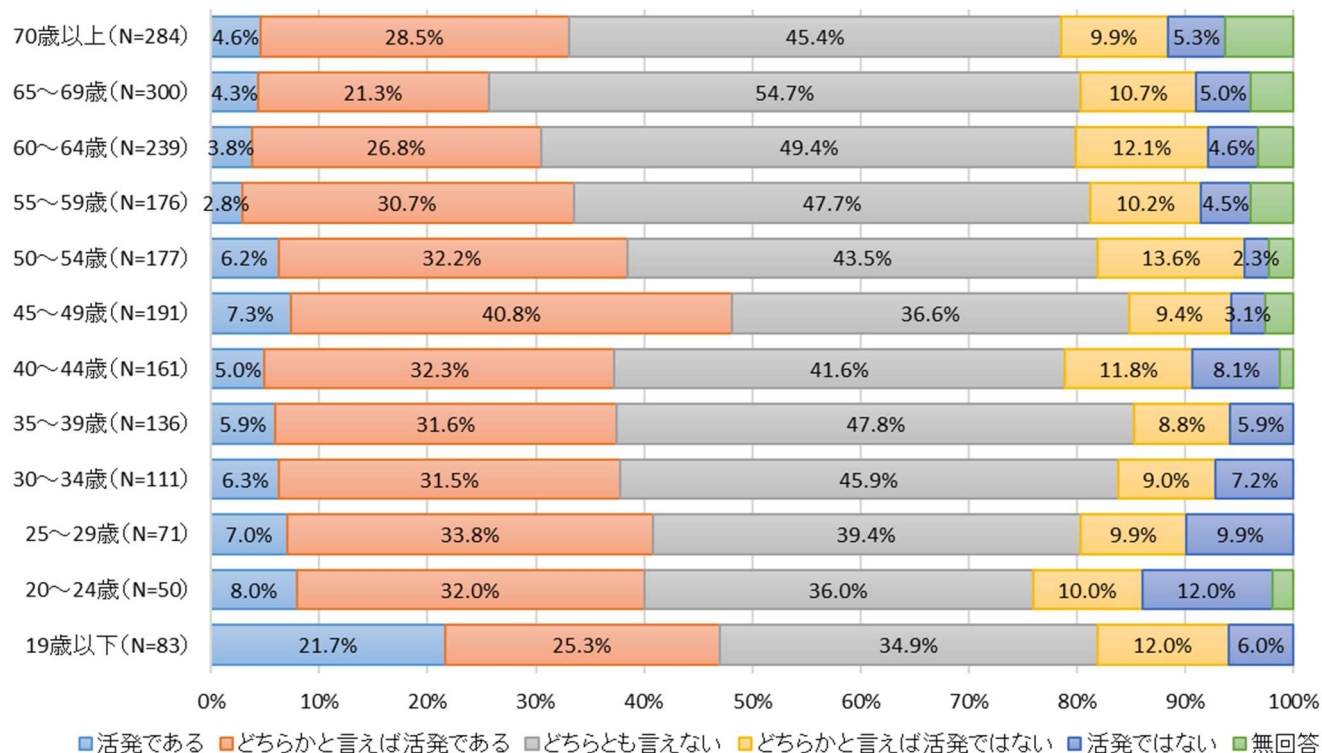
図表 6 3 産業や経済活動は活発か（今回調査と前回調査の比較）

図表 64 によると、「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率は、男性が 37.8%、女性が 34.2%となり、女性と比較して男性の比率が高くなりました。



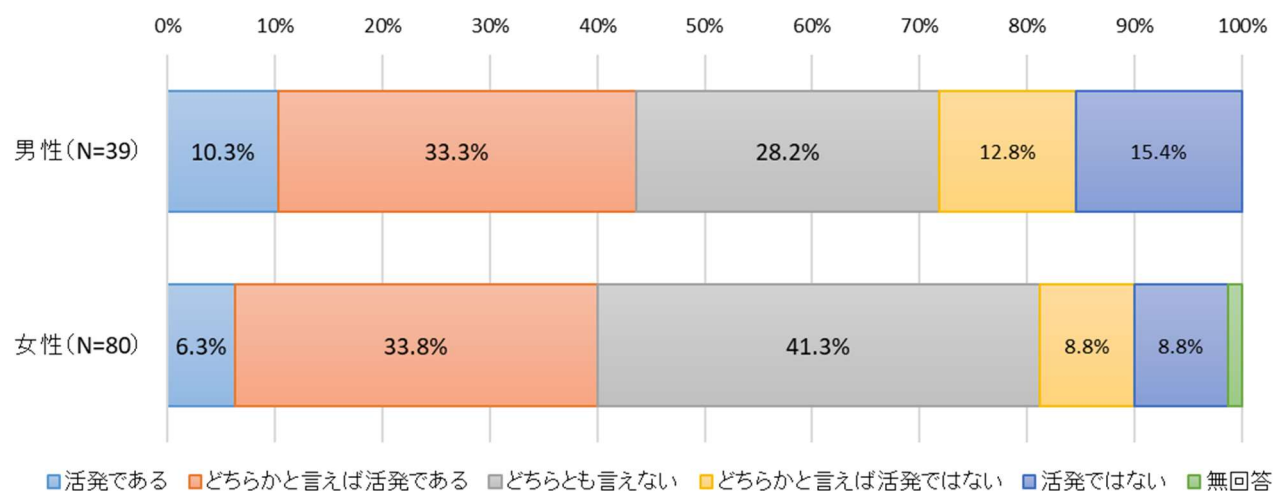
図表 6 4 産業や経済活動は活発か（性別）

図表 65 によると、相対的に年齢が若いほど「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。一方で、20～29歳で「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が高くなりました。



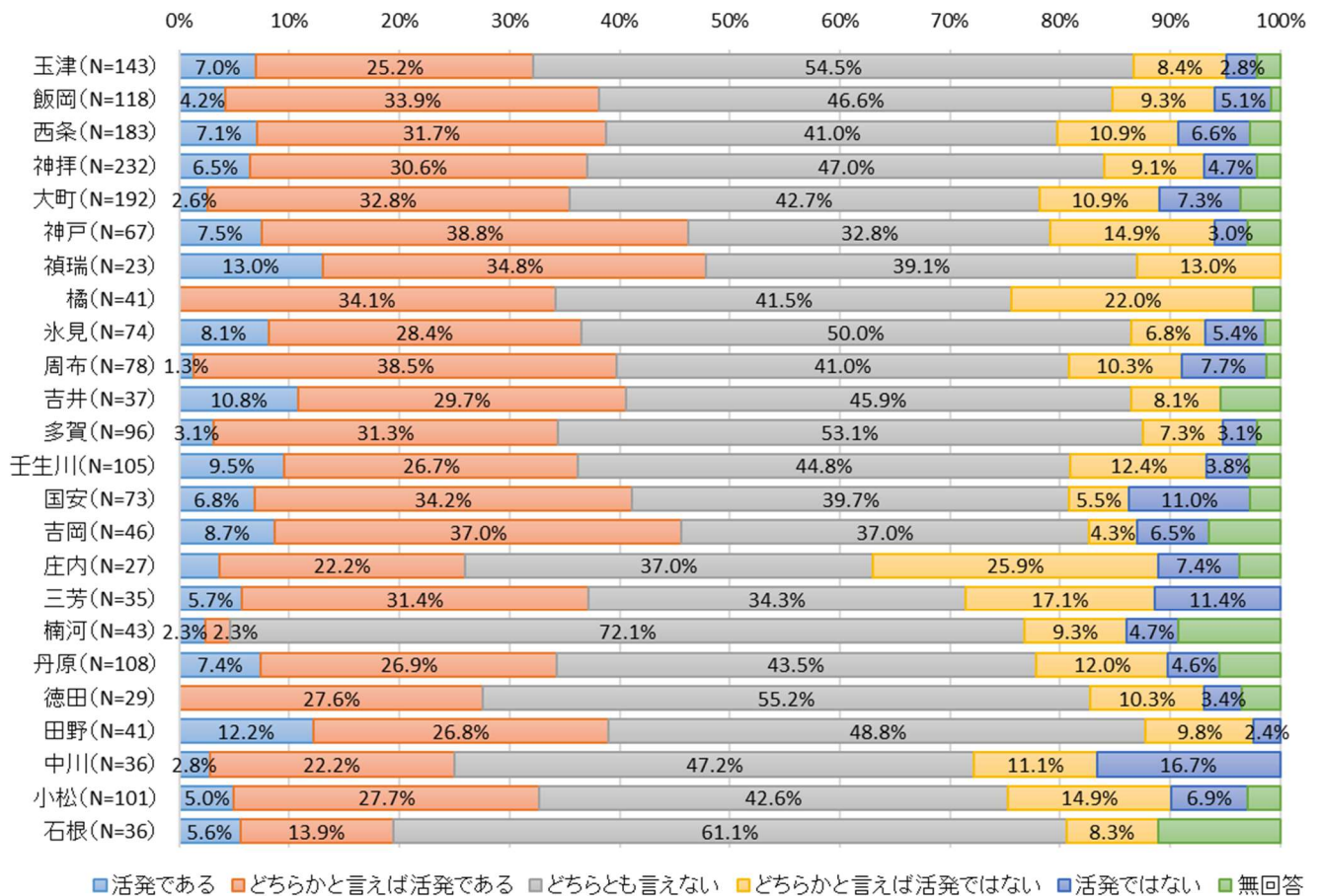
図表 6 5 産業や経済活動は活発か（年齢別）

図表 66 によると、20～29歳では、女性よりも男性の「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高く、あわせて男性で「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が高くなる両極端な結果となりました。



図表 6 6 産業や経済活動は活発か（20～29歳・性別）

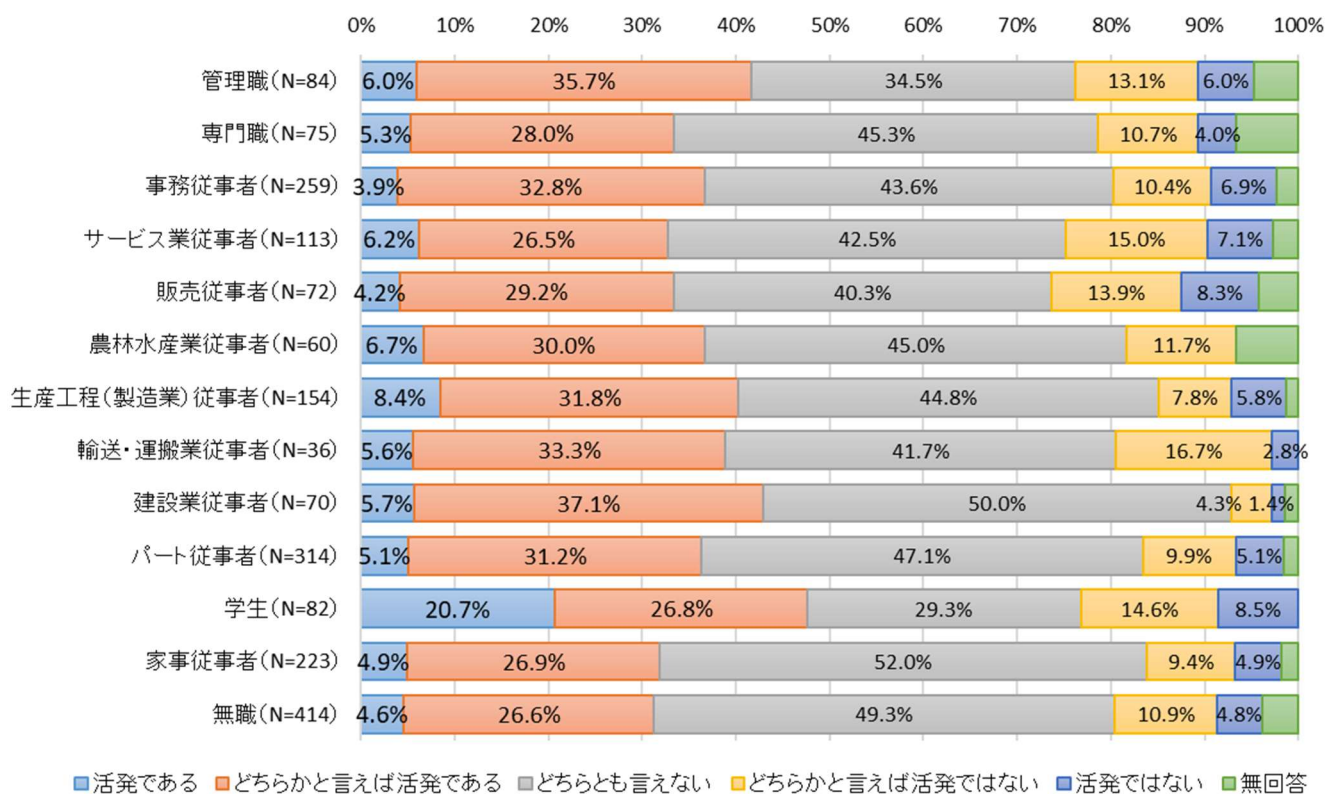
図表 67 によると、「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が最も高いのは禎瑞で 47.8%となりました。逆に、「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が最も高いのは庄内で 33.3%となりました。



※ 回答者 20 人以上の地区を対象

図表 67 産業や経済活動は活発か（お住まいの地区別）

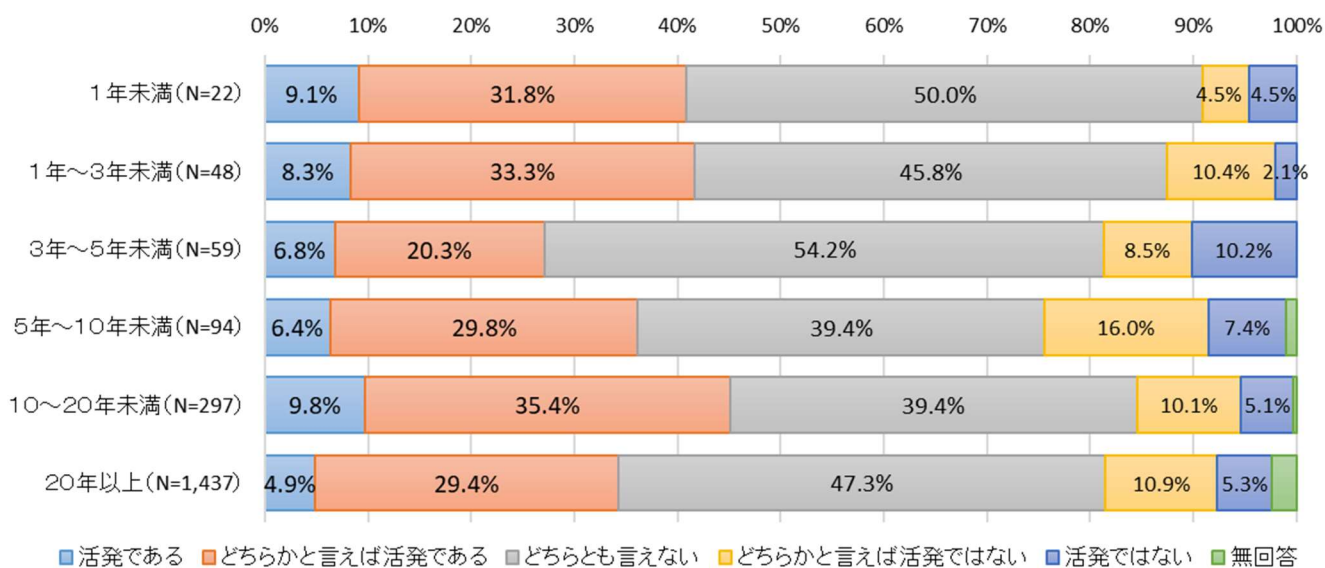
図表 68 によると「学生」「建設業従事者」「管理職」の「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなりました。また、「学生」「販売従事者」「サービス業従事者」では「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率高くなり、「学生」はいずれも該当する両極端な結果となりました。



※ 回答者 20 人以上の職業を対象

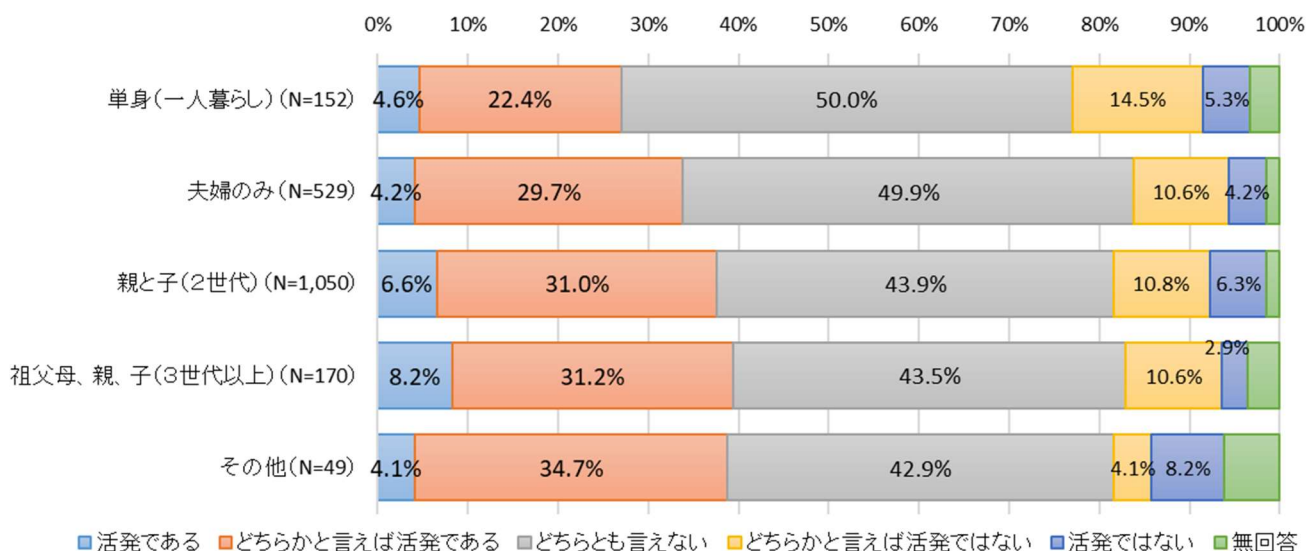
図表 6 8 産業や経済活動は活発か（職業別）

図表 69 によると、「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が最も高いのは「10～20 年未満」で 45.2%となりました。逆に、「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が最も高いのは「5～10 年未満」で 23.4%となりました。



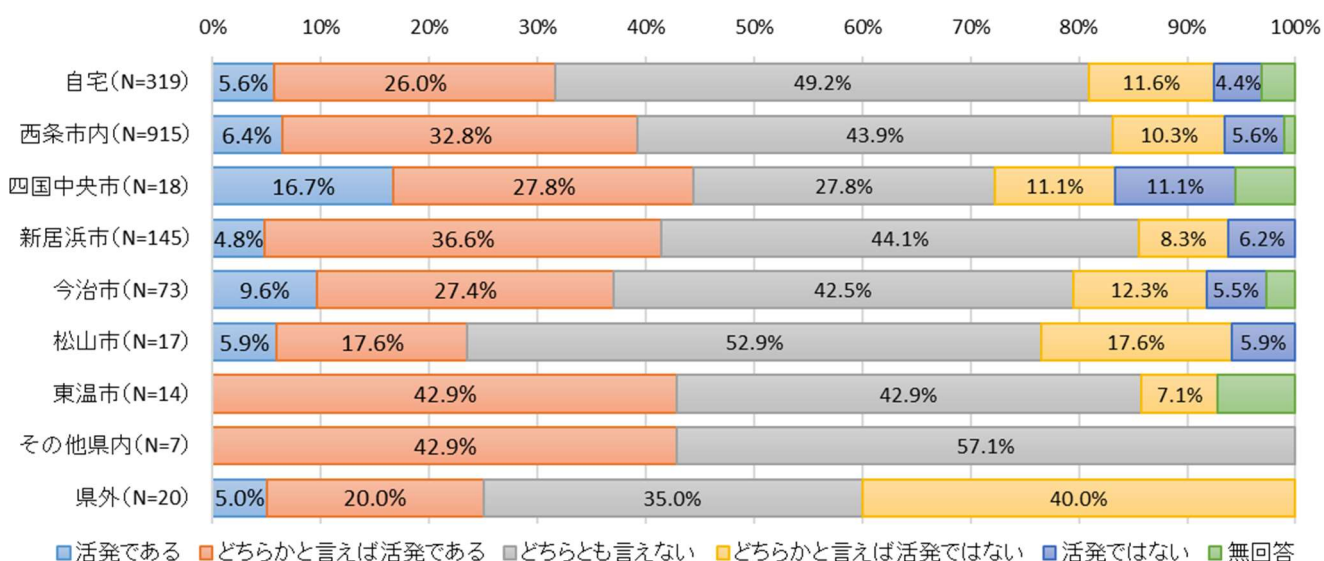
図表 6 9 産業や経済活動は活発か（居住年数別）

図表 70 によると、「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が最も高いのは「祖父母、親、子（3世代以上）」で39.4%となりました。また、家族構成が大きいほど「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が高くなる傾向が見られました。



図表 70 産業や経済活動は活発か（家族構成別）

図表 71 によると、「活発である」「どちらかと言えば活発である」と回答した比率が最も高いのは、「四国中央市」で勤務している方という結果となりました。逆に、「どちらかと言えば活発ではない」「活発ではない」と回答した比率が最も高いのは、「県外」を除いて「松山市」に勤務している方となりました。



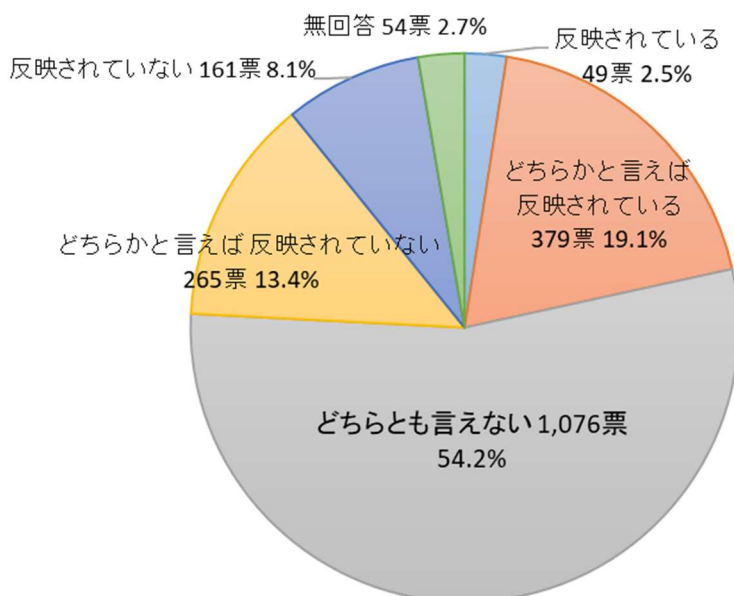
図表 71 産業や経済活動は活発か（勤務先・通学先別）

(7) 西条市では地域の声が行政に反映されていると思いますか

【結果概要】

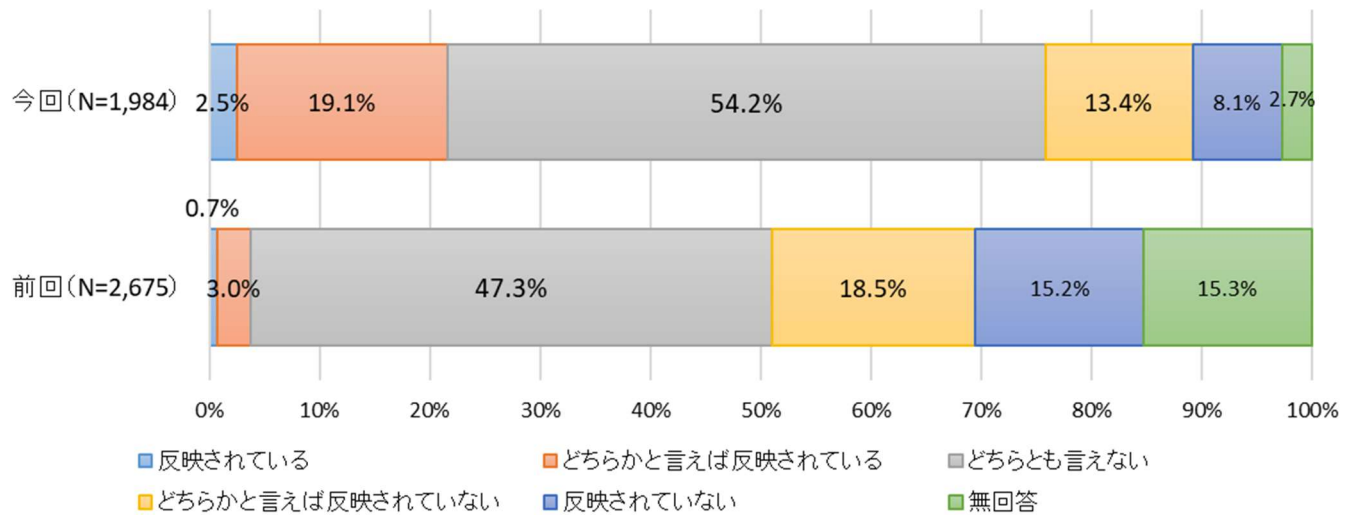
- 前回調査と比較して「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率が高くなりました。まだまだ高いとは言えないものの、新市発足後において地域の声は少しずつ行政に反映され始めていると判断することができます。(図表 73 参照)
- 性別にみると、男性と比較して女性の地域の声が行政に反映されていると感じている比率が高くなりました。(図表 74 参照)
- 年齢別にみると、20～29 歳で特に、地域の声が行政に反映されていないと感じている比率が高くなりました。(図表 75 参照)
- 性別かつ年齢別にみると、特に 20～29 歳の女性の地域の声が行政に反映されていないと感じている比率が高くなりました。また、60 歳以上では逆に男性の地域の声が行政に反映されていないと感じている比率が高くなりました。(図表 76, 77 参照)
- 職業別にみると、業種によって地域の声が行政に反映されていると感じている比率に違いがあります。(図表 79 参照)
- 居住年数が 10 年未満の間は、居住年数が長くなるにつれて地域の声が行政に反映されていると感じる比率が低くなる傾向が見られる一方で、10 年目以降から反映されていると感じる比率が高くなりました。(図表 80 参照)

図表 72 によると、「反映されている」と回答した方が 49 票で 2.5%、「どちらかと言えば反映されている」と回答した方が 379 票で 19.1%となり、あわせて 21.6%が西条市では専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていると実感している結果となりました。



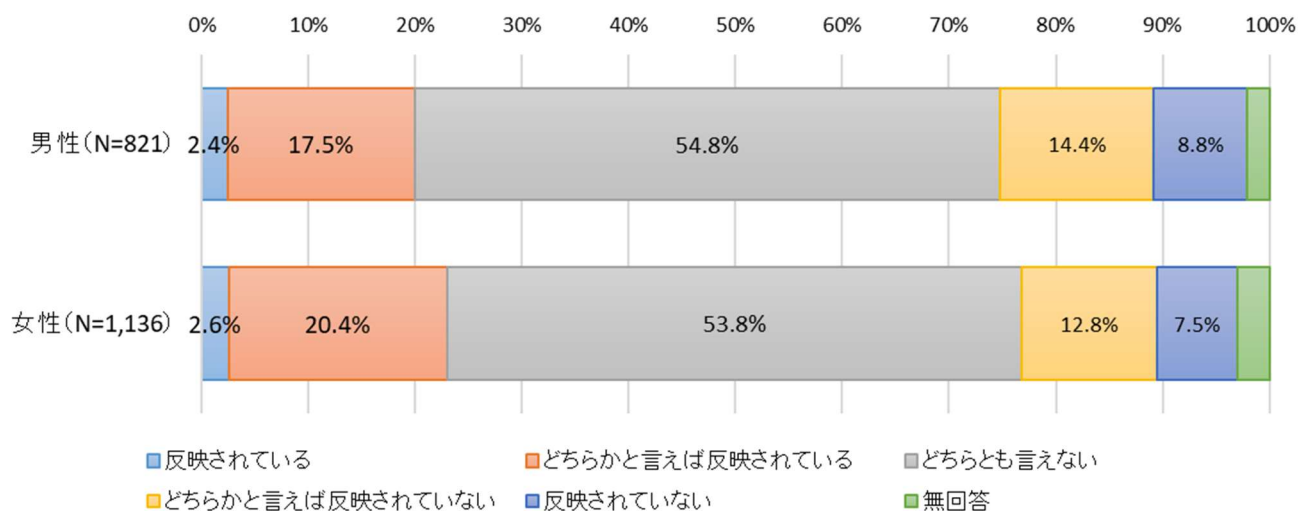
図表 7 2 地域の声が行政に反映されているか (単純集計) (N = 1, 9 8 4)

前回調査（平成 25 年 10 月）と設問方法が異なるため単純に比較することは難しいが、図表 73 によると、今回調査では「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率が高くなりました。まだまだ高いとは言えないものの、新市発足後において地域の声は少しずつ行政に反映され始めていると判断できます。



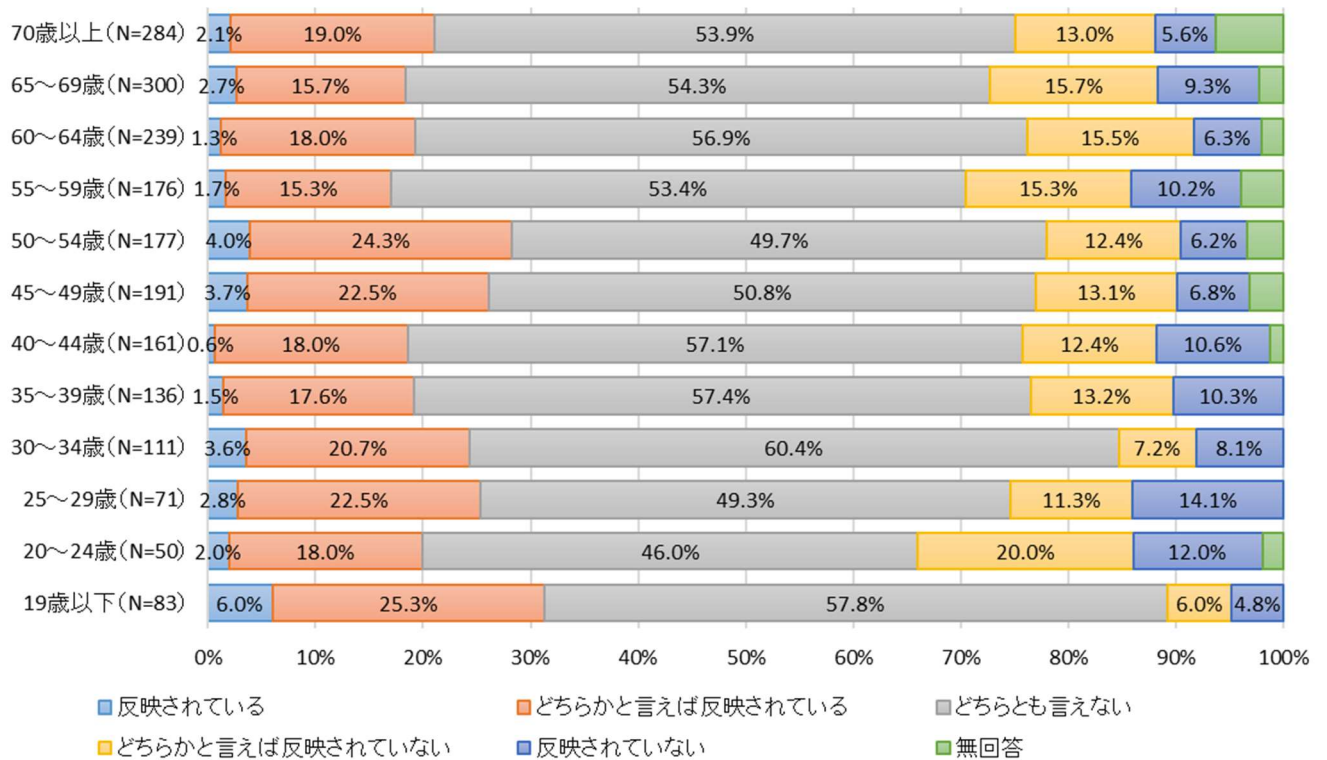
図表 7 3 地域の声が行政に反映されているか（今回調査と前回調査の比較）

図表 74 によると、「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率は、男性が 19.9%、女性が 23.0%となり、男性と比較して女性の比率が高くなりました。



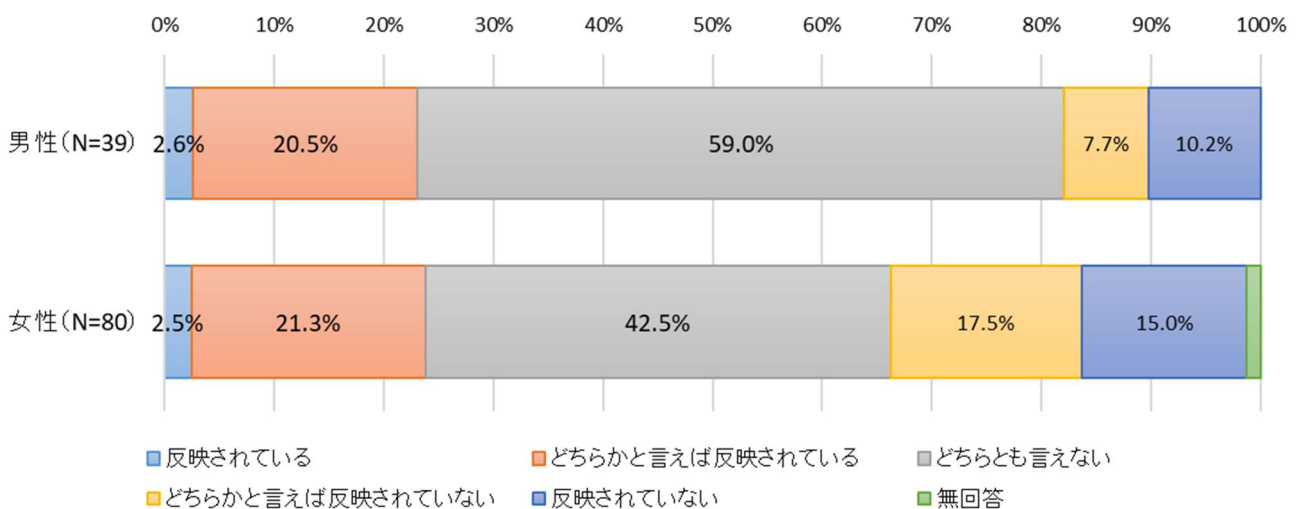
図表 7 4 地域の声が行政に反映されているか（性別）

図表 75 によると、全体的に特徴をつかみにくい中、20～29 歳で「どちらかと言えば反映されていない」「反映されていない」と回答した比率が高くなりました。



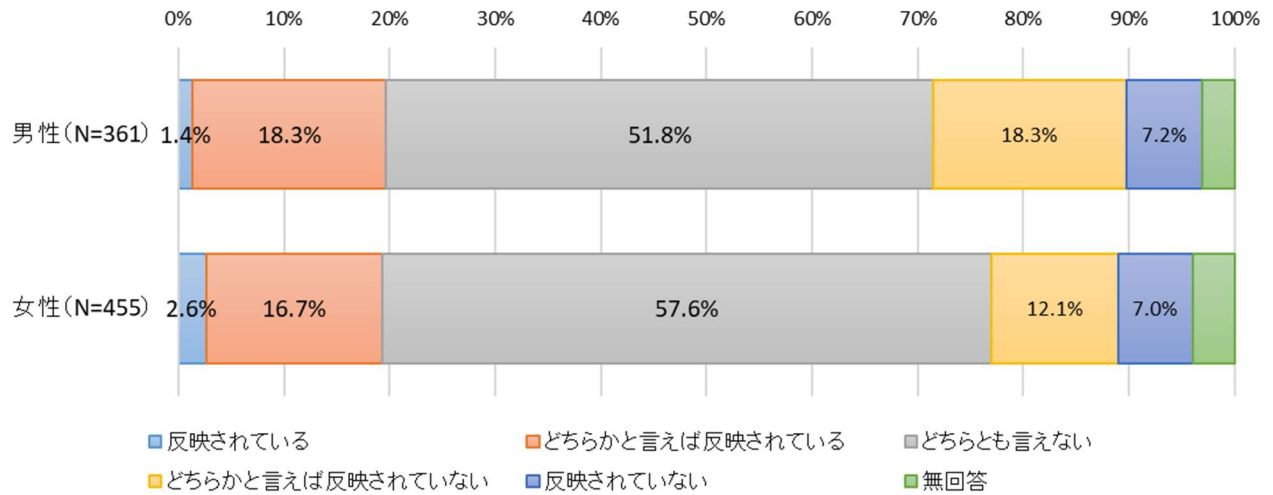
図表 75 地域の声が行政に反映されているか（年齢別）

図表 76 によると、20～29 歳では、「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率は男女ほぼ同じとなる一方で、女性の「どちらかと言えば反映されていない」「反映されていない」と回答した比率が高くなりました。



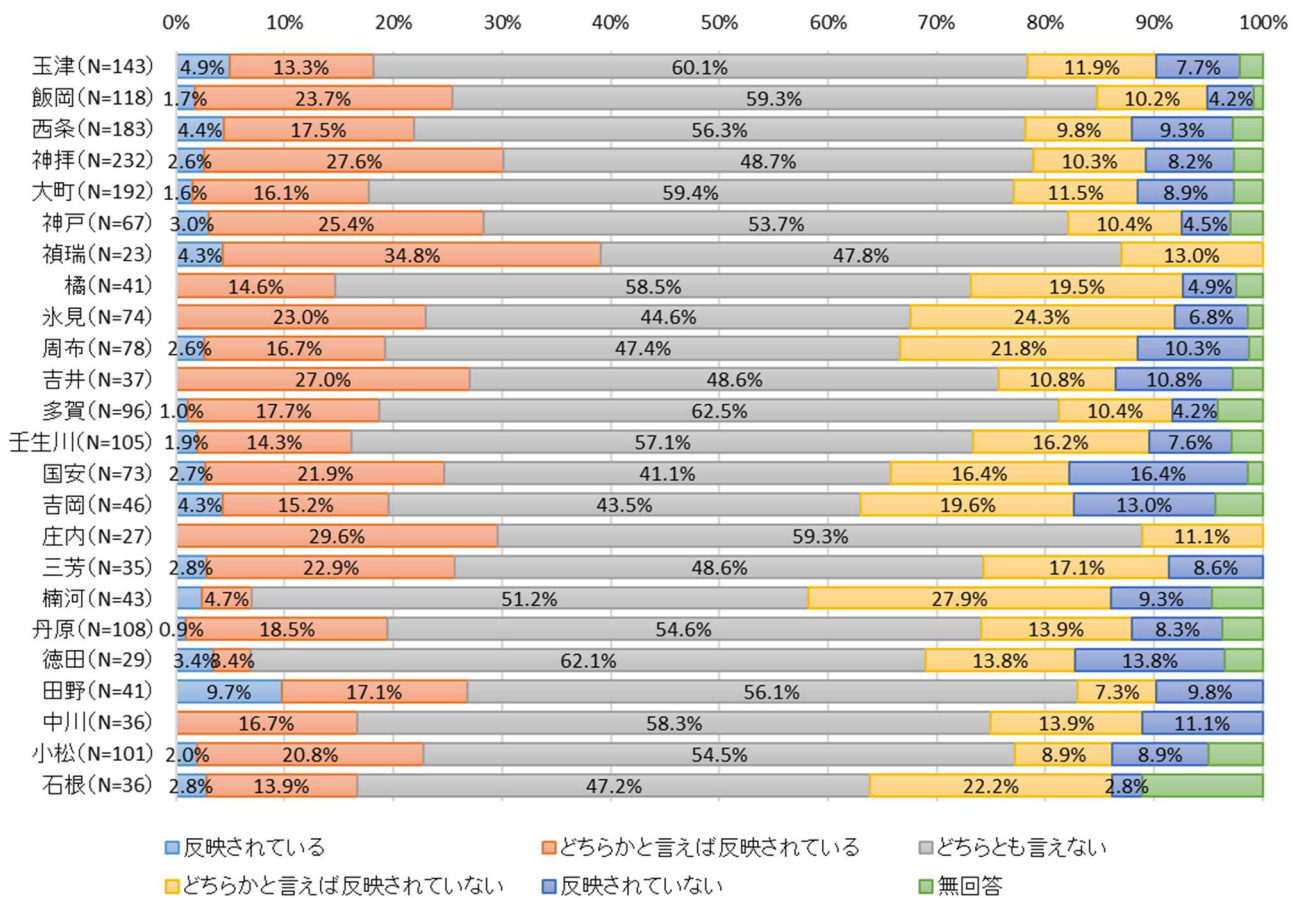
図表 76 地域の声が行政に反映されているか（20～29歳・性別）

図表 77 によると、60 歳以上では、「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率は男女ほぼ同じとなる一方で、20～29 歳とは逆に、男性の「どちらかと言えば反映されていない」「反映されていない」と回答した比率が高くなりました。



図表 77 地域の声が行政に反映されているか（60 歳以上・性別）

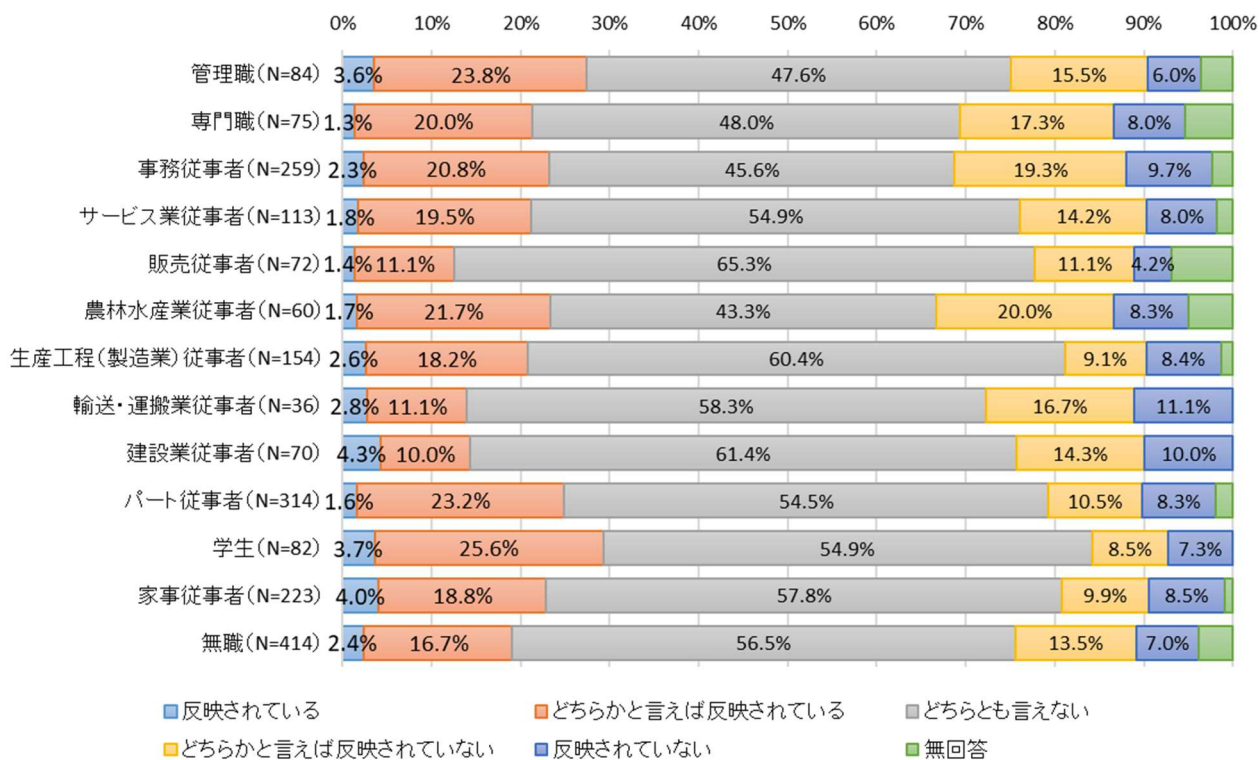
図表 78 によると、「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率が最も高いのは禎瑞で 39.1%となりました。逆に、「どちらかと言えば反映されていない」「反映されていない」と回答した比率が最も高いのは楠河で 37.2%となりました。



※ 回答者 20 人以上の地区を対象

図表 78 地域の声が行政に反映されているか（お住まいの地区別）

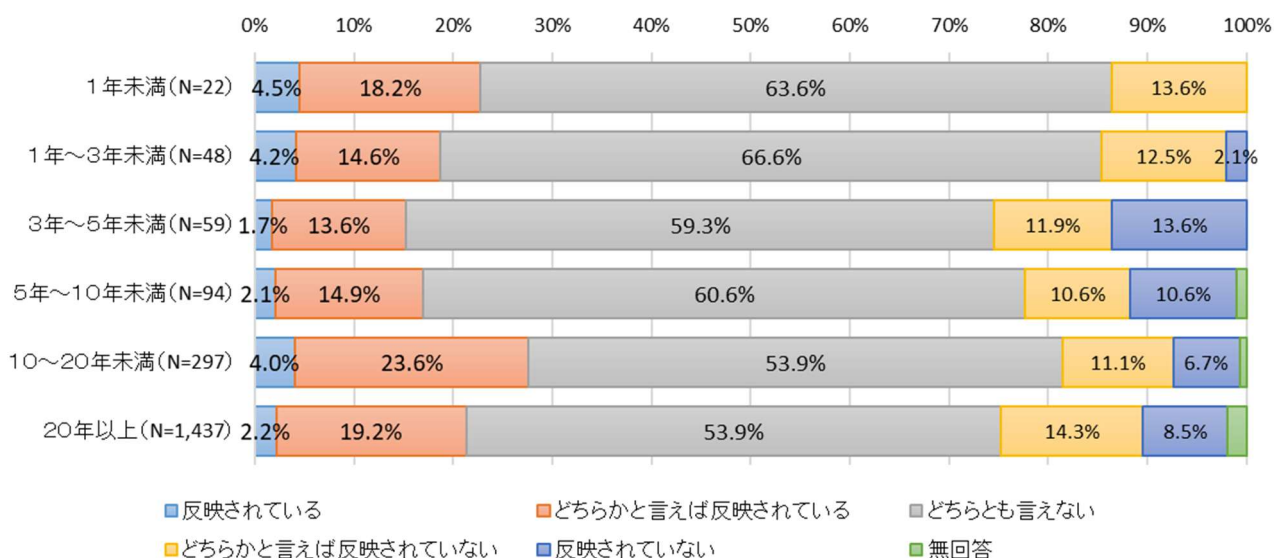
図表 79 によると「学生」「管理職」の「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率が高くなりました。逆に、「事務従事者」「農林水産業従事者」「輸送・運搬業従事者」の「どちらかと言えば反映されていない」「反映されていない」と回答した比率高くなりました。



※ 回答者 20 人以上の職業を対象

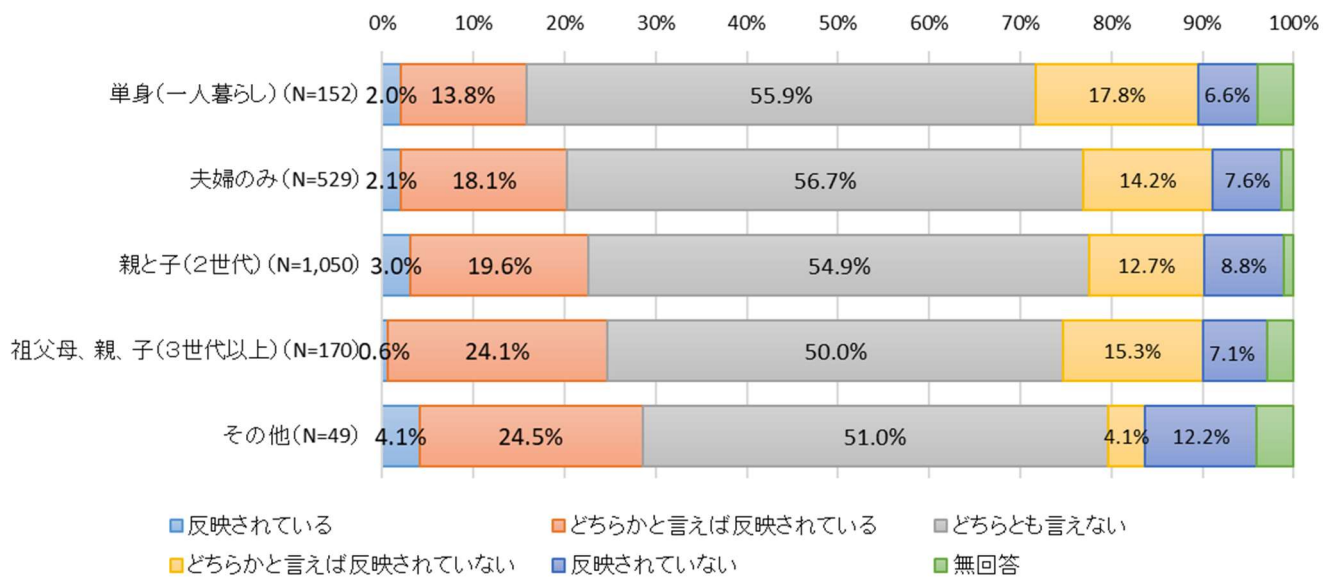
図表 79 地域の声が行政に反映されているか（職業別）

図表 80 によると、居住年数が 10 年未満については、居住年数が長くなるにつれて「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率が低くなる傾向が見られました。居住年数が 10 年以上になると、「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率が高くなる結果となりました。



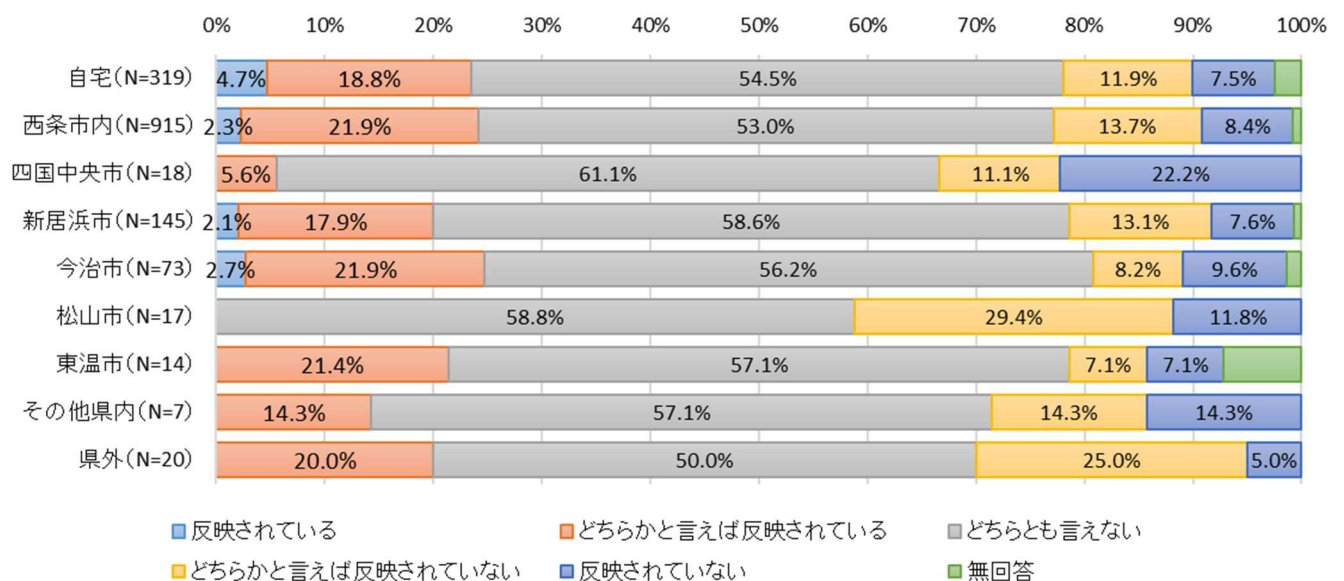
図表 80 地域の声が行政に反映されているか（居住年数別）

図表 81 によると、家族構成が大きくなるほど、「反映されている」「どちらかと言えば反映されている」と回答した比率が高くなりました。



図表 8 1 地域の声が行政に反映されているか（家族構成別）

図表 82 によると、「松山市」「四国中央市」で勤務（通勤）されている方の「提供されている」「どちらかと言えば提供されている」と回答した比率が低くなりました。特に、「松山市」で勤務（通勤）されている方は、「どちらかと言えば提供されていない」「提供されていない」と回答した比率が最も高くなりました。



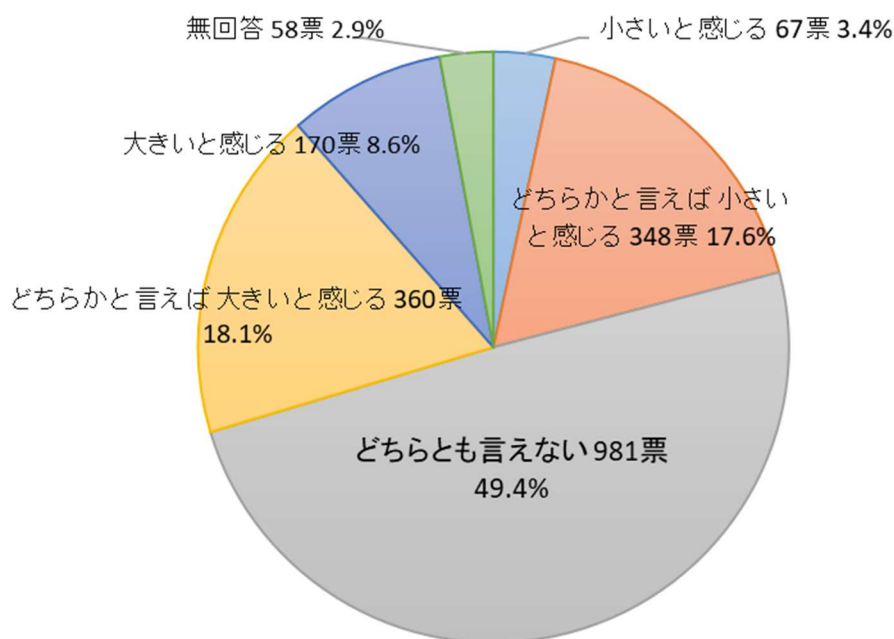
図表 8 2 地域の声が行政に反映されているか（勤務先・通学先別）

(8) 西条市では公共料金などの住民負担についてどのように感じますか

【結果概要】

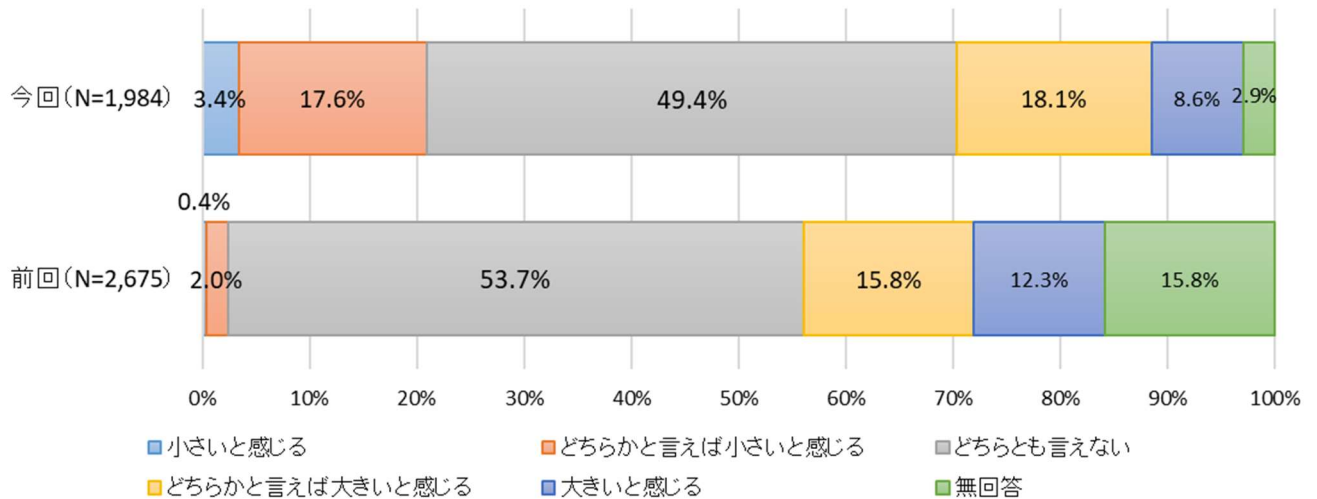
- 前回調査と比較して「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率が高くなりました。決して市民の負担感が小さいとは言いきれませんが、市民の負担は一定レベルで落ち着いていると判断できます。(図表 84 参照)
- 性別にみると、女性と比較して男性が負担を感じている結果となりました。(図表 85 参照)
- 年齢別にみると、年齢が若くなるほど公共料金などの負担が小さいと感じている結果となりました。(図表 86 参照)
- しかしながら、「35～44 歳」については公共料金などの負担が大きいと感じている比率が高く、女性では負担が大きいと感じている方と小さいと感じている方の両方が存在する結果となりました。(図表 86, 87 参照)
- 60 歳以上では、男性が公共料金などの負担を大きく感じている比率が高くなりました。(図表 88 参照)
- 地域別にみると、比較的周辺部で負担が大きいと感じている比率が高くなりました。(図表 89 参照)
- 居住年数が長くなるほど、負担が大きいと感じている比率が高くなりました。また、家族構成が大きいほど負担が大きいと感じている比率が高くなりました。(図表 91, 92)

図表 83 によると、「小さいと感じる」と回答した方が 67 票で 3.4%、「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した方が 348 票で 17.6%となり、あわせて 21.0%が西条市では公共料金などの住民負担が小さいと実感している結果となりました。



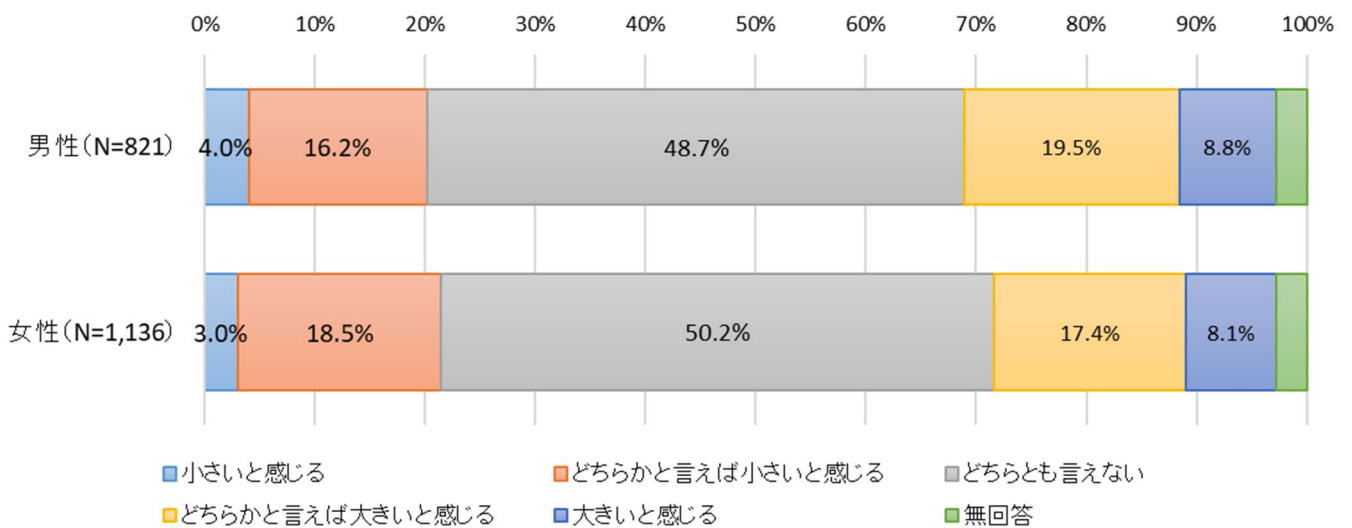
図表 83 公共料金などの住民負担をどのように感じるか (単純集計) (N=1,984)

前回調査（平成 25 年 10 月）と設問方法が異なるため単純に比較することは難しいが、図表 84 によると、今回調査では「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率が高くなりました。決して市民の負担感が小さいとは言いきれませんが、市民の負担は一定レベルで落ち着いていると判断できます。



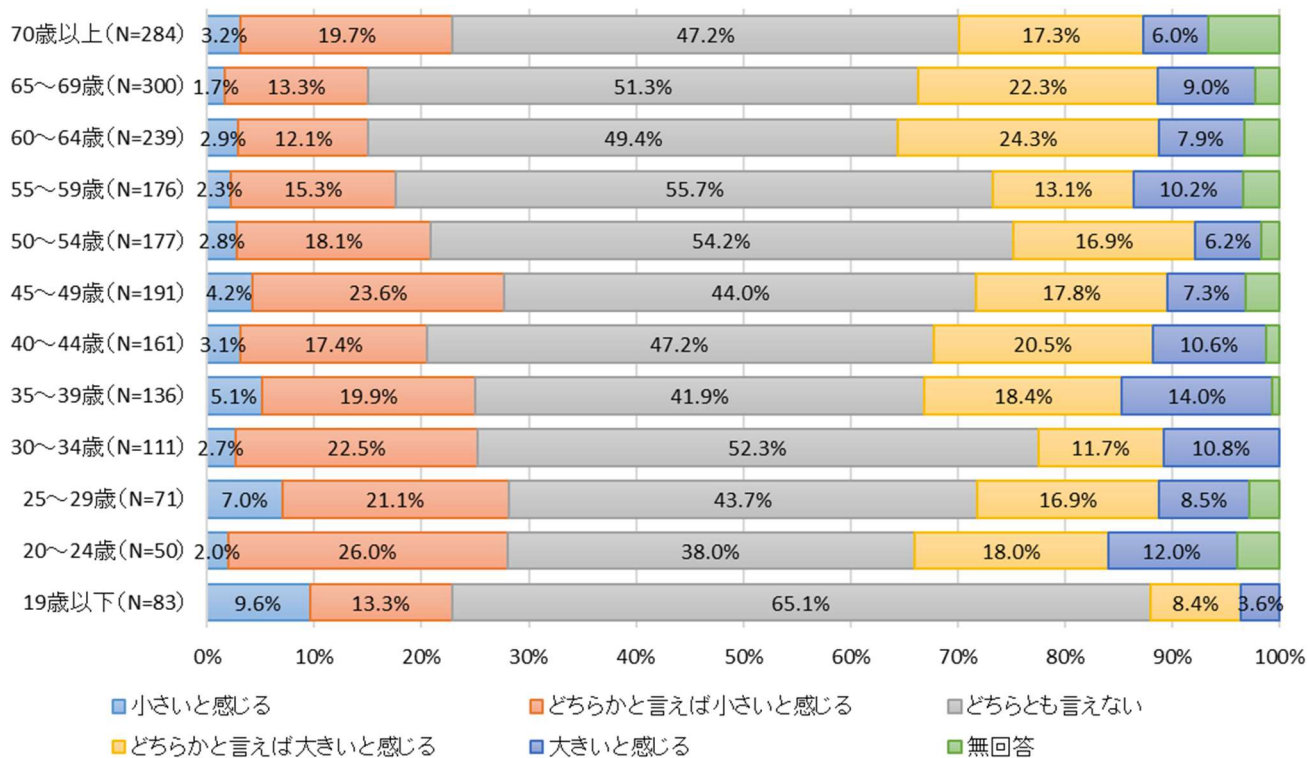
図表 8 4 公共料金などの住民負担をどのように感じるか（今回調査と前回調査の比較）

図表 85 によると、「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率は、男性が 20.2%、女性が 21.5%となり、男性と比較して女性の比率がわずかに高くなりました。逆に、「どちらかと言えば大きいと感じる」「大きいと感じる」と回答した比率は男性が高くなりました。



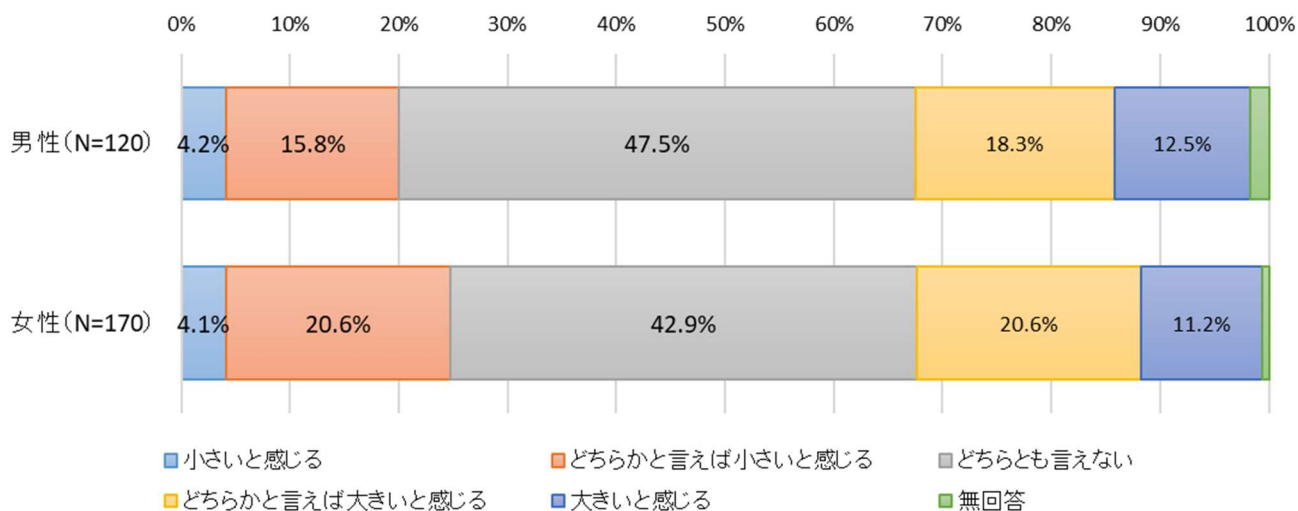
図表 8 5 公共料金などの住民負担をどのように感じるか（性別）

図表 86 によると、「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率は、年齢が若いほど高くなりました。一方で「どちらかと言えば大きいと感じる」「大きいと感じる」と回答した比率は、年齢が高くなるほど回答した比率が高くなりました。なお、若い年齢の中でも、35～44歳は「どちらかと言えば大きいと感じる」「大きいと感じる」と回答した比率が高くなりました。



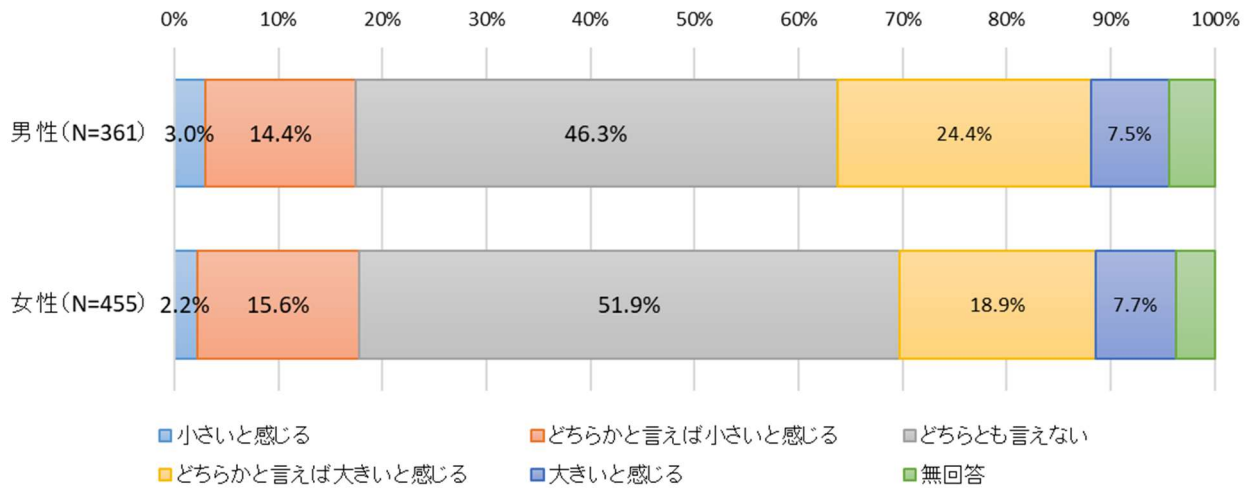
図表 86 公共料金などの住民負担をどのように感じるか（年齢別）

図表 87 によると、35～44歳では、男性よりも女性の「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率が高く、あわせて、「どちらかと言えば大きいと感じる」「大きいと感じる」と回答した比率は男女がほぼ同じ傾向となりました。



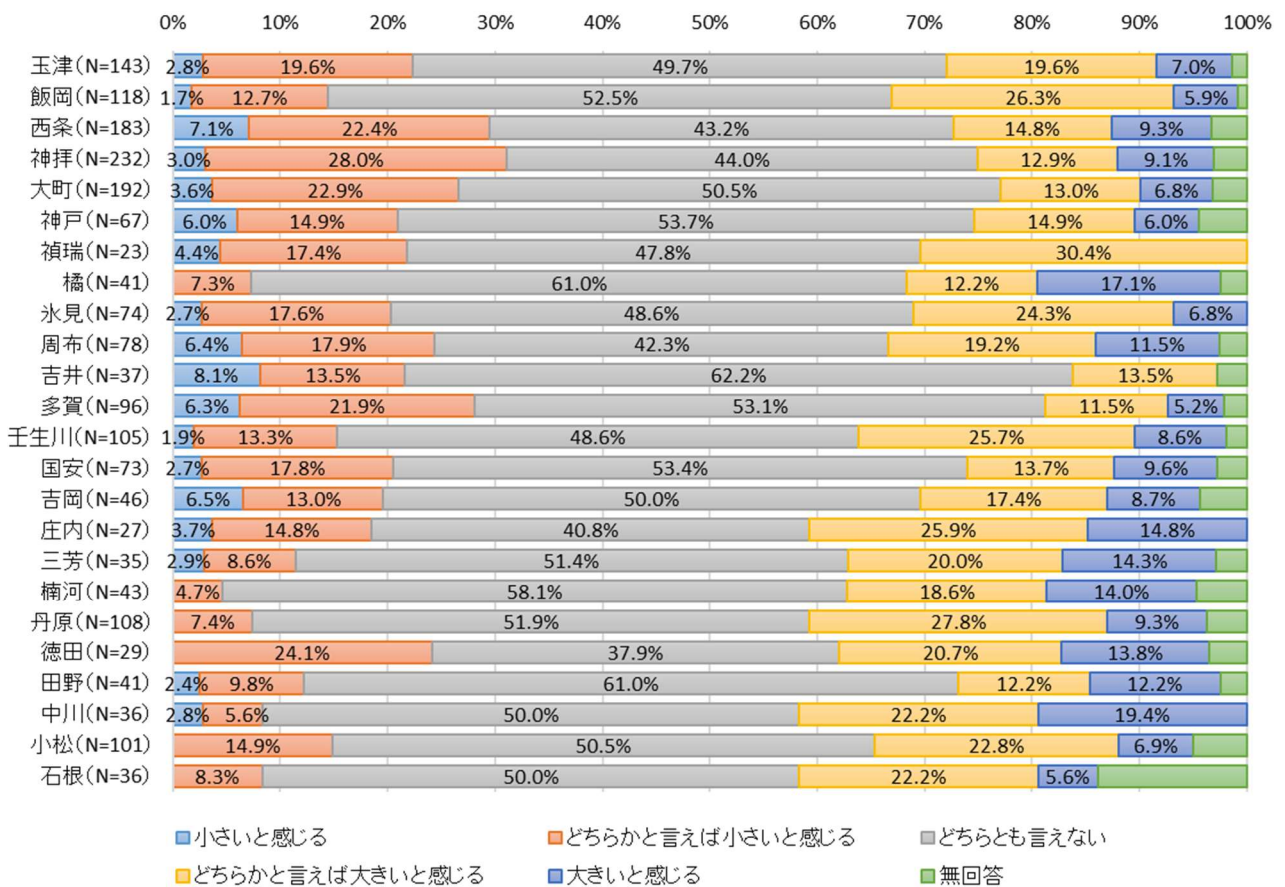
図表 87 公共料金などの住民負担をどのように感じるか（35～44歳・性別）

図表 88 によると、60 歳以上では、「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率は男女がほぼ同じ傾向となりましたが、男性の「どちらかと言えば大きいと感じる」「大きいと感じる」と回答した比率が高くなりました。



図表 88 公共料金などの住民負担をどのように感じるか（60 歳以上・性別）

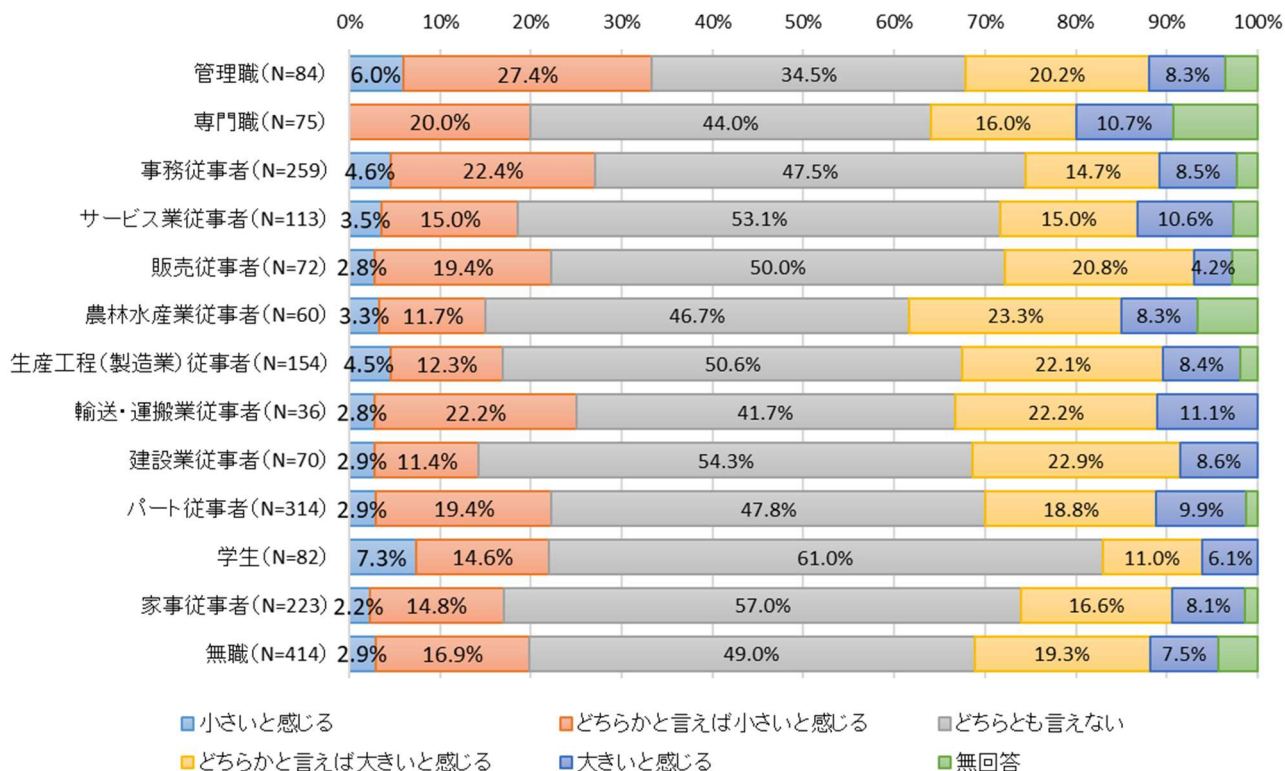
図表 89 によると、「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率が最も高いのは「神拝」で 31.0% となりました。逆に、「どちらかと言えば大きいと感じる」「大きいと感じる」と回答した比率が最も高いのは「中川」で 41.6% となりました。



※ 回答者 20 人以上の地区を対象

図表 89 公共料金などの住民負担をどのように感じるか（お住まいの地区別）

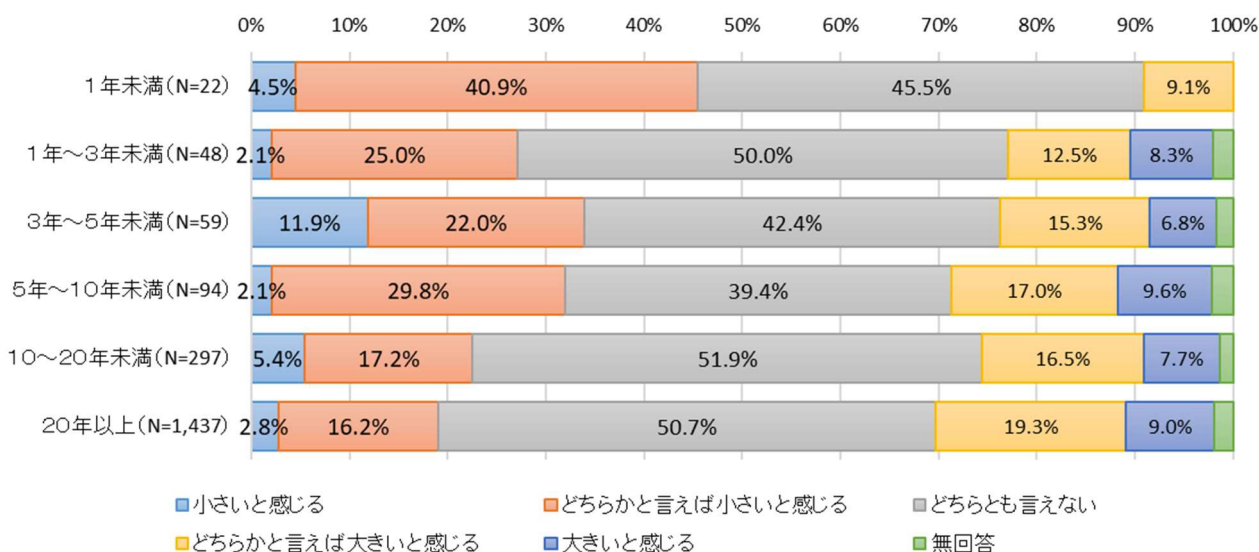
図表 90 によると「管理職」「事務従事者」の「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率が高くなりました。逆に、「輸送・運搬業従事者」「農林水産業従事者」「建設業従事者」の「どちらかと言えば大きいと感じる」「大きいと感じる」と回答した比率が高くなりました。



※ 回答者 20 人以上の職業を対象

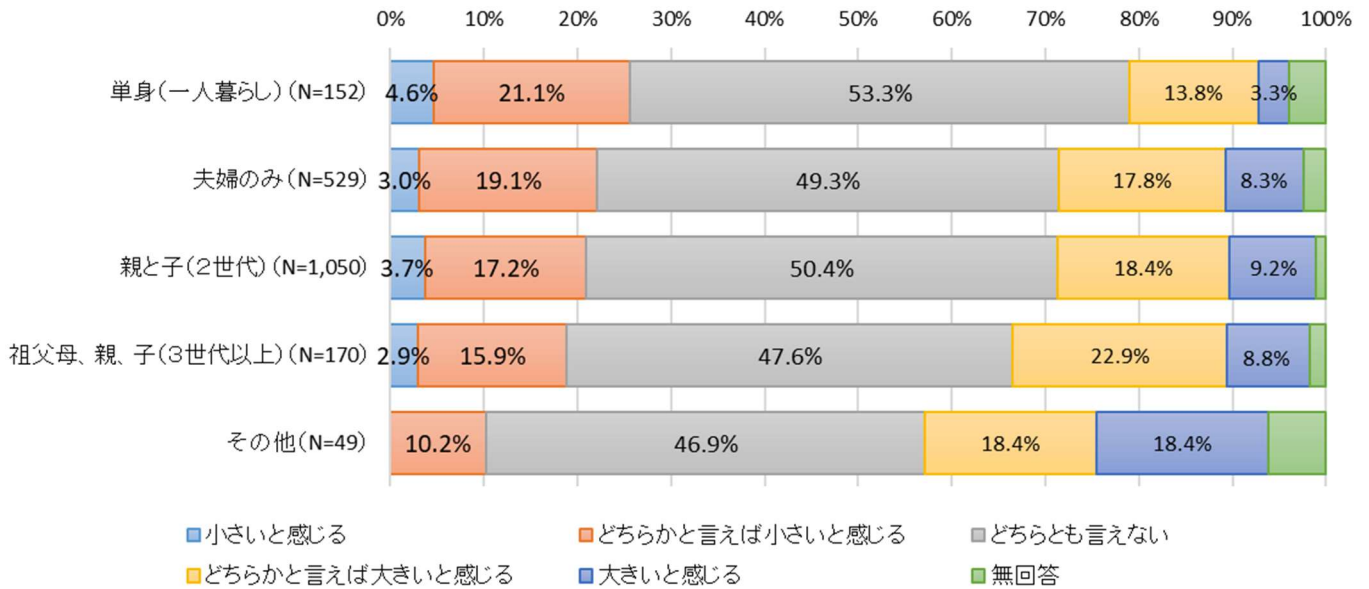
図表 90 公共料金などの住民負担をどのように感じるか (職業別)

図表 91 によると、居住年数が長くなるほど「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率が低くなり、あわせて「どちらかと言えば大きいと感じる」「大きいと感じる」と回答した比率が高くなりました。



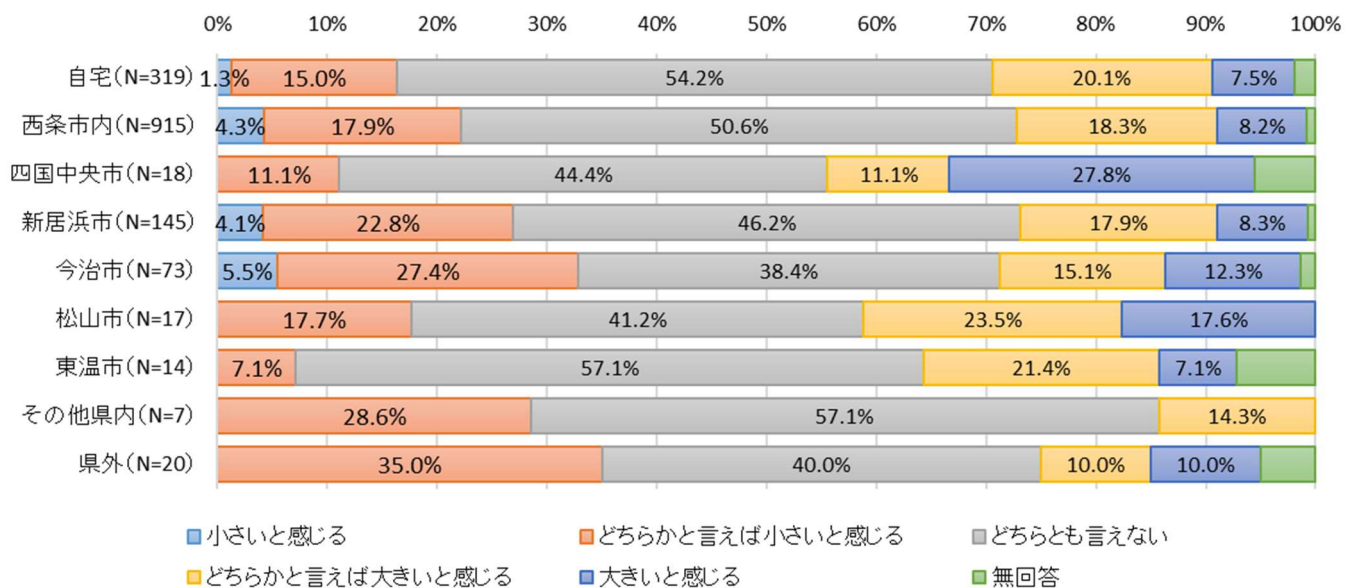
図表 91 公共料金などの住民負担をどのように感じるか (居住年数別)

図表 92 によると、家族構成が大きくなるほど「小さいと感じる」「どちらかと言えば小さいと感じる」と回答した比率が低くなり、あわせて「どちらかと言えば大きいと感じる」「大きいと感じる」と回答した比率が高くなりました。



図表 9 2 公共料金などの住民負担をどのように感じるか (家族構成別)

図表 93 によると、「新居浜市」「今治市」で勤務(通勤)されている方と比較し、「自宅」「西条市内」で勤務されている方が、公共料金などの住民負担が大きいと感じている傾向がみられました。



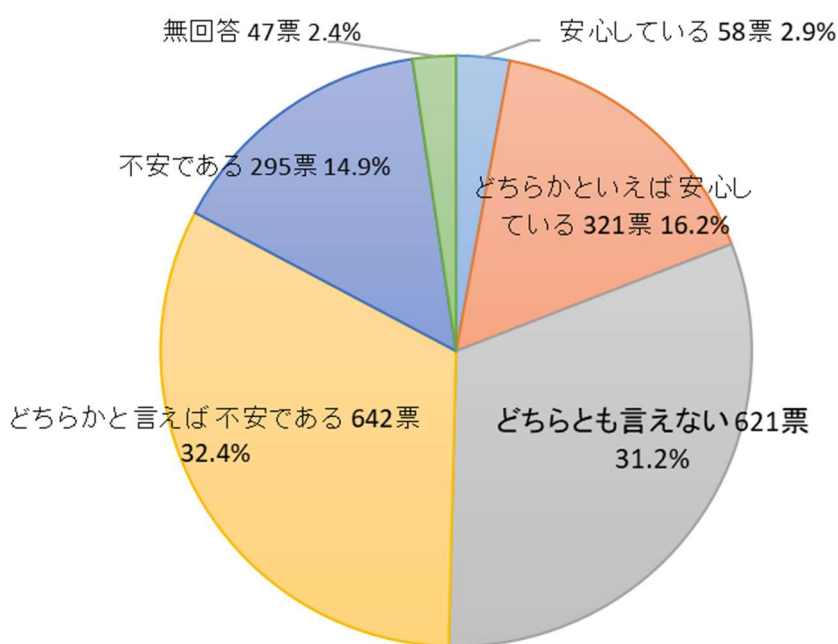
図表 9 3 公共料金などの住民負担をどのように感じるか (勤務先・通学先別)

(9) 今から約 20 年後の 2040 年頃の西条市の未来をどのように感じていますか

【結果概要】

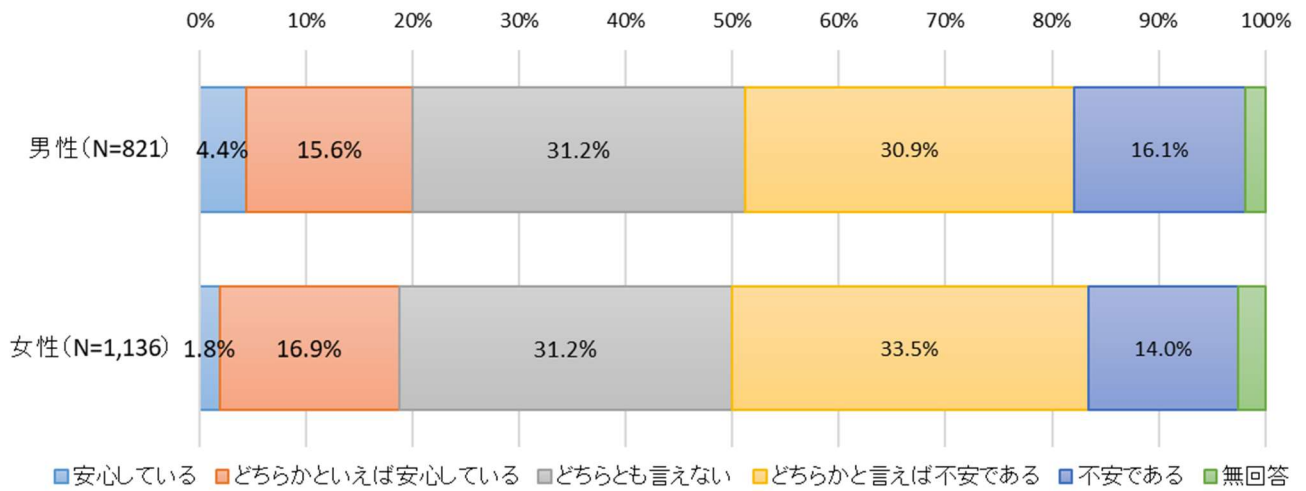
- 市民の約半数の方が西条市の未来に対して何らかの不安を感じています。(図表 94 参照)
- 性別にみると、男性と比較してわずかながら女性が西条市の未来に対して不安を感じている結果となりました。(図表 95 参照)
- 年齢別にみると、20～24 歳で特に、西条市の未来に対して不安を感じている比率が高くなりました。(図表 96 参照)
- 性別かつ年齢別にみると、20～29 歳の男性が西条市の未来に対して不安を感じている比率が高くなりました。(図表 97 参照)
- お住まいの地区別にみると、地域によって西条市の未来に不安を感じている比率に違いが生じています。(図表 98 参照)
- 居住年数が長くなるにつれて、西条市の未来に不安を感じている傾向がみられました。また、家族構成が大きくなるにつれて、西条市の未来に不安を感じている傾向がみられました。(図表 100, 101 参照)

図表 94 によると、「安心している」と回答した方が 58 票で 2.9%、「どちらかと言えば安心している」と回答した方が 321 票で 16.2%となり、あわせて 19.1%が西条市の未来を安心している結果となりました。逆に、「どちらかと言えば不安である」と回答した方が 642 票で 32.4%、「不安である」と回答した方が 295 票で 14.9%となり、あわせて 47.3%が西条市の未来を不安に感じている結果となりました。



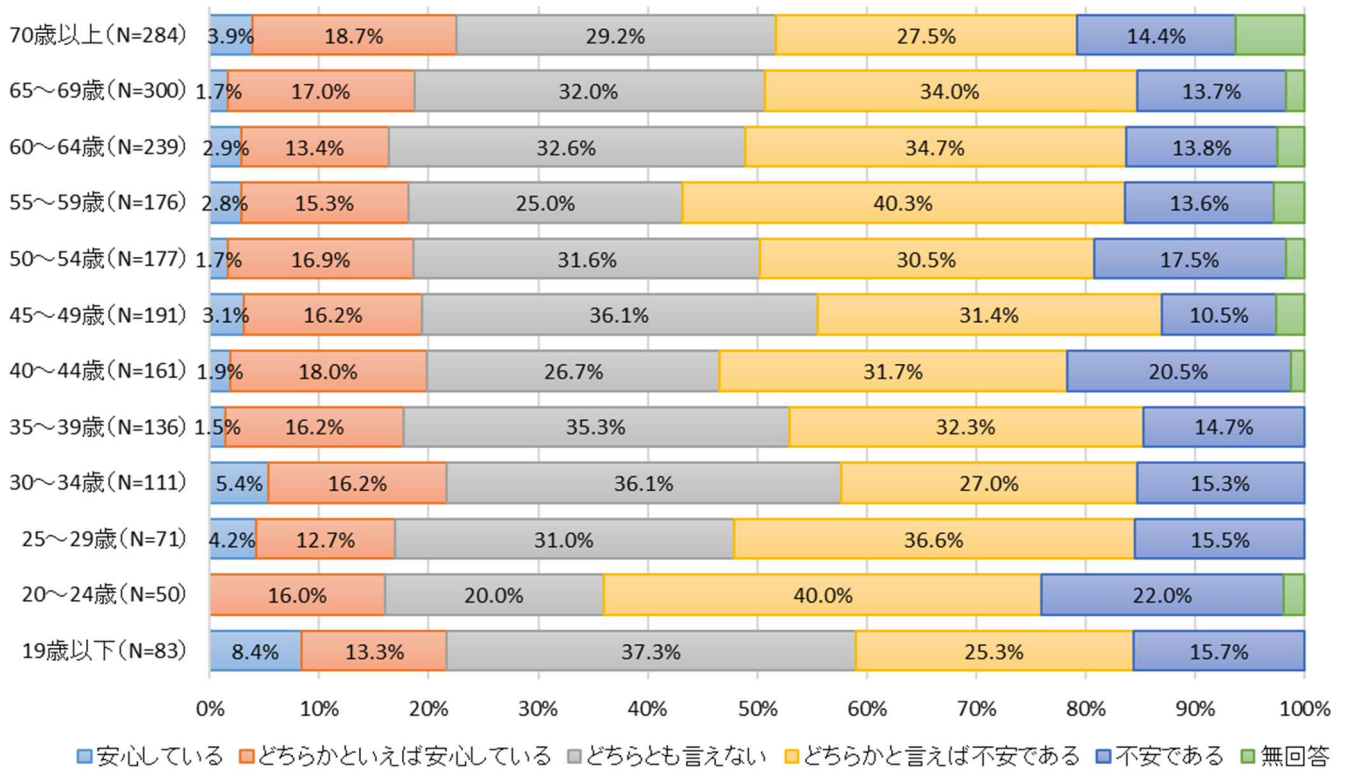
図表 94 西条市の未来をどのように感じているか (単純集計) (N = 1, 984)

図表 95 によると、男女がほぼ同じ傾向を示したものの、わずかながら男性と比較して女性が不安を感じている結果となりました。



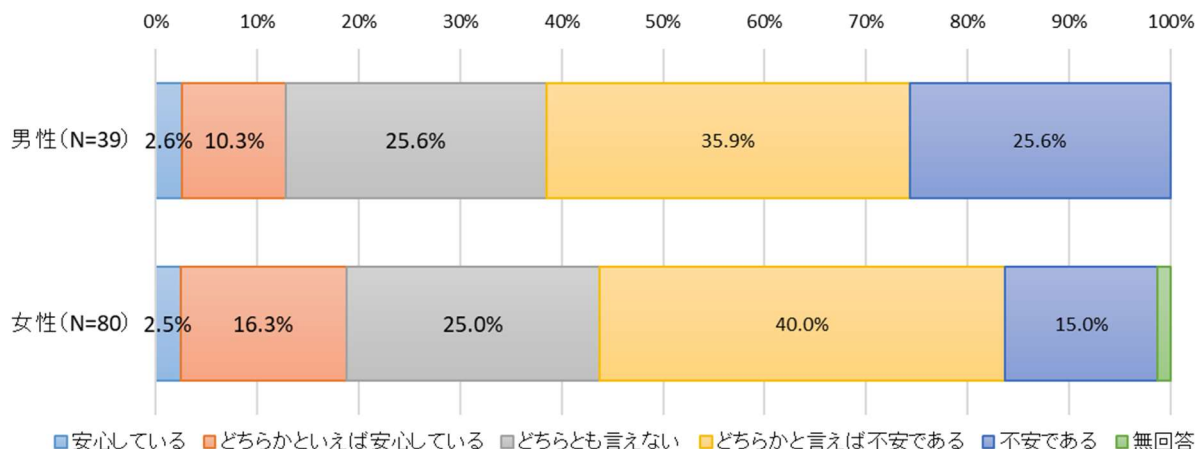
図表 95 西条市の未来をどのように感じているか (性別)

図表 96 によると、全体的に同じような傾向を示す中、20～24 歳で突出して「どちらかといえば不安である」「不安である」と回答した比率が高くなりました。



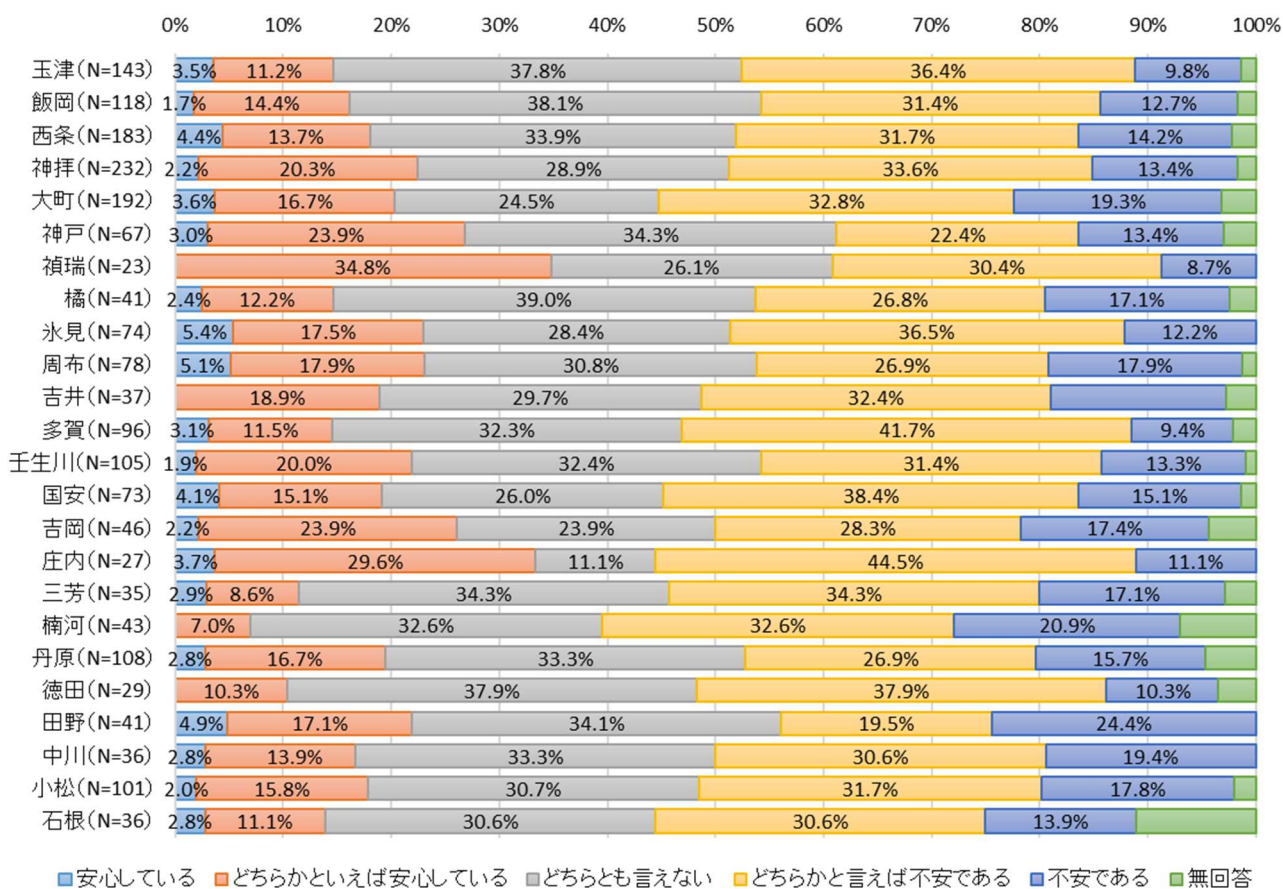
図表 96 西条市の未来をどのように感じているか (年齢別)

図表 97 によると、20～29 歳では、「どちらかと言えば不安である」「不安である」と回答した比率が男女ほぼ同じとなる一方で、男性の「安心している」「どちらかと言えば安心している」と回答した比率が低くなりました。



図表 97 西条市の未来をどのように感じているか（20～29歳・性別）

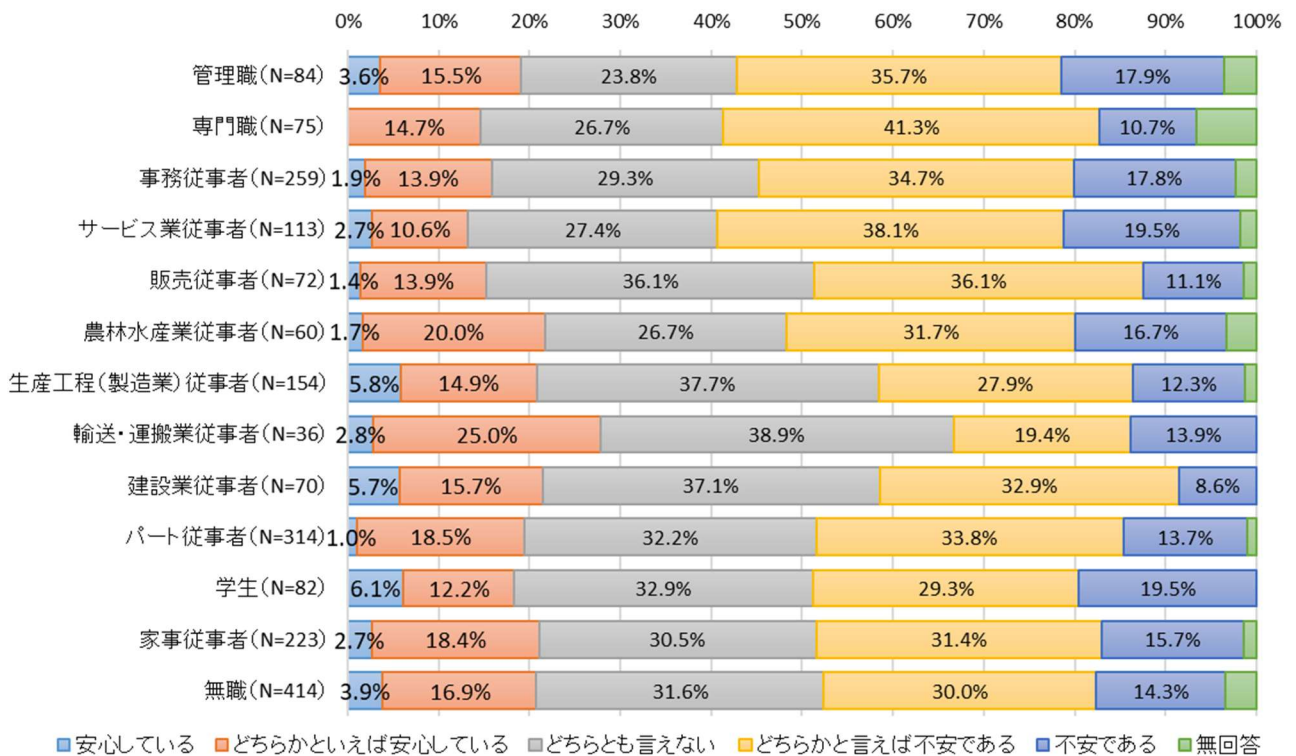
図表 98 によると、「安心している」「どちらかと言えば安心している」と回答した比率が最も高いのは禎瑞で 34.8% となりました。また、「どちらかと言えば不安である」「不安である」と回答した比率が最も高い庄内は、「安心している」「どちらかと言えば安心している」と回答する比率も高く、両極端な結果となりました。



※ 回答者 20 人以上の地区を対象

図表 98 西条市の未来をどのように感じているか（お住まいの地区別）

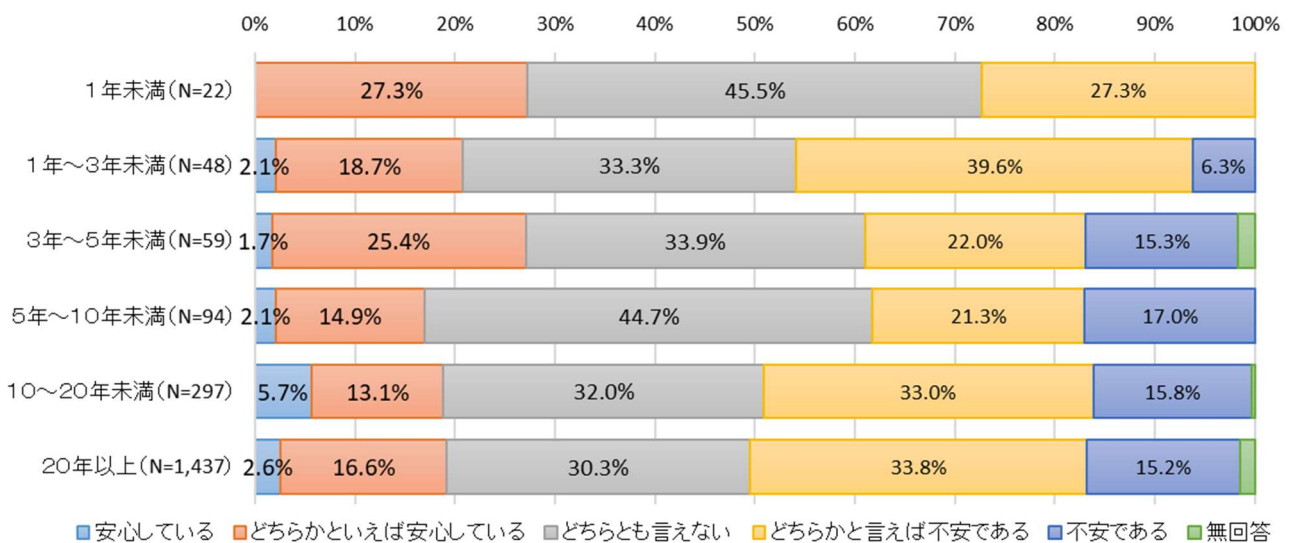
図表 99 によると「輸送・運搬業従事者」の「安心している」「どちらかと言えば安心している」と回答した比率が最も高くなりました。逆に、「サービス業従事者」「管理職」「事務従事者」の「どちらかと言えば不安である」「不安である」と回答した比率が高くなりました。



※ 回答者 20 人以上の職業を対象

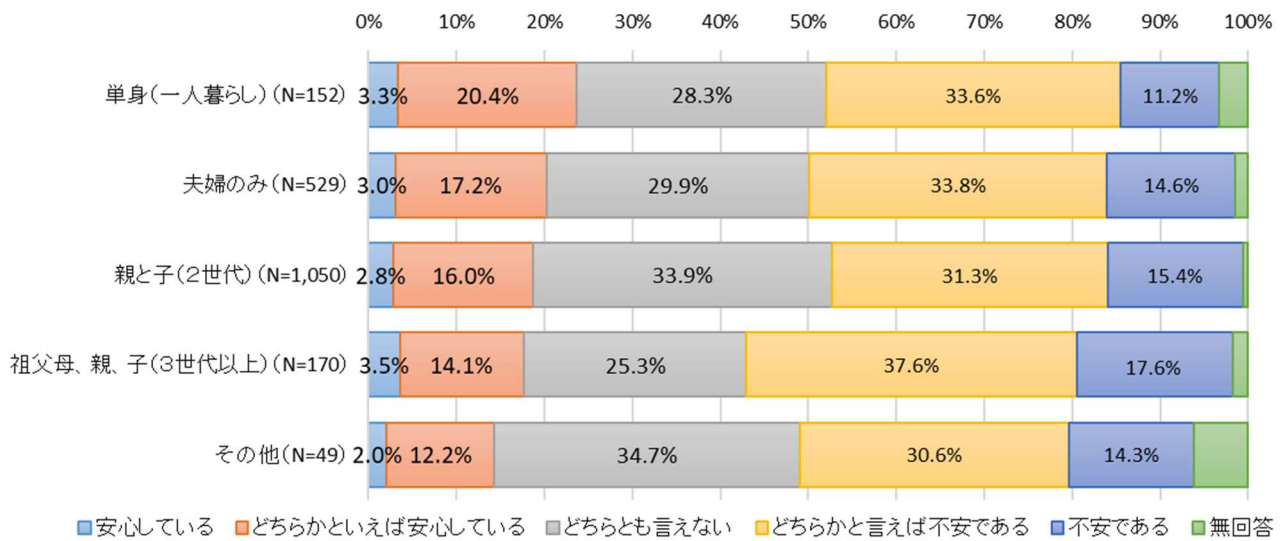
図表 99 西条市の未来をどのように感じているか (職業別)

図表 100 によると、居住年数が長くなるほど「安心している」「どちらかと言えば安心している」と回答した比率が低くなるとともに、「どちらかと言えば不安である」「不安である」と回答した比率が高くなりました。



図表 100 西条市の未来をどのように感じているか (居住年数別)

図表 101 によると、家族構成が大きくなるほど、「安心している」「どちらかと言えば安心している」と回答した比率が低くなるとともに、「どちらかと言えば不安である」「不安である」と回答した比率が高くなりました。



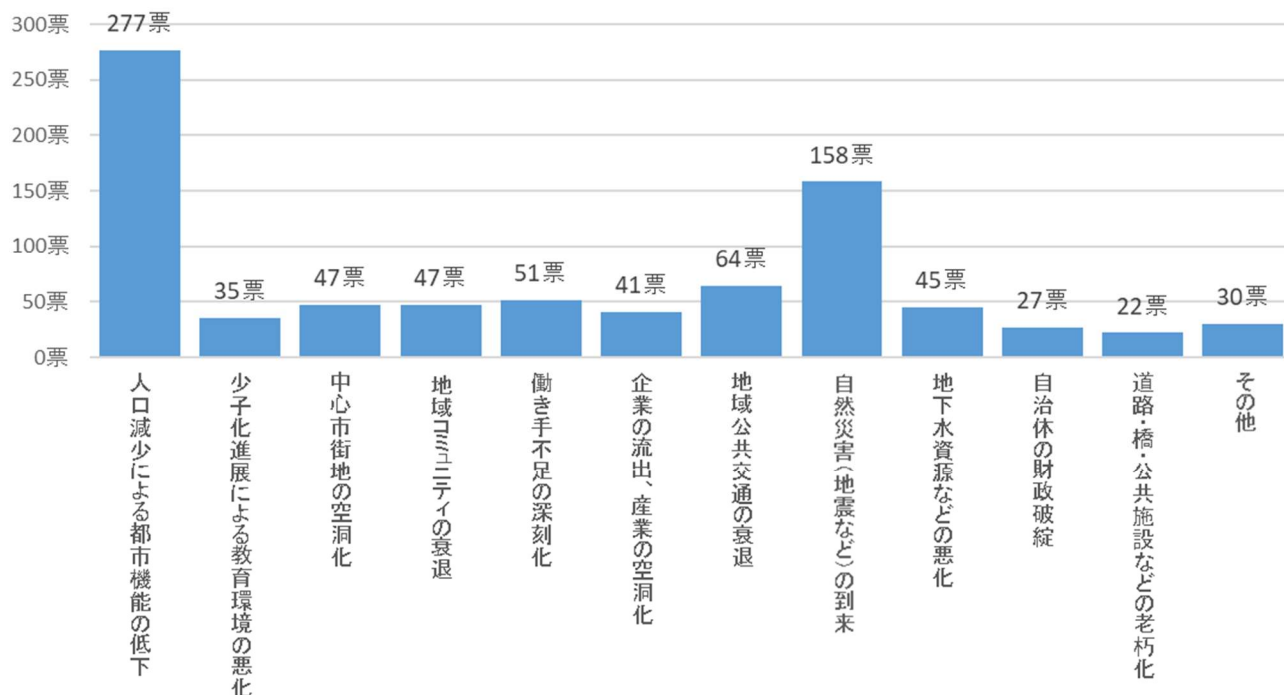
図表 101 西条市の未来をどのように感じているか (家族構成別)

(10) 特に不安と感ずる課題を選択してください

【結果概要】

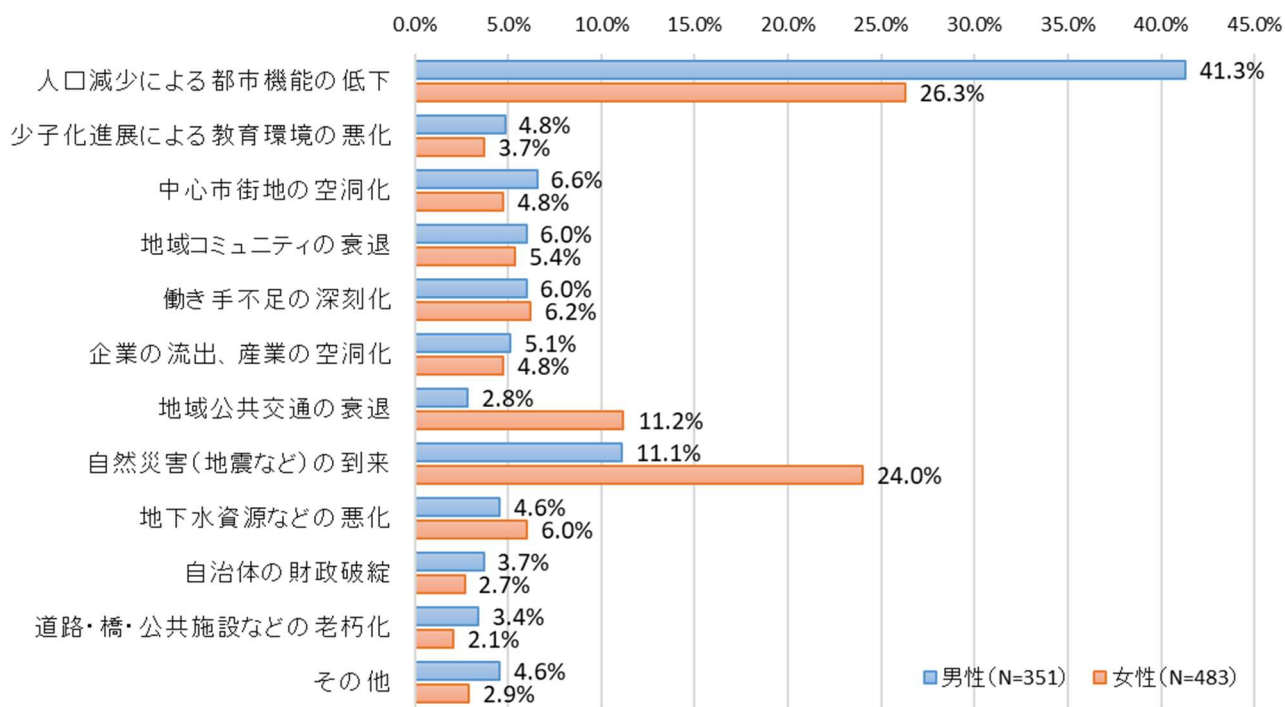
- 「人口減少による都市機能の低下」「自然災害（地震など）の到来」「地域公共交通の衰退」の順で回答した比率が高くなりました。（図表 102 参照）
- 性別にみると、男性は女性と比較して「人口減少による都市機能の低下」が突出して高く、女性は男性と比較して「自然災害（地震など）の到来」「地域公共交通の衰退」が高くなりました。（図表 103 参照）
- 年齢別にみると、全体的に「人口減少による都市機能の低下」と回答した比率が高いことに加え、年齢が若いほど「自然災害（地震など）の到来」と回答した比率が高く、年齢が高くなるほど「地域公共交通の衰退」と回答した比率が高くなりました。（図表 104 参照）
- 職業によって不安を感じている点が大きく異なる結果となりました。（図表 105 参照）

図表 102 によると、「どちらかと言えば不安である」「不安である」と回答した方のうち、277 票で約 32.8%の方が「人口減少による都市機能の低下」を選択しました。続いて、158 票で 18.7%の方が「自然災害（地震など）の到来」を選択する結果となりました。



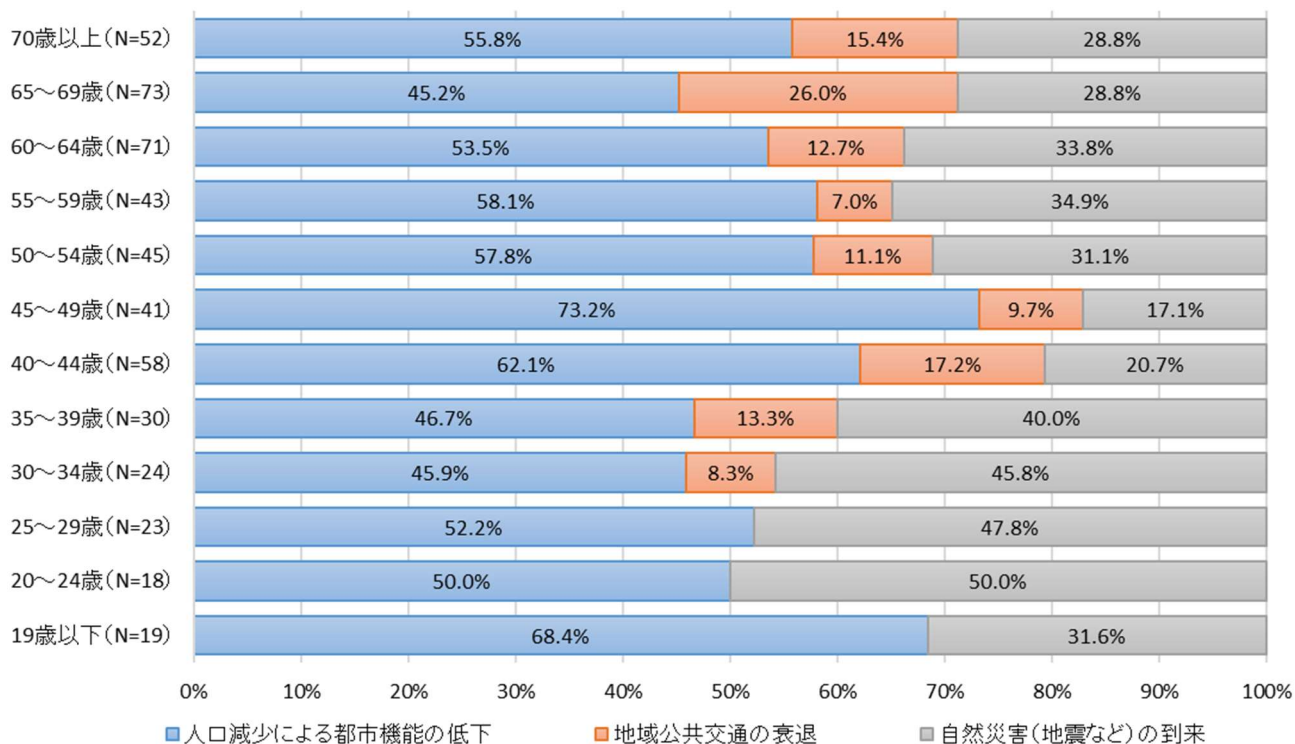
図表 102 特に不安に感じる点（単純集計）（N=844）

図表 103 によると、男女ともに「人口減少による都市機能の低下」と回答した比率が最も高くなりました。また、男性は「人口減少による都市機能の低下」と回答した比率が突出して高くなる一方で、女性は男性と比較して、「自然災害（地震など）の到来」「地域公共交通の衰退」と回答した比率が高くなりました。



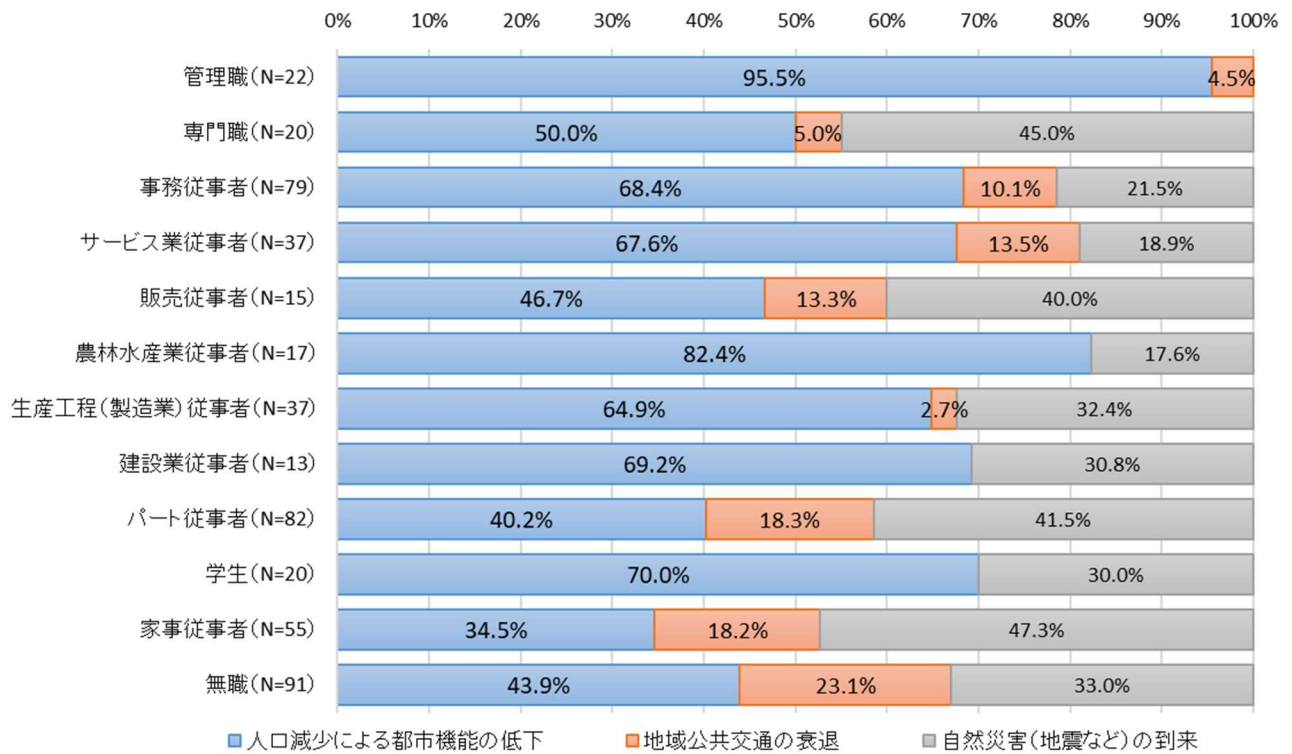
図表 103 特に不安を感じる点（性別）（N = 844）

図表 104 によると、「人口減少による都市機能の低下」については、全ての年齢を通じて回答した比率が高くなりました。「自然災害（地震など）の到来」については、年齢が若くなるほど回答した比率が高くなりました。「地域公共交通の衰退」については、30歳以上において年齢が高くなるほど、回答した比率が高くなりました。



図表 104 特に不安を感じる点（上位3件・年齢別）（N = 844）

図表 105 によると、職業によって不安に感じている点が大きく異なります。「人口減少による都市機能の低下」については、「管理職」の回答した比率が突出して高く、続いて「農林水産業従事者」が高くなりました。「自然災害（地震など）の到来」については、「家事従事者」「専門職」の回答した比率が高くなりました。「地域公共交通の衰退」については、「無職」「パート従事者」「家事従事者」の回答した比率が高くなりました。



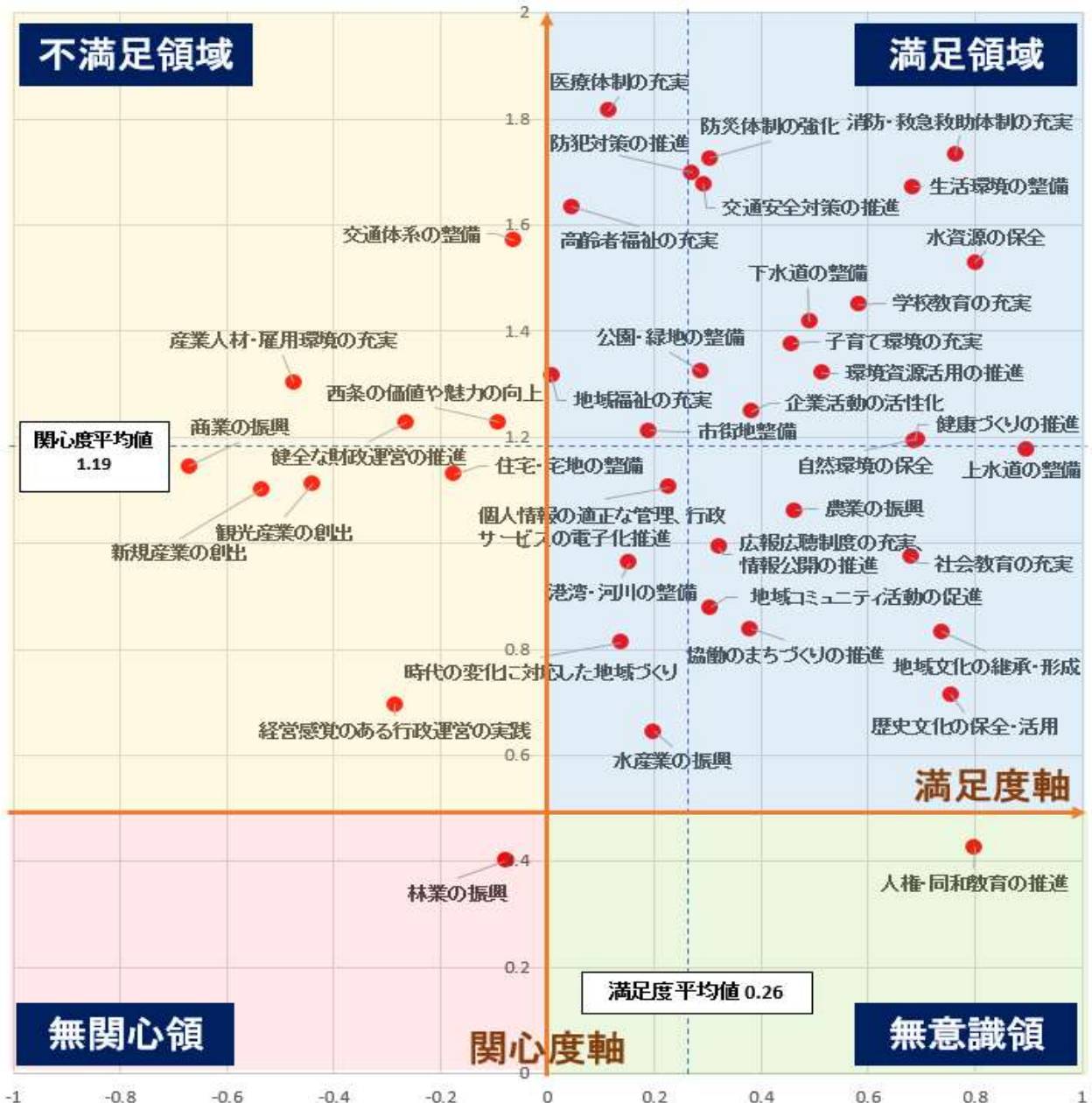
※ 回答者 10 人以上の職業を対象

図表 105 特に不安に感じる点（上位 3 件・職業別）（N = 488）

4 施策に対する市民の満足度・関心度

図表 106 は、今回の市民アンケート調査で実施した、各施策に対する市民の満足度と関心度を数値化して領域別に落とし込んだものです。各数値の算出方法は以下のとおりです。

- (1) 満足度・・・回答者から「どちらとも言えない」を除き、「満足」の回答 1 票につき 2 点、「どちらかと言えば満足」の回答 1 票につき 1 点、「どちらかと言えば不満」の回答 1 票につきマイナス 1 点、「不満」の回答 1 票につきマイナス 2 点を加算し、その合計点を「どちらとも言えない」を除く回答者の総数で割り戻した数値としています。
- (2) 関心度・・・回答者から「わからない」を除き、「関心がある」の回答 1 票につき 2 点、「関心が無い」の回答 1 票につきマイナス 2 点を加算し、その合計点を「わからない」を除く回答者の総数で割り戻した数値としています。



図表 106 満足度・関心度 領域マップ (N=488)

以上の算出方法を用いたところ、全施策の満足度平均値は 0.26、関心度平均値は 1.19 となりました。本市の特徴としては、市民の施策に対する関心度は高いものの、市民の施策に対する満足度が上がりにくい傾向があることがわかりました。

これらの本市の特徴を受け、「満足度軸」と「関心度軸」の交点を「満足度=0、関心度=0.5」として設定することとし、それぞれの領域の特徴ごとに、「満足領域」「不満足領域」「無意識領域」「無関心領域」と名称を付けて整理することとしました。

5 参考資料（アンケート用紙）

西条市まちづくりに関する市民アンケート調査へのご協力をお願い
～ みなさまのご意見をお聞かせください ～

西条市では、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」をめざすべき将来都市像として定め、様々な分野で実現に向けた取り組みを進めているところです。

令和元年度は、まちづくりの総合的な方向性を定める総合計画の基本計画（令和2～令和6年度の5年間）を策定する年度にあたります。現在、策定作業を進めているところですが、市民の皆さまのご意見を将来のまちづくりの方向性に反映させることを目的として、市民アンケートを実施することとしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年6月
西条市長 玉井 敏久

調査の概要

- 1 この調査は、令和元年5月現在で西条市に住民登録をしている15歳以上の方から無作為に抽出した5,000人を対象に配布しています。
- 2 この調査票は、個人を特定できないようになっており、調査終了後は速やかに廃棄いたします。日ごろ感じていることや思っていることを、そのままご記入ください。
- 3 **必ずご本人様がお回答ください。**
- 4 ご記入後、「調査票」を同封の返信用封筒に入れて、**6月28日（金）**までに、郵便ポストへ投かんしてください。（**切手は不要**です）
- 5 ご不明な点などがありましたら、下記の担当へお問い合わせください。

〒793-8601 西条市明屋敷164番地

西条市経営戦略部政策企画課（担当：大久保・和田）

TEL：（0897）56-5151（内線2178）

E-mail：seisakukikaku@saijo-city.jp

西条市 まちづくりに関する市民アンケート調査票

質問1 回答されるあなたご自身についておたずねします。

※ あてはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

① あなたの性別を教えてください。

1 男性	2 女性	3 答えたくない
------	------	----------

② あなたの年齢を教えてください。

1 19歳以下	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～34歳
5 35～39歳	6 40～44歳	7 45～49歳	8 50～54歳
9 55～59歳	10 60～64歳	11 65～69歳	12 70歳以上

③ あなたのお住まいの地区を教えてください。

1 玉津	2 飯岡	3 西条	4 神拝	5 大町
6 神戸	7 禎瑞	8 橘	9 氷見	10 加茂
11 大保木	12 市之川	13 周布	14 吉井	15 多賀
16 壬生川	17 国安	18 吉岡	19 庄内	20 三芳
21 楠河	22 丹原	23 徳田	24 田野	25 中川
26 桜樹	27 小松	28 石根		

④ あなたのご職業（兼業の場合は主たる職業）を教えてください。

1 管理職（官公庁や事業所の役員、部課長等）	2 専門職（医師、弁護士、教授、僧侶等）
3 事務従事者 （一般事務、公務員、保育士、看護師等）	4 サービス業従事者
5 販売従事者 （店員、自営業店主、店長、卸売業等）	6 農林水産業従事者
7 保安職業従事者 （警察官、自衛官、海上保安官、看守等）	8 生産工程（製造業）従事者
9 輸送・運搬業従事者 （鉄道・トラック・船等の運転、郵便・宅配等）	10 建設業従事者
11 パート従事者	12 学生
13 家事従事者	14 無職

⑤ あなたの西条市での居住年数を教えてください。

1	1年未満	2	1年～3年未満	3	3年～5年未満
4	5年～10年未満	5	10年～20年未満	6	20年以上

⑥ あなたのご家族の構成を教えてください。

1	単身（一人暮らし）	2	夫婦のみ
3	親と子（2世代の同居）	4	祖父母、親、子（3世代かそれ以上の同居）
5	その他（具体的に： _____ ）		

⑦ あなたのおもな勤務先（通学先）を教えてください。（④で1～13と回答した方におたずねします）

1	自宅	2	西条市内 （自宅以外）	3	四国中央市	4	新居浜市	5	今治市
6	松山市	7	東温市	8	その他県内	9	県外		

質問2 現在の西条市での生活についておたずねします。

※ あてはまるものを1つ選び、数字を○で囲んでください。

① あなたにとって、西条市は住みやすいまちですか。

1	住みやすい	2	どちらかと言えば住みやすい	3	どちらとも言えない
4	どちらかと言えば住みにくい	5	住みにくい		

② あなたは、今後も西条市に住み続けたいですか。

1	ぜひ住み続けたい	2	どちらかと言えば住み続けたい	3	どちらとも言えない
4	どちらかと言えば 住み続けたくない	5	住み続けたくない		

③ あなたは、西条市に愛着や誇りを感じていますか。

1	感じる	2	どちらかと言えば感じる	3	どちらとも言えない
4	どちらかと言えば感じない	5	感じない		



西条市に愛着や誇りを、「4 どちらかと言えば感じない」
「5 感じない」と回答した方にお聞きします。

④ あなたが西条市に愛着や誇りを感じない主な理由を教えてください。

⑤ 西条市では専門的できめ細やかな住民サービスが提供されていると思いますか。

1	提供されている	2	どちらかと言えば提供されている	3	どちらとも言えない
4	どちらかと言えば提供されていない	5	提供されていない		

⑥ 西条市では市民の交流は活発だと思えますか。

1	活発である	2	どちらかと言えば活発である	3	どちらとも言えない
4	どちらかと言えば活発ではない	5	活発ではない		

⑦ 西条市では産業や経済活動は活発だと思えますか。

1	活発である	2	どちらかと言えば活発である	3	どちらとも言えない
4	どちらかと言えば活発ではない	5	活発ではない		

⑧ 西条市では地域の声が行政に反映されていると思えますか。

1	反映されている	2	どちらかと言えば反映されている	3	どちらとも言えない
4	どちらかと言えば反映されていない	5	反映されていない		

⑨ 西条市の公共料金などの住民負担についてどのように感じますか。

1	小さいと感じる	2	どちらかと言えば小さいと感じる	3	どちらとも言えない
4	どちらかと言えば大きいと感じる	5	大きいと感じる		

⑩ あなたは今から約20年後の2040年頃の西条市の未来をどのように感じていますか。

1	安心している	2	どちらかと言えば安心している	3	どちらとも言えない
4	どちらかと言えば不安である	5	不安である		



約20年後の西条市の未来を、「4 どちらかと言えば不安である」「5 不安である」と回答した方にお聞きします。

⑪ あなたが特に不安と感じる課題について、1つ選び数字を○で囲んでください。

1	人口減少による都市機能の低下	2	少子化進展による教育環境の悪化
3	中心市街地の空洞化	4	地域コミュニティの衰退
5	働き手不足の深刻化	6	企業の流出、産業の空洞化
7	地域公共交通の衰退	8	自然災害(地震など)の到来
9	地下水環境などの悪化	10	自治体の財政破綻
11	道路・橋・公共施設などの老朽化	12	その他()

質問3 以下は現在西条市が推進している施策の一覧です。あなたの施策に対する満足度を教えてください。

※ あなたのお考えに一番近いものを1つ選び、記入例にならって数字を○で囲んでください。

項目		満足度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満
(記入例) ○○○の整備		5	4	3	2	1
健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり						
1	健康づくりの推進(健康寿命の延伸、スポーツ振興など)	5	4	3	2	1
2	高齢者福祉の充実(介護サービスの充実、老後の生活支援など)	5	4	3	2	1
3	地域福祉の充実(障がい者(児)の支援、低所得者の支援など)	5	4	3	2	1
4	子育て環境の充実(保育サービスの充実、母子健康の充実など)	5	4	3	2	1
5	医療体制の充実(地域医療体制の充実など)	5	4	3	2	1
豊かな自然と共生するまちづくり						
6	自然環境の保全(環境保全の推進、希少生物の保護など)	5	4	3	2	1
7	水資源の保全(水資源の調査・監視、森林保全など)	5	4	3	2	1
8	生活環境の整備(公害防止、ごみ・し尿の適正処理など)	5	4	3	2	1
9	環境資源活用の推進(環境負荷の少ない地域社会の形成など)	5	4	3	2	1
10	上水道の整備	5	4	3	2	1
11	下水道の整備	5	4	3	2	1
快適な都市基盤のまちづくり						
12	交通体系の整備(道路や橋の整備、公共交通機関の拡充など)	5	4	3	2	1
13	市街地整備(市街地整備、景観形成など)	5	4	3	2	1
14	港湾・河川の整備	5	4	3	2	1
15	公園・緑地の整備	5	4	3	2	1
16	住宅・宅地の整備(市営住宅の整備、木造住宅の耐震化など)	5	4	3	2	1

項目	満足度	満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満
		5	4	3	2	1
災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり						
17	防災体制の強化（防災体制の充実、地域防災力の強化など）	5	4	3	2	1
18	消防・救急救助体制の充実	5	4	3	2	1
19	防犯対策の推進（防犯体制の充実、消費者行政の充実など）	5	4	3	2	1
20	交通安全対策の推進	5	4	3	2	1
豊かな心を育む教育文化のまちづくり						
21	学校教育の充実（学校教育環境の整備、ICT教育の推進など）	5	4	3	2	1
22	地域文化の継承・形成（文化・芸術団体の活動支援など）	5	4	3	2	1
23	歴史文化の保全・活用（文化財保護、郷土の先人顕彰など）	5	4	3	2	1
24	社会教育の充実（公民館などの整備、人づくりの推進など）	5	4	3	2	1
25	人権・同和教育の推進	5	4	3	2	1
活力あふれる産業振興のまちづくり						
26	農業の振興	5	4	3	2	1
27	林業の振興	5	4	3	2	1
28	水産業の振興	5	4	3	2	1
29	企業活動の活性化（ものづくり産業の振興）	5	4	3	2	1
30	商業の振興（商店街の活性化など）	5	4	3	2	1
31	新規産業の創出	5	4	3	2	1
32	観光産業の創出（観光施設の整備、観光客の誘致など）	5	4	3	2	1
33	産業人材・雇用環境の充実（就労機会の拡充など）	5	4	3	2	1
34	西条の価値や魅力の向上（まちのブランド化など）	5	4	3	2	1

項目	満足度	満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満
		5	4	3	2	1
構想の実現に向けて						
35	協働のまちづくりの推進（市民参加の推進、市民活動支援など）	5	4	3	2	1
36	地域コミュニティ活動の促進（自治会や地域自治組織の活動支援）	5	4	3	2	1
37	時代の変化に対応した地域づくり（男女共同参画、国際交流など）	5	4	3	2	1
38	経営感覚のある行政運営の実践（行政改革の推進など）	5	4	3	2	1
39	健全な財政運営の推進（公共施設の統合や空きスペース活用を含む）	5	4	3	2	1
40	個人情報の適正な管理、行政サービスの電子化推進	5	4	3	2	1
41	広報広聴制度の充実、情報公開の推進	5	4	3	2	1

質問4 以下は現在西条市が推進している施策の一覧です。あなたの施策に対する関心度を教えてください。

※ あなたのお考えに一番近いものを1つ選び、記入例にならって○を記入してください。

項目	関心度	関心がある	関心がない	わからない
		○		
(記入例) ○○○の整備				
健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり				
1	健康づくりの推進（健康寿命の延伸、スポーツ振興など）			
2	高齢者福祉の充実（介護サービスの充実、老後の生活支援など）			
3	地域福祉の充実（障がい者(児)の支援、低所得者の支援など）			
4	子育て環境の充実（保育サービスの充実、母子健康の充実など）			
5	医療体制の充実（地域医療体制の充実など）			
豊かな自然と共生するまちづくり				
6	自然環境の保全（環境保全の推進、希少生物の保護など）			
7	水資源の保全（水資源の調査・監視、森林保全など）			

項目	関心度	関心がある	関心がない	わからない
8	生活環境の整備（公害防止、ごみ・し尿の適正処理など）			
9	環境資源活用の推進（環境負荷の少ない地域社会の形成など）			
10	上水道の整備			
11	下水道の整備			
快適な都市基盤のまちづくり				
12	交通体系の整備（道路や橋の整備、公共交通機関の拡充など）			
13	市街地整備（市街地整備、景観形成など）			
14	港湾・河川の整備			
15	公園・緑地の整備			
16	住宅・宅地の整備（市営住宅の整備、木造住宅の耐震化など）			
災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり				
17	防災体制の強化（防災体制の充実、地域防災力の強化など）			
18	消防・救急救助体制の充実			
19	防犯対策の推進（防犯体制の充実、消費者行政の充実など）			
20	交通安全対策の推進			
豊かな心を育む教育文化のまちづくり				
21	学校教育の充実（学校教育環境の整備、ICT教育の推進など）			
22	地域文化の継承・形成（文化・芸術団体の活動支援など）			
23	歴史文化の保全・活用（文化財保護、郷土の先人顕彰など）			
24	社会教育の充実（公民館などの整備、人づくりの推進など）			
25	人権・同和教育の推進			
活力あふれる産業振興のまちづくり				
26	農業の振興			
27	林業の振興			
28	水産業の振興			
29	企業活動の活性化（ものづくり産業の振興）			

項目	関心度	関心度		
		関心がある	関心が無い	わからない
30	商業の振興（商店街の活性化など）			
31	新規産業の創出			
32	観光産業の創出（観光施設の整備、観光客の誘致など）			
33	産業人材・雇用環境の充実（就労機会の拡充など）			
34	西条の価値や魅力の向上（まちのブランド化など）			
構想の実現に向けて				
35	協働のまちづくりの推進（市民参加の推進、市民活動支援など）			
36	地域コミュニティ活動の促進（自治会や地域自治組織の活動支援）			
37	時代の変化に対応した地域づくり（男女共同参画、国際交流など）			
38	経営感覚のある行政運営の実践（行政改革の推進など）			
39	健全な財政運営の推進（公共施設の統合や空きスペース活用を含む）			
40	個人情報 の適正な管理、行政サービスの電子化推進			
41	広報広聴制度の充実、情報公開の推進			

質問5 これからの西条市のまちづくりにご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。